

堺市民のスポーツと健康に関する 市民意識調査

報告書

平成 27 年度版
堺 市

目 次

調査の概要

1. 調査の目的と実施状況	1
2. 調査結果のまとめ	3

調査結果

1. あなたご自身のことや生活習慣、健康状態について（問1～10）	11
(1) 回答者の属性	11
(2) 生活習慣、健康状態について	13
2. 運動やスポーツへの関心や取組について（問11～17）	24
(1) 運動・スポーツへの関心とスポーツ観戦の状況	24
(2) この1年間の運動・スポーツの実施状況	36
(3) 運動・スポーツに関する今後の取組	58
3. 本市における今後のスポーツ推進に向けて（問18～28）	71
(1) スポーツ推進に向けた取組への市民の関心・ニーズ	71
(2) 今後のスポーツ推進施策に対する市民ニーズ	85
4. 自由回答意見（問29）	87

参考資料

資料 堺市民のスポーツと健康に関する市民意識調査票	91
---------------------------	----

調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的と実施状況

(1) 調査の目的

スポーツと健康に関する市民の意識や実践状況、施策ニーズ等を把握するとともに、過去に本市で実施した調査や国などが実施した調査の結果との比較を行い、今後のスポーツ推進施策を考える上での基礎的資料とするために実施しました。

(2) 調査方法と回収状況

調査対象	20歳以上の市民 男女 計5,000名 ※住民基本台帳（外国人住民を含む）から層化3段無作為抽出により抽出
調査方法	調査票を郵送し、無記名自記式で回答のうえ返信してもらいました。
調査期間	4月16日（木）から4月30日（木）まで
回収状況	発送数5,000件（うち調査票到達数 4,939件、調査票不達数 61件） 回収数1,826件（うち有効回答数 1,824件、無効回答数 2件） ※有効回答率 36.5%

【参考】居住区別の有効回答率

区	発送数	有効回答数	有効回答率
全体	5,000	1,824	36.5%
堺区	874	293	33.5%
中区	749	264	35.2%
東区	500	206	41.2%
西区	800	303	37.9%
南区	874	317	36.3%
北区	954	350	36.7%
美原区	249	87	34.9%

※市全体の有効回答数には、居住区の回答のなかった4件を含みます。

【参考】過去調査の有効回答率

平成22年調査：40.4%	※郵送法
平成17年調査：41.0%	※郵送法
平成10年調査：39.0%	※郵送法
平成4年調査：58.6%	※直接配布・回収、郵送法を併用

(3) 本資料のみかた

- アンケート調査結果における各設問の母数N (Number of case の略) は、設問に対する有効回答者数を意味しています。
- 調査結果の集計構成比 (%) は小数点以下第 2 位を四捨五入し算出しているため、内訳の合計が必ずしも 100% とならない場合があります。
- 各設問の「その他の内容」や自由回答意見で紹介した内容については、おおむね調査票に記述された原文を尊重し、記載しています。
- 今回の調査データと比較した国及び他都市の調査データの名称は以下の通りです。
 - ・ 文部科学省「体力・スポーツに関する世論調査」(平成 25 年 1 月実施)
→p. 16, 18, 39, 44, 47, 55, 77 に掲載
 - ・ 大阪府クイック・リサーチ「おおさかQネット」
「府民の運動・スポーツ」に関するアンケート」(平成 27 年 2～3 月実施)
→p. 39 に掲載
- スポーツ推進施策を考える上での基礎的調査とするため、以下のクロス分析を行っています。
 - ・ 性別・年齢別
「男性 20～39 歳」「男性 40～64 歳」「男性 65 歳以上」「女性 20～39 歳」「女性 40～64 歳」
「女性 65 歳以上」
 - ・ 区別
「堺区」「中区」「東区」「西区」「南区」「北区」「美原区」
 - ・ 就労状況別
「男性就労者」(問 1. を「男性」、問 4. を「就業者」「自営業者」のいずれかに回答)
「女性就労者」(問 1. を「女性」、問 4. を「就業者」「自営業者」のいずれかに回答)
「男性非就労者」(問 1. を「男性」、問 4. を「無職」と回答)
「女性非就労者」(問 1. を「女性」、問 4. を「無職」と回答)
「学生」(問 1. を「男性」「女性」のいずれか、問 4. を「学生」と回答)

2. 調査結果のまとめ

(1) 運動・スポーツに対する市民の意識

①健康・スポーツに対する意識

■ 「運動不足」と感じている人が年々増加している一方で、運動やスポーツをみることが好きな人・自分であることが好きな人は前回調査より減少傾向にある。

- ふだんの運動不足度については、「運動不足」と自己評価した人が82.3%を占めており、男女とも年齢の若い層ほど「運動不足」と感じている人が多くなっています。また、平成17年調査では70.9%、平成22年調査では80.6%と、回を追うごとに「運動不足」を感じている人の割合が増える傾向が見られます。さらに、平成25年1月に実施された国の調査結果(74.7%)と比較しても、本市は「運動不足」と自己評価する人が高い水準にあります。(p.17~18・問8)
- 運動やスポーツに対する印象については、運動やスポーツを「みることが好き」と回答した人は65.6%、「自分であることが好き」と回答した人が46.8%となっており、いずれも男性の方が女性よりも多くなっています。また、平成22年調査では運動やスポーツを「みることが好き」と回答した人が79.4%、「自分であることが好き」と回答した人が53.7%と、いずれも今回調査の方が少なくなっています。(p.24~26・問11)
- これらのことから、市民の健康・スポーツに対する意識や関心は、前回調査よりも低い傾向にあると考えられます。

②健康・スポーツに対する取組姿勢

■ 好きなことができる時間(自由時間)に運動やスポーツをする人は20%程度に止まり、健康のために運動やスポーツをする人が年々減少。

- 1日の中で自分の好きなことができる時間(自由時間)については、平日では3時間以下と回答した人が69.1%を占める一方、休日では「5時間超」と回答した人が43.1%。特に、男性20~64歳は平日では3時間超の人は20%程度であるのに対し、休日では70%を超えています。(p.13~14・問5)
- 自由時間にすることとしては、「のんびりと休養する」(51.0%)、「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」(49.9%)が多く、「運動やスポーツなど体を動かす」は21.5%と、前回調査(21.9%)とほぼ同じ水準です。また、女性は「運動やスポーツなど体を動かす」への回答が少なく、特に、女性20~39歳(6.7%)、女性40~64歳(16.6%)は少なくなっています。(p.15・問6)
- 健康を保つために心がけていることとしては、「睡眠・休養を十分にとる」(50.8%)、「栄養や食事に気をつける」(48.1%)、「規則正しい生活をする」(40.8%)が40%以上の回答がある一方、「運動やスポーツをする」と回答した人は22.5%に止まります。また、平成17年調査では33.4%、平成22年調査では23.8%と、「運動やスポーツをする」と回答する人は少なくなっています。(p.22~23・問10)

(2) 運動・スポーツの実施状況、今後の取組意向

①この1年間で行った運動・スポーツ、今後行いたい運動・スポーツ

■ 1年間で何らかの運動・スポーツを行った人は75.7%。この1年間で行った運動・スポーツ、今後行いたい運動・スポーツともに、散歩・ウォーキングが最も多く、第2位は年齢・性別により異なる。

- この1年間で何らかの運動・スポーツを行った人は75.7%となっており、平成27年2～3月に実施された大阪府の調査結果(72.8%)よりも2.9ポイント高い一方、国の調査結果(80.9%)よりも5.2ポイント低くなっています。また、男女ともに年齢が高いほど「特に運動やスポーツとして行ったものはない」と回答した人が多くなっています。(p.36～39・問14)
- この1年間で行った運動・スポーツの種目としては、全ての性別・年齢において「散歩、ウォーキング」が他よりも突出して多くなっています。また、第2位をみると、男性20～39歳は「ジョギング、ランニング」、男性40歳以上は「ゴルフ(コース・練習場)」、女性では全ての年齢層において「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」となっています。(p.36～39・問14)
- 今後行いたい運動・スポーツの種目としては、「散歩、ウォーキング」が最も多く、次いで、「筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動」、「水泳、水中歩行、アクアビクス」、「ハイキング、登山、クライミング」、「ジョギング、ランニング」と続きます。全ての性別・年齢において「散歩、ウォーキング」が他よりも突出して多く、第2位をみると、男性20～64歳は「筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動」、男性65歳以上は「ゴルフ(コース・練習場)」、女性の20～39歳及び65歳以上は「水泳、水中歩行、アクアビクス」、女性40～64歳は「太極拳、ヨガ、チューブ体操、その他体操」となっています。(p.60～62・問15 付問1)

②運動・スポーツを行っている人の割合

■ 週1日以上、運動・スポーツを行った人は47.3%と前回調査より大幅に増加。実施頻度の増加、ウォーキングやストレッチ等を行う人の増加、実施時間の短時間化の傾向が見られる。

- 性別・年齢別に本市の実際の人口に当てはめた「スポーツ実施率」(成人の週1回以上運動をしている人の割合)は47.3%となり、男性が42.3%、女性が51.9%と男女で9.6ポイントの差が見られます。平成22年調査(33.4%)と比べて大幅に増加しており、特に、「週3日以上」と回答した人は12.3ポイント増となっています。しかし、スポーツ実施率を国の調査結果と比較すると、国よりも1.6ポイント、政令指定都市の平均よりも0.9ポイント、それぞれ低くなっています。(p.42～45・問14 付問2)
- この1年間で行った運動・スポーツを前回調査と比較すると、「散歩、ウォーキング」「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」の2項目は今回調査の方が回答の割合が大きく、これらの運動・スポーツを行った人が増えたことにより、スポーツ実施率が向上したと考えられます。(p.42～45・問14 付問2)
- 1回あたりの運動やスポーツを行う時間については、「30分以上1時間未満」が34.8%と最も多く、次いで、「1時間以上2時間未満」(27.8%)と続き、男性よりも女性の方が、また、年齢の若い人の方が、1回あたりの運動やスポーツを行う時間の短い人の割合が大きいう傾向が見られます。さらに、平成22年調査の第1位は「1時間以上2時間未満」が37.5%と最も多く、今回調査の方が1回あたりの運動やスポーツを行う時間が短い傾向が見られます。(p.45～46・問14 付問3)

③運動・スポーツを行っている人の実施傾向

■ 運動・スポーツを行う理由は、楽しみ・気晴らし・ストレス解消、健康づくりや体力づくり、運動不足を感じるため。自分ひとりで、若しくは友人や知人、家族と一緒にいる人が多い。

- 運動・スポーツを行う理由としては、「楽しみ・気晴らし・ストレス解消として」が 60.0%と最も多く、次いで「健康づくりや体力づくりのため」「運動不足を感じるから」と続きます。また、65 歳以上の男女では、「健康づくりや体力づくりのため」が第 1 位であるほか、「運動不足を感じるから」が女性 40～64 歳で、「美容や肥満解消のため」が女性 20～64 歳で、「家族とのふれあいとして」が女性 20～39 歳で、それぞれ他よりも回答が多くなっています。(p. 47～48・問 14 付問 4)
- 運動・スポーツを始めたきっかけとしては、「健康、体力維持のため」(45.9%)、「成人する前から親しんでいた」(30.9%) が 30%を超えており、多くなっています。また、男性 20～39 歳では「成人する前から親しんでいた」が第 1 位になっています。(p. 49・問 14 付問 5)
- 運動・スポーツを一緒にいった人としては、「自分ひとり」(55.7%)、「友人や知人」(35.4%)、「家族」(34.2%) が 30%を超えており、多くなっています。また、全ての性別・年齢において「自分ひとり」が第 1 位であるほか、男性 20～64 歳で「仕事関係の人」や「職場関係のクラブや同好会」への回答が多く、男性は仕事で知り合った人と運動やスポーツをする機会が多いという傾向が見られます。また、女性 20～64 歳では「家族」が他の年代よりも回答の割合が多くなっています。(p. 50・問 14 付問 6)

④運動・スポーツを行っていない人の運動・スポーツに対する意識及び今後の実施意向

■ 運動・スポーツに対する関心が低い人、苦手意識を持つ人が多い。今後、運動・スポーツを行いたい人は 69.6%に及び、始めるためのきっかけは多種多様である。

- この 1 年間に運動・スポーツをしなかった理由としては、「仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから」が 38.8%と最も多く、次いで「機会がなかったから」「年をとったから」と続きます。また、「運動やスポーツに興味・関心がないから」と「特に理由はない」の合計が 30%強に及び、運動やスポーツをしない人の中には、運動やスポーツに対して関心を持たない人が多いものと考えられます。さらに、女性就労者では「仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから」「運動やスポーツは好きではないから」が、男性就労者では「仲間がいないから」が、それぞれ他の区分に比べ回答が多い傾向が見られます。(p. 55～56・問 14 付問 9)
- 運動・スポーツについての印象は、運動をしていない人のうち、「みるのが好き」な人が 55.9%、「自分ですることが好き」な人が 20.8%と、運動をしている人に比べはるかに少なくなっています。(p. 24～26・問 11)
- 運動・スポーツなどで体を動かすことについては、運動をしている人は 60%以上が「得意」と自己評価している一方、運動をしていない人は 67.3%が「苦手」と自己評価しており、運動をしている人としていない人で大きな差が見られます。(p. 35～36・問 13)
- 一方、この 1 年間運動をしていない人のうち、今後運動やスポーツがしたいと考える人が 69.6%に及んでおり、実施意向がある人は多いと考えられます。(p. 58～59・問 15)

- 運動やスポーツを始めるきっかけとしては、「安価に実施できるのであれば」「近場にスポーツができる場所があれば」が多く、その他にも「多種多様なスポーツ教室があれば」「時間の余裕があれば」など、様々なきっかけがあげられています。(p.57・問14 付問10)

⑤運動やスポーツ、健康づくりに取り組む際の情報源、知りたい情報

■ 性別・年齢別により、運動やスポーツ、健康づくりに取り組む際の情報源、知りたい情報が異なる。

- 運動やスポーツ、健康づくりに取り組む際の情報源としては、回答者全体では「広報さかいや行政のチラシ・パンフレット」が34.5%と最も多く、次いで「インターネット」「テレビ・ラジオなど」「新聞や雑誌、本など」、「家族や知人・友人からの情報」と続きます。また、女性40歳以上は「広報さかいや行政のチラシ・パンフレット」が、男性20～64歳は「インターネット」が、男性65歳以上「新聞や雑誌、本など」が、女性20～39歳は「家族や知人・友人からの情報」がそれぞれ他よりも多く、性別・年齢別により異なる傾向が見られます。(p.34～35・問12)
- 情報を得たい・講座等で学んでみたい運動やスポーツ、健康づくりは、回答者全体では「体力などに応じた効果的で無理のない運動方法」が34.9%と多く、次いで、「気軽に行える運動・スポーツの情報」「生活習慣病予防を目的とした運動指導」と続きます。また、男性20～39歳は「トップアスリートとのふれあい、指導」が、女性20～39歳は「気軽に行える運動・スポーツの情報」が、40歳以上の男女では「体力などに応じた効果的で無理のない運動方法」がそれぞれ第1位になっており、性別・年齢別により異なる傾向が見られます。(p.70・問17)

⑥運動・スポーツを行う施設や場所の利用状況

■ 施設や場所が確保しづらい傾向にあり、特に確保しづらい種目も見られる。施設や場所が確保しづらい区では、施設や場所の利用が少なく、スポーツ行事への関心も低い。

- 運動・スポーツを行う施設や場所の確保状況については、施設や場所の確保に苦労していると回答した人が18.5%見られ、平成22年調査よりも3.5ポイント多くなっています。また、運動・スポーツの種目の中では、「バレーボール、ソフトバレーボール」「野球、ソフトボール」「サッカー、フットサル」「テニス、ソフトテニス」において、施設や場所の確保に苦労していると回答した人が特に多くなっています。さらに、7区別にみると、東区で、施設や場所の確保に苦労している人が多くなっています。(p.51～52・問14 付問7)
- 利用したことのある市内の施設や場所の中では、「公園や野外活動施設」「体育館」が多い一方、「利用したことのある施設はない」と回答した人も42.7%に及んでいます。また、7区別にみると、東区及び中区では、利用したことのある施設はない人は50%前後に及び、他の区よりも多い一方、美原区は28.1%に止まり、少なくなっています。(p.53～54・問14 付問8)
- 参加してみたい市や区単位、町内会でのスポーツ行事については、7区別にみると、東区で「特に参加したい行事はない」が、他よりも回答の多い傾向が見られます。(p.68～69・問16)

⑦ 体育館などで実施される各種教室やクラブ、同好会、スポーツ行事への参加意向、関心度

■ 各種教室は 34.0%、クラブ、同好会は 49.5%の人に参加意向がある。性別や年齢、就労状況により、関心のある各種教室やクラブ、同好会、スポーツ行事は異なる傾向が見られる。

- 運動やスポーツに関する各種教室への参加意向については、「参加してみたい」人は 34.0%に及びます。また、男女ともに就労者は参加意向のある人が多く、特に女性就労者は 40%を超えており多くなっています。参加する際の 1 か月当たりの予算としては、「2 千円以上 5 千円未満」が最も多く、65 歳以上では男女ともに他の年齢層よりも予算額が低くなっています。(p. 62～64・問 15 付問 2)
- 好きな運動やスポーツに関するクラブ、同好会への加入意向については、クラブ、同好会などにすでに入っている。若しくは入ってみたい、関心があると回答した人は 49.5%と、平成 22 年調査 (69.1%) と比べて加入意向は低くなっています。また、65 歳以上の男女は、クラブや同好会へすでに参加している人が多い一方、20～64 歳の男女は「すぐにでも入りたい」「すぐに入ろうと思わないが、関心はある」と回答した人が多くなっています。(p. 65～66・問 15 付問 3)
- 関心があるクラブ、同好会については、「子どもから高齢者までが交流する「総合型地域スポーツクラブ」」が最も多く、次いで「地域の仲間をつくるクラブや同好会」と続きます。男性は「地域の仲間をつくるクラブや同好会」が、女性は「子どもから高齢者までが交流する「総合型地域スポーツクラブ」」がそれぞれ第 1 位となっており、性別により異なる傾向が見られます。(p. 67・問 15 付問 4)
- 参加してみたい市や区単位、町内会でのスポーツ行事としては、「健康づくり行事 (ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭)」が最も多く、次いで「野外活動 (ハイキング、キャンプ、サイクリングなど)」、「レクリエーション (運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など)」と続きます。(p. 68～69・問 16)
- また、性別・年齢別、就労状況別といった属性別に、参加してみたいスポーツ行事はそれぞれ異なり、以下のように、複数の属性で回答の多い選択項目がいくつか見られます。スポーツ行事の企画・運営においては、それぞれのライフスタイルや行動パターンに沿った対応が望まれていると考えられます。(p. 68～69・問 16)

選択項目(回答者全体の多い順)	回答の多い属性
健康づくり関係行事 (ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など)	40 歳以上の男女／男性非就労者
レクリエーション(運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など)	20～39 歳の男女／学生
体カテスト、スポーツテスト	男性 20～39 歳／学生
スポーツ教室、スポーツ講習会	女性 40～64 歳／女性就労者／学生
ラジオ体操	女性 40 歳以上／女性非就労者

(3) 堺市における今後のスポーツ推進に向けた市民ニーズ

① スポーツ推進の取組に関する認知度、情報発信に対するニーズ

■ 本市のスポーツイベント・教室、スポーツ推進に向けた取組への認知度が低い。多様な属性に必要な情報を届けるための情報発信の充実・強化が望まれている。

- 本市で開催される主な6つのスポーツイベント・教室の参加状況について、6つの中では参加者が比較的多い「体育館などでのスポーツ教室」(13.7%)、「堺市民オリンピック」(9.3%)を除くと、参加したことがある人は5%に満たない結果となっています。また、6つのスポーツイベント・教室とも、参加したことがない理由として「開催されていることを知らない」といった回答が見られます。(p.71~72・問18)
- スポーツイベント・教室に対する意見としては、情報発信の強化やレベル別クラス別教室の充実、色んな人が参加できる曜日・時間の設定、近場でのスポーツイベント・教室の開催、企画の改善・質の向上などがあり、特に情報発信については、電車・バス内や駅広告、スマートフォン、SNS(インスタグラム、Facebookなど)といった媒体による発信を求める意見が見られます。(p.72・問18 付問)
- 本市のスポーツ推進に関する取組の認知度については、最も認知度の高い「市民オリンピックなど、各種スポーツ大会の開催」でも31.4%に止まる一方、選択項目としてあげられた10の取組のうち「知っているものはない」と回答した人が35.0%に及び、全般的に認知度は低いと考えられます。(p.73・問19)
- この他に、本市の公共スポーツ施設の数と質(p.80~81・問24)に対する意見や、本市に対する自由回答意見(p.87~90・問29)の中でも、広報や情報提供の充実・強化に対する意見が複数寄せられています。これらのことから、性別・年齢別や、運動をしている人としていない人など、多様な属性に必要な情報が届くような取組が望まれていると考えられます。

■ ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催にあたっては、行政等に「地域の活性化」や「シティプロモーション」、「観光推進」を期待している。

- 「ラグビーワールドカップ2019」「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の開催にあたり行政などに期待することとしては、「地域の活性化」が44.7%と最も多く、次いで「国内外への「堺」のPR」「スポーツを活かした観光施策」と続きます。(p.74・問20)
- 生涯スポーツの世界最高峰の国際総合競技大会である「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催にあたり、行政等に期待することとしては、「地域の活性化」が40.2%と最も多く、次いで「国内外への「堺」のPR」「スポーツを活かした観光施策」となっています。一方、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」への参加を希望する人は5.5%に止まります。(p.75・問22)

②運動・スポーツを行う施設や場所に対するニーズ

■ 属性別に、公共スポーツ施設に望むことは異なり、それぞれのライフスタイルや行動パターンに沿った施設整備が望まれている。

- 本市内の公共スポーツ施設に望むこととしては、「利用料金を安くしてほしい」(39.0%)、「身近に利用できるように施設を増やす」(37.8%)の2項目が他よりも多く、次いで「早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する」「利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい」「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する」と続き、多様なニーズが見られます。また、国の調査結果と比較すると、「レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する」は、国に比べて今回の調査では2倍以上のポイントとなっており、本市でのニーズは高いと考えられます。(p.76～79・問23)
- また、性別・年齢別、就労状況別、運動・スポーツの実施状況別といった属性別に、公共スポーツ施設に望むことはそれぞれ異なり、以下のように、複数の属性で回答の多い選択項目がいくつか見られます。施設整備においては、それぞれのライフスタイルや行動パターンに沿った対応が望まれていると考えられます。(p.76～79・問23)

選択項目(回答者全体の多い順)	回答の多い属性
早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する	20～39歳の男女／男性就労者／女性就労者／学生
利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい	男性就労者／女性就労者／学生
初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する	女性40～64歳／女性就労者
レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する	女性就労者／運動をしている人
託児施設を設置する	女性20～39歳／女性就労者／運動をしていない人
健康やスポーツに関する情報提供を充実する	女性40～64歳／運動をしていない人

- 本市の公共スポーツ施設の数と質についての意見としては、「簡素な施設でいいから数を多くしてほしい」(39.1%)、「本格的な競技施設、住民が気軽に利用できる施設の整備を同時に進めてほしい」(31.3%)が30%以上と多くなっています。また、「バレーボール、ソフトバレーボール」「柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他武道」「サッカー、フットサル」「陸上競技」をこの1年間で行った人は、本格的な競技施設の充実を望む回答が多く、ニーズが高いと考えられます。(p.80～81・問24)
- 本市内に整備が必要だと思う屋外スポーツ施設としては、「野球場、ソフトボール場」が21.0%と最も多く、次いで「テニスコート」、「サッカー場、フットサル場」と続きます。また、その他の屋外スポーツ施設として、プールや子どもと遊べる総合公園、バスケットボールコート、サイクリングロード、遊歩道、ジョギングコースなどがあげられています。(p.82・問25)
- 本市に対する自由回答意見の中では、スカッシュの練習場やアイススケート場、マリンスポーツ施設、ゴルフ練習場といった施設の整備や、スポーツジムのマシンやプール設備、ストレッチ器具、グラウンドの夜間照明といった設備の充実に対する意見があげられています。(p.87～90・問29)

③スポーツ指導者に対するニーズ

■ スポーツに対する関心を呼び、健康づくりのための運動指導のできる人が望まれている。

- 本市内に必要だと思うスポーツ指導者としては、「スポーツの楽しみ方や興味・関心のわく指導ができる人」(53.9%)、「健康づくり・体力づくりの運動・スポーツ指導ができる人」(47.9%)と回答した人が50%前後に及び、多くなっています。また、若年層では「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が、高年層では「障害のある人や高齢者のスポーツの指導ができる人」が、それぞれ多くなっています。(p.83・問26)
- スポーツボランティア活動に対する関心度については、「活動を知らない」(35.4%)や「必要性は認めるが、あまり関心はない」(21.0%)、「関心はあるが、今のところ活動する気はない」(19.4%)が多く、スポーツボランティアとして活動してみたいと回答した人は6.5%に止まります。また、スポーツボランティアとして活動してみたい人が関心のある活動としては、「大会・イベントの運営・補助」が多くなっています。(p.84・問27)

④今後のスポーツ推進施策に対する市民ニーズ

■ 年齢層にあったスポーツの普及、施設の整備、広報・情報発信の強化、スポーツ教室や競技大会などの開催が望まれている。

- スポーツの推進に向けて注力すべきこととしては、「年齢や体力などに応じてスポーツができる場の提供」が46.4%と他の項目よりも突出して多く、次いで「公共スポーツ施設の整備」「スポーツに関する広報・情報発信の強化」「スポーツ教室や競技大会などの開催」と続きます。(p.85～86・問28)
- また、運動・スポーツの実施日数別にみると、実施日数の多い人では「年齢や体力などに応じてスポーツができる場の提供」が特に多い一方、運動をしていない人は「年齢や体力などに応じてスポーツができる場の提供」「スポーツに関する広報・情報発信の強化」「健康・体力相談やトレーニング指導などサービス提供」が多く、それぞれニーズがあるものと考えられます。(p.85～86・問28)

調査結果



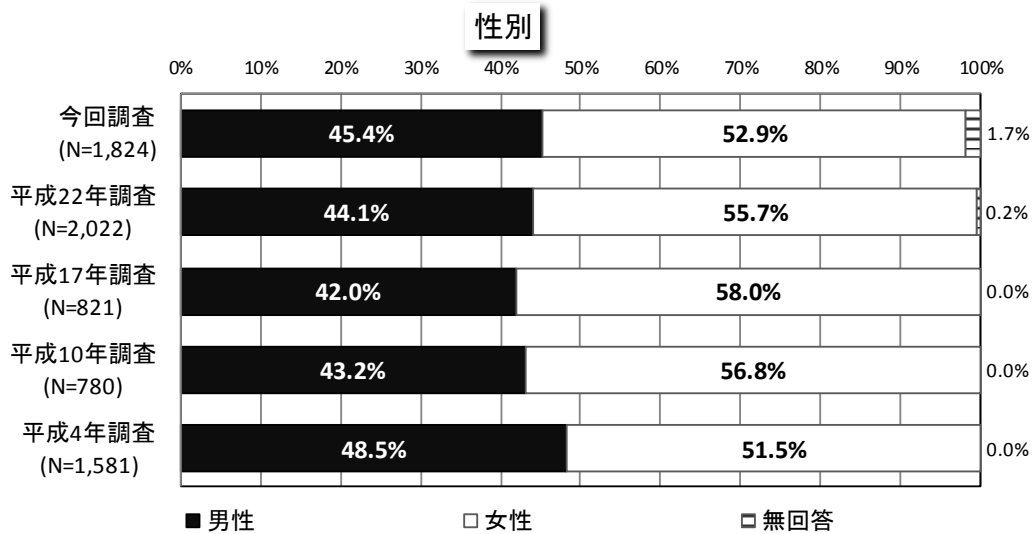
調査結果

1. あなたご自身のことや生活習慣、健康状態について（問1～10）

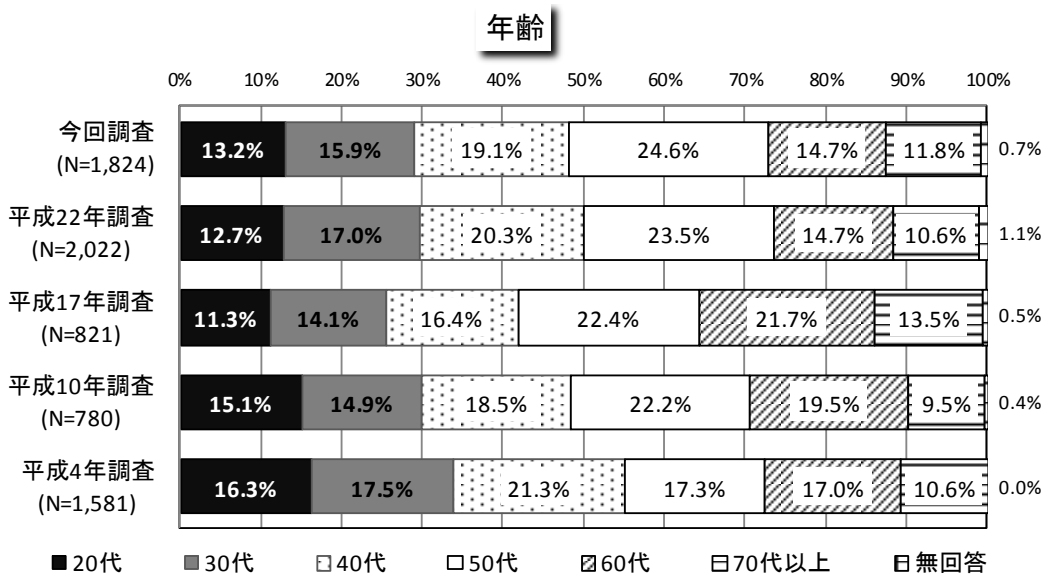
（1）回答者の属性

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

* 性別は、女性が52.9%、男性が45.4%を占めており、過去に実施した調査と同様の傾向となっています。

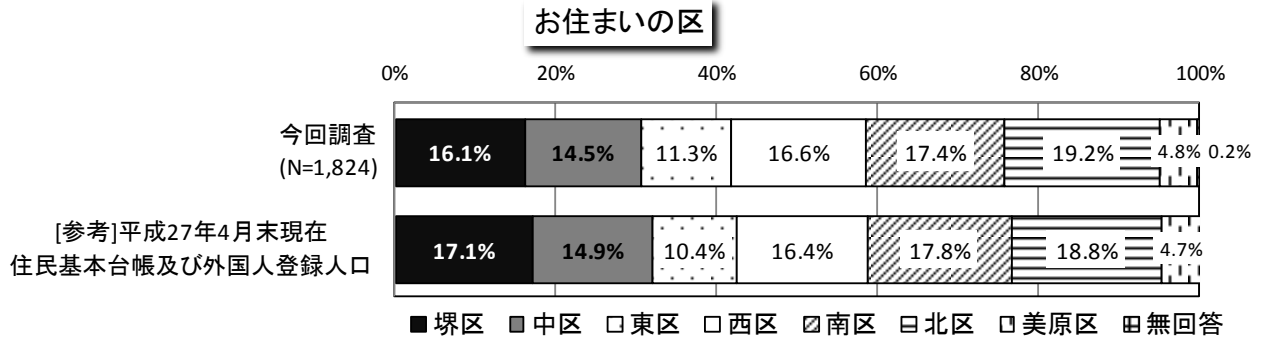


* 年齢は、50代が24.6%と最も多く、次いで40代（19.1%）、30代（15.9%）、60代（14.7%）と続きます。平成22年調査とほぼ同様の傾向となっています。



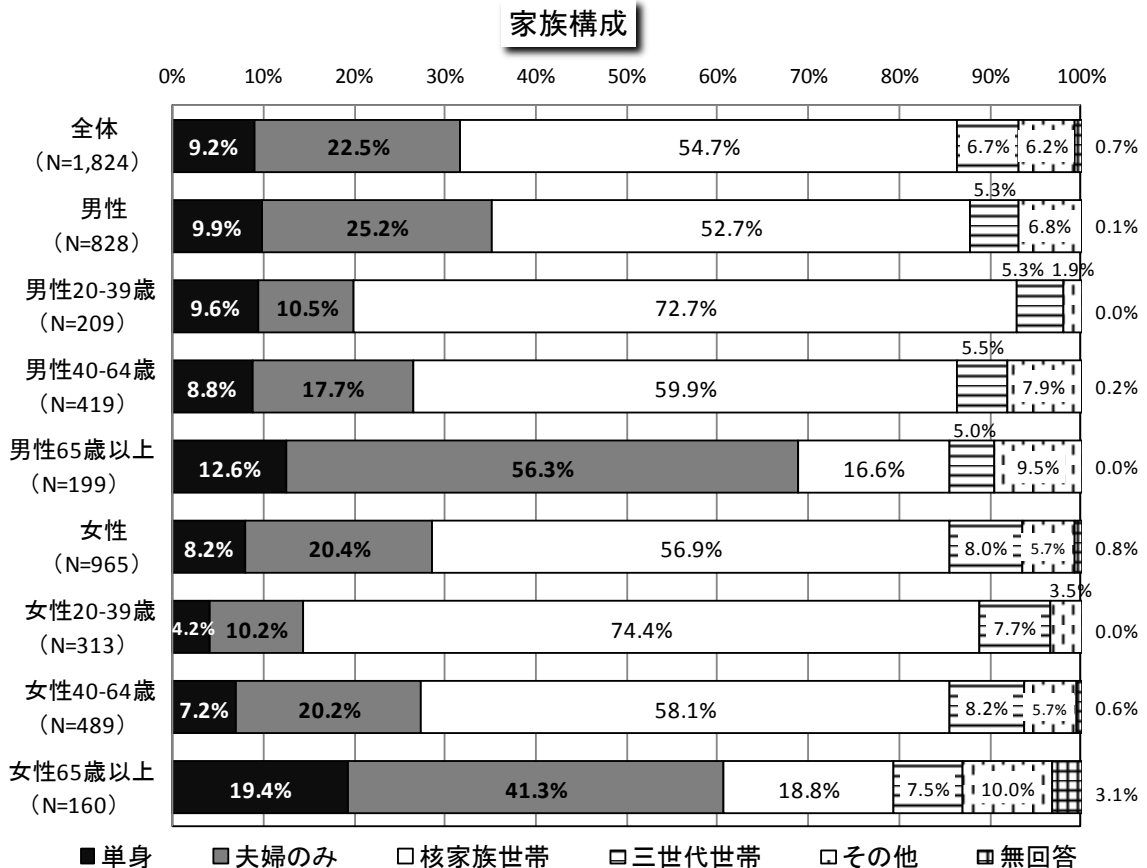
問2 お住まいの区はどこですか。

- * 多い順に「北区」(19.2%)、「南区」(17.4%)、「西区」(16.6%)、「堺区」(16.1%)、「中区」(14.5%)、「東区」(11.3%)、「美原区」(4.8%)となっています。
- * 調査実施時点での実際の本市の人口構成と比べてもほぼ同じような構成となっています。



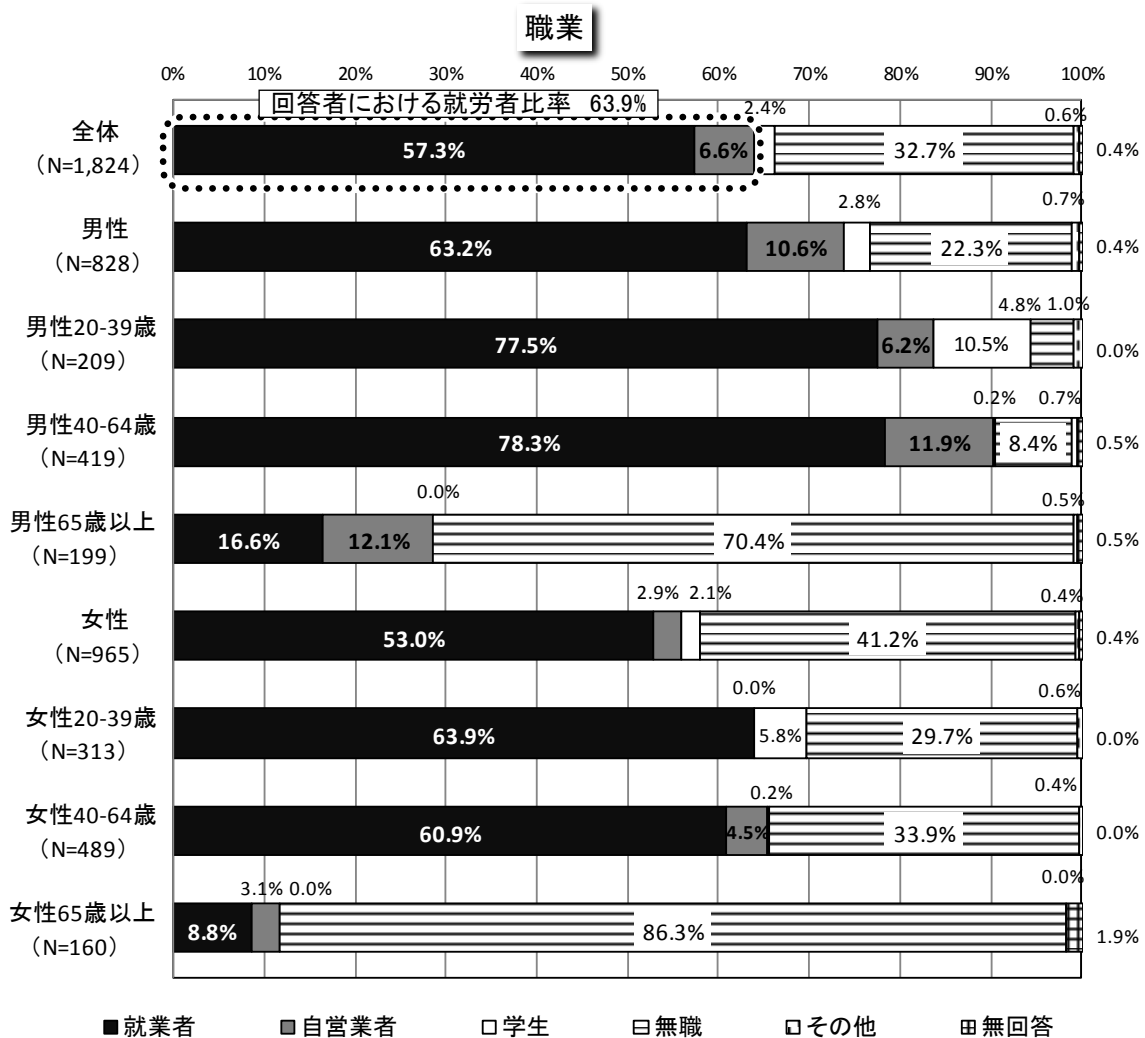
問3 一緒にお住まいのご家族の構成をお答えください。

- * 回答者全体では、「核家族世帯」が54.7%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が22.5%を占めています。
- * 性別・年齢別にみると、男女ともに20～64歳は「核家族世帯」の割合が大きく、65歳以上では「夫婦のみ」及び「単身」の割合が大きくなっています。



問4 あなたの職業は次のいずれにあてはまりますか。(主なものを1つ選んで○)

- * 回答者全体では、「就業者」が57.3%と最も多いのをはじめ、回答者における就労者比率は63.9%に及んでいます。
- * 性別・年齢別にみると、全体的に男性の方が女性よりも就労者比率が高く、男性20～64歳では80%を超えるのに対し、同世代の女性では60%台に止まっています。また、男女ともに65歳以上の就労率は低く、無職（家事従事者・年金生活者を含む）が70%以上に及んでいます。

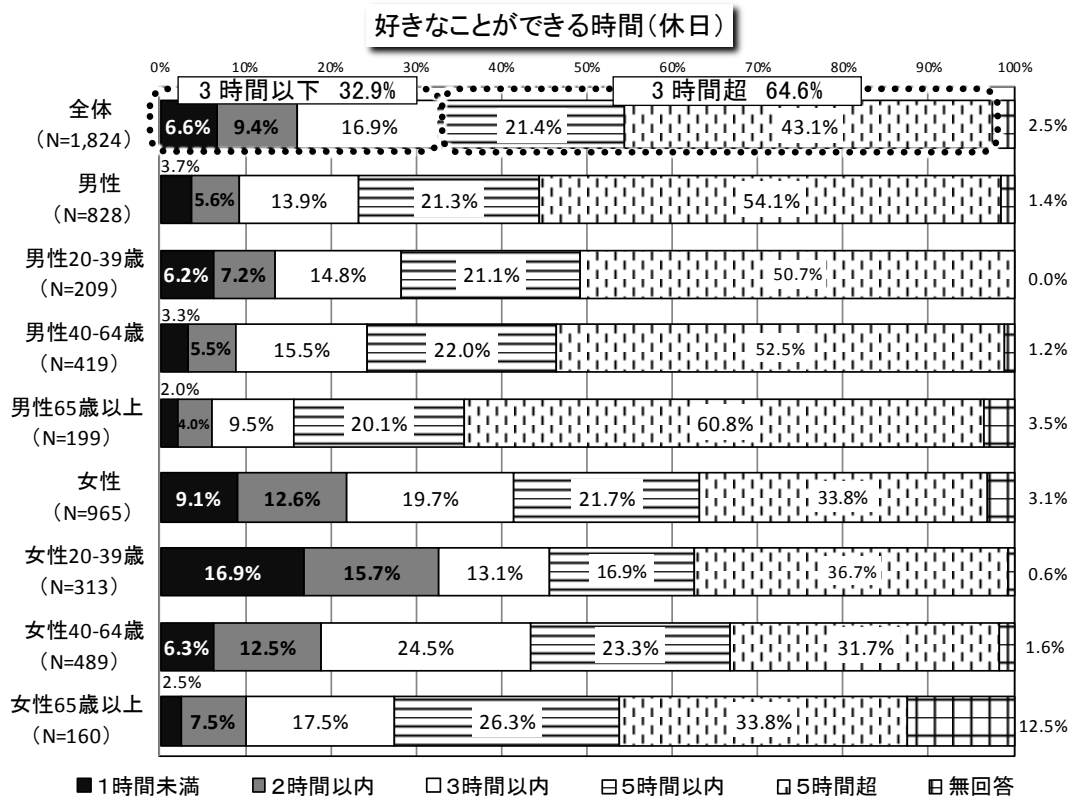
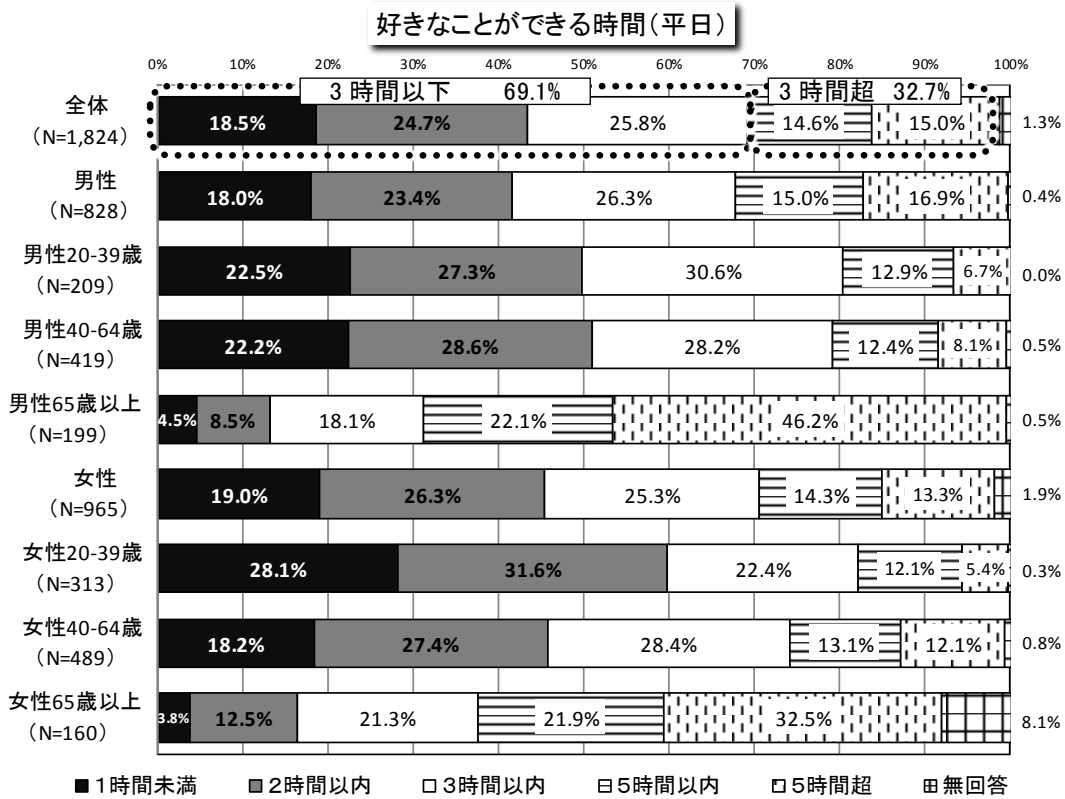


(2) 生活習慣、健康状態について

問5 1日の中で、仕事や学業の時間、家事、睡眠などを除いて、自分の好きなことができる時間はどのくらいありますか。

- * 回答者全体をみると、3時間以下と答えた人※1が69.1%を占めています。一方、休日では「5時間超」が43.1%と最も多く、休日の方が平日よりも好きなことができる時間が長い傾向にあります。
- * 性別・年齢別にみると、全体的に休日の方が平日よりも好きなことができる時間が長く、特に男

性 20～64 歳についてみると、3 時間超の人※ 2 は平日では 20%程度であるのに対し、休日では 70% を超えています。ただし、女性 20～64 歳については、休日で 3 時間超の人は 50%程度に止まり、休日においても他に比べて好きなことができる時間が短い人が多いと考えられます。

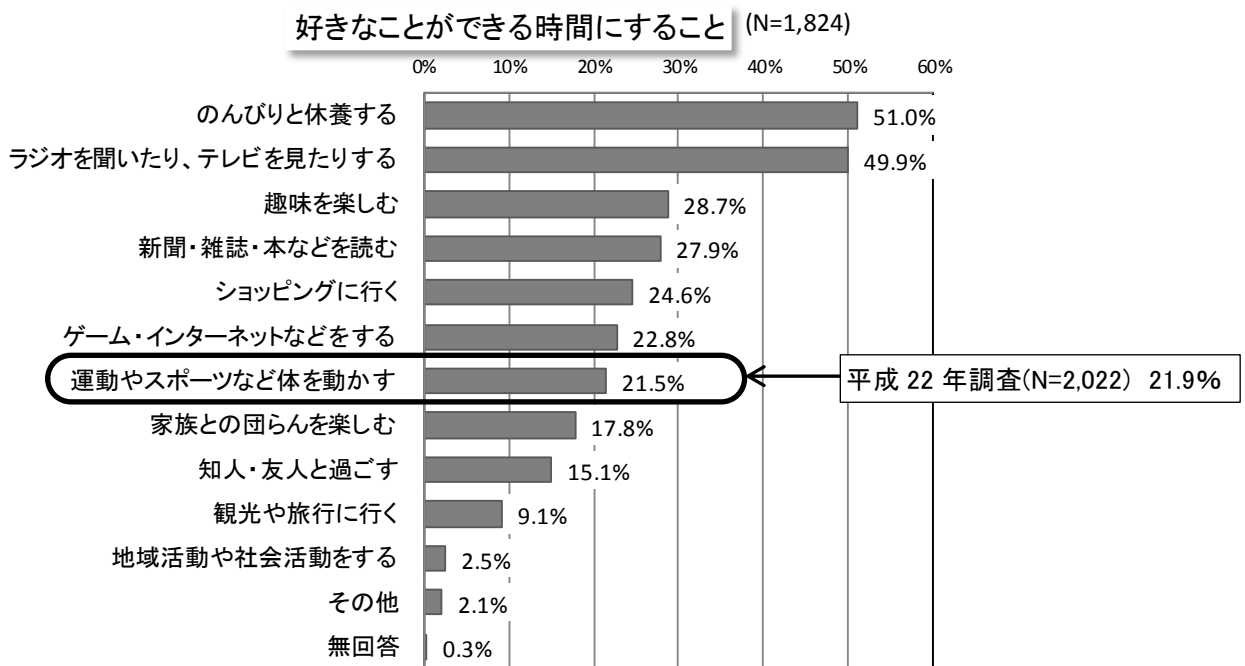


※ 1 「1時間未満」「2時間以内」「3時間以内」のいずれかに回答した人の合計を示します。

※ 2 「5時間以内」「5時間超」のいずれかに回答した人の合計を示します。

**問6 自分の好きなことができる時間には、どのようなことをして過ごしていますか。
(主なものを3つまで選んで○)**

- * 回答者全体では、「のんびりと休養する」(51.0%)、「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」(49.9%)といった、あまり体を動かす必要のない2項目が50%前後の回答を占める一方、本調査のテーマである「運動やスポーツなど体を動かす」は21.5%に止まります。
- * 「運動やスポーツなど体を動かす」への回答を性別・年齢別にみると、女性は全ての年齢層で20%以下と少なく、中でも、女性20～39歳(6.7%)、女性40～64歳(16.6%)は特に低くなっています。
- * 平成22年調査における「運動やスポーツなど体を動かす」への回答は21.9%であり、前回とほぼ同じ割合となっています。

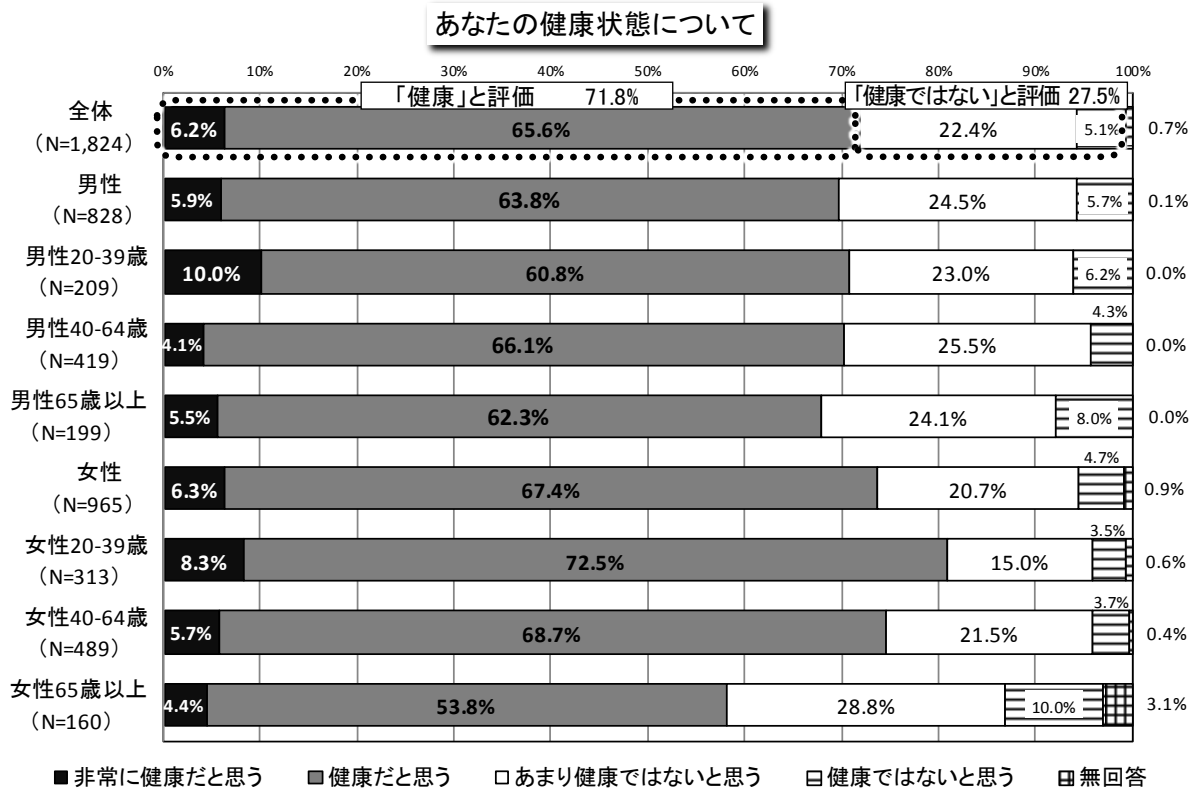


好きなことができる時間にすること (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,824)	男性 (N=828)	男性 20-39歳 (N=209)	男性 40-64歳 (N=419)	男性 65歳以上 (N=199)	女性 (N=965)	女性 20-39歳 (N=313)	女性 40-64歳 (N=489)	女性 65歳以上 (N=160)
のんびりと休養する	51.0%	51.7%	60.3%	55.6%	34.7%	50.7%	60.7%	50.3%	32.5%
ラジオを聞いたり、テレビを見たりする	49.9%	47.7%	32.1%	45.8%	68.3%	51.8%	38.7%	58.3%	58.1%
趣味を楽しむ	28.7%	33.2%	33.0%	32.9%	33.7%	24.9%	24.9%	21.1%	35.6%
新聞・雑誌・本などを読む	27.9%	27.4%	14.8%	24.6%	46.7%	28.8%	16.0%	31.3%	46.9%
ショッピングに行く	24.6%	18.0%	16.7%	20.5%	14.1%	30.7%	30.4%	32.7%	24.4%
ゲーム・インターネットなどをする	22.8%	25.5%	51.2%	20.5%	9.0%	20.7%	34.2%	17.2%	4.4%
運動やスポーツなど体を動かす	21.5%	30.1%	23.9%	30.5%	35.2%	13.9%	6.7%	16.6%	20.0%
家族との団らんを楽しむ	17.8%	18.1%	23.0%	22.7%	3.5%	17.7%	26.2%	16.8%	4.4%
知人・友人と過ごす	15.1%	7.6%	20.1%	3.8%	2.5%	21.8%	26.5%	20.2%	16.9%
観光や旅行に行く	9.1%	10.0%	5.7%	12.2%	10.1%	8.3%	5.8%	9.2%	10.6%
地域活動や社会活動をする	2.5%	2.8%	1.0%	3.3%	3.5%	2.1%	0.3%	2.2%	5.0%
その他	2.1%	2.2%	1.0%	2.1%	3.5%	2.1%	1.9%	2.5%	1.3%
無回答	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.9%

[その他の回答]	●勉強 (英語、資格試験)	●温泉・風呂	●ペットと散歩
	●畑作業、農業	●家計簿をつける	など

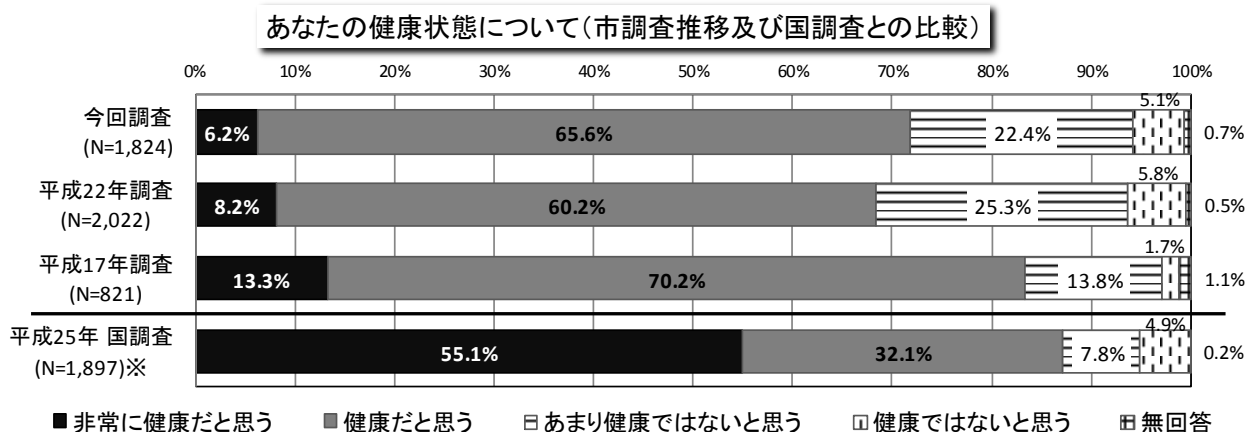
問7 ふだんのあなたの健康状態についてどのようにお感じですか。

- * 回答者全体では、「健康だと思う」が65.6%と最も多く、「健康」と自己評価した人が71.8%と多数を占める一方、「健康ではない」と自己評価した人が27.5%と30%弱に及んでいます。
- * 性別・年齢別にみると、男女とも、年齢があがるにつれて「健康ではない」と自己評価する人の割合が大きくなり、65歳以上については男女とも30%以上に及んでいます(男性65歳以上:32.1%、女性65歳以上:38.8%)。



市調査推移及び国調査との比較

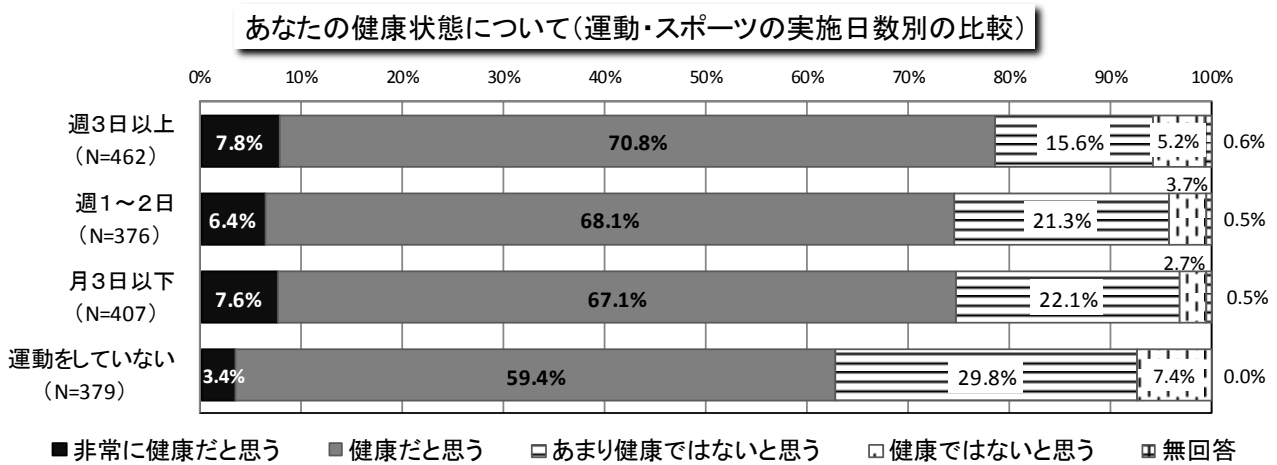
- * 本市で実施した過去の調査と比較すると、「健康」と自己評価した人が、平成17年調査では83.5%と今回調査よりも多いが、平成22年調査では68.4%と今回調査よりも少なく、前回からはやや改善の傾向が見られます。
- * 国調査では、「健康」と自己評価した人が87.2%に及んでおり、本市の今回調査よりも健康であると考えの人が多くなっています。



※ 国調査の選択肢は「健康である」「どちらかといえば健康である」「どちらかといえば健康でない」「健康でない」「分からない」となっており、本市調査の選択肢とは少し異なります。

運動・スポーツの実施日数別の比較

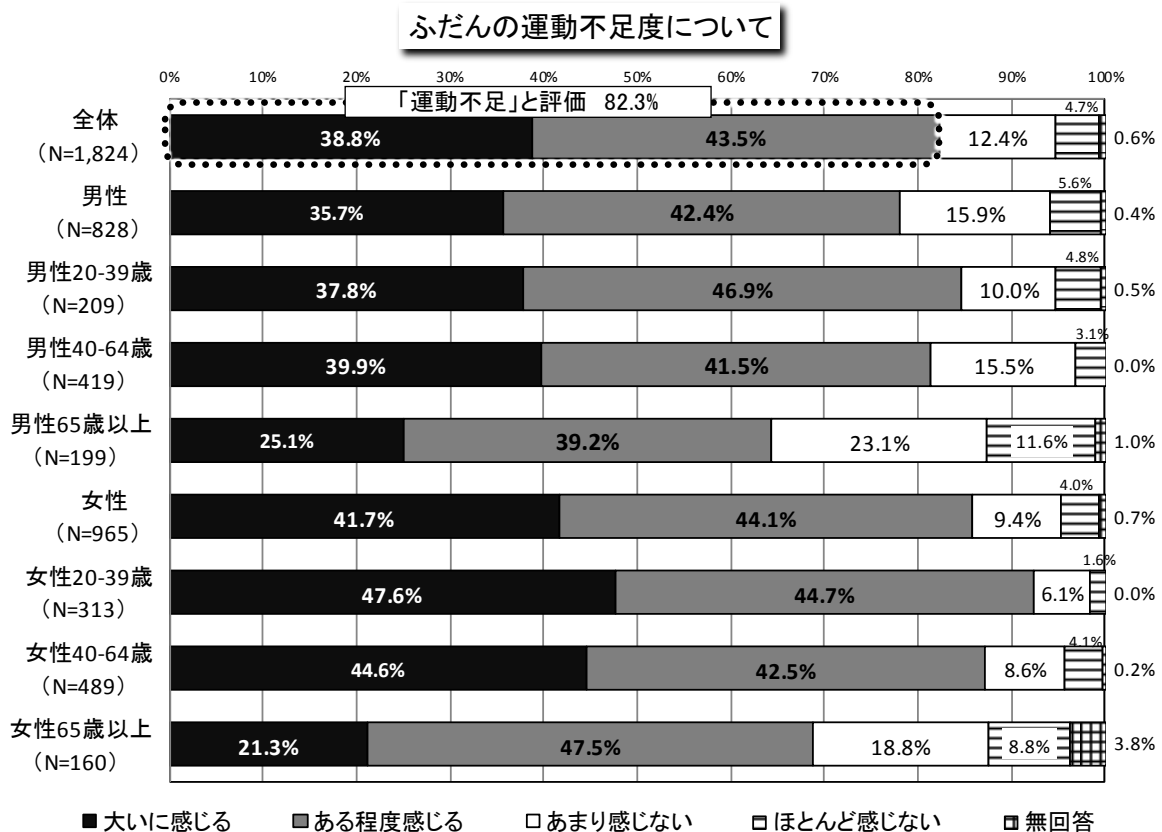
* 運動・スポーツの実施日数別にみると、運動をしていない人で「健康ではない」と自己評価した人が37.2%と40%弱に及び、運動をしている人と比べて多くなっています。



問8 ふだん運動不足だとお感じですか。

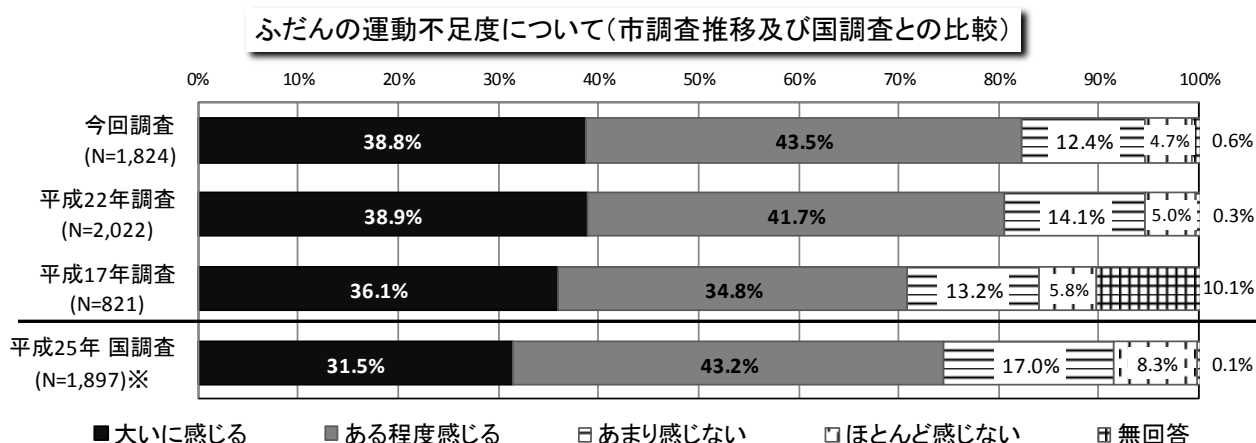
* 回答者全体では、「ある程度感じる」が43.5%と最も多く、「運動不足」と自己評価した人が82.3%と大多数を占めています。

* 性別・年齢別にみると、男女とも、年齢の若い層ほど「運動不足」と自己評価する人の割合が大きく、中でも女性20~39歳では、「運動不足」と自己評価した人が92.3%と90%を超えています。



市調査推移及び国調査との比較

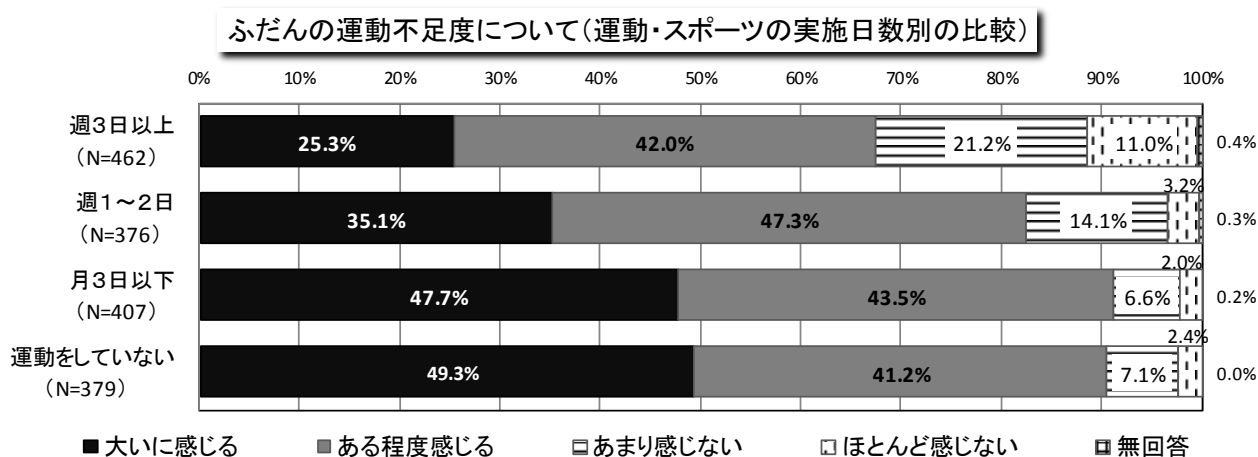
- * 本市で実施した過去の調査と比較すると、「運動不足」と自己評価した人が、平成17年調査では70.9%、平成22年調査では80.6%といずれも今回調査よりも少なく、年々、「運動不足」であると感じる人が多くなっているという傾向が見られます。
- * 国調査では、「運動不足」と自己評価した人が74.7%に止まり、本市の今回調査よりも「運動不足」であると感じる人は少なくなっています。



※ 国調査の選択肢は「大いに感じる」「ある程度感じる」「あまり感じない」「ほとんど感じない」「分からない」となっており、本市調査の選択肢とは少し異なります。

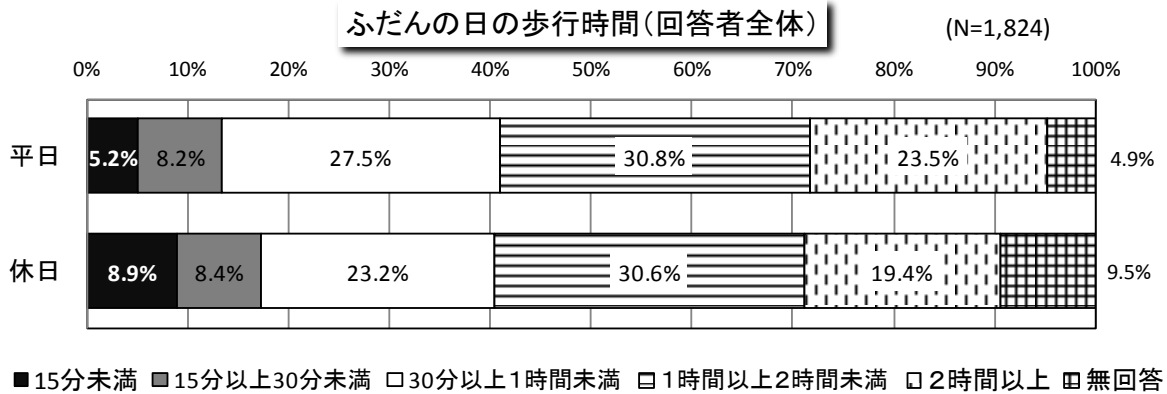
運動・スポーツの実施日数別の比較

- * 運動・スポーツの実施日数別にみると、実施日数の多い人ほど「運動不足」と自己評価する人は少ないものの、運動・スポーツを週3日以上実施していても「運動不足」と自己評価した人が70%近くに及び、多くなっています。
- * 一方、運動・スポーツの実施日数が月3日以下の人や運動をしていない人は、「運動不足」と自己評価する人がともに90%を超えています。



問9 ふだんの日の歩行時間はどの程度ですか。
(通勤・通学、勤務中、買物、通院などで歩いている時間の合計)

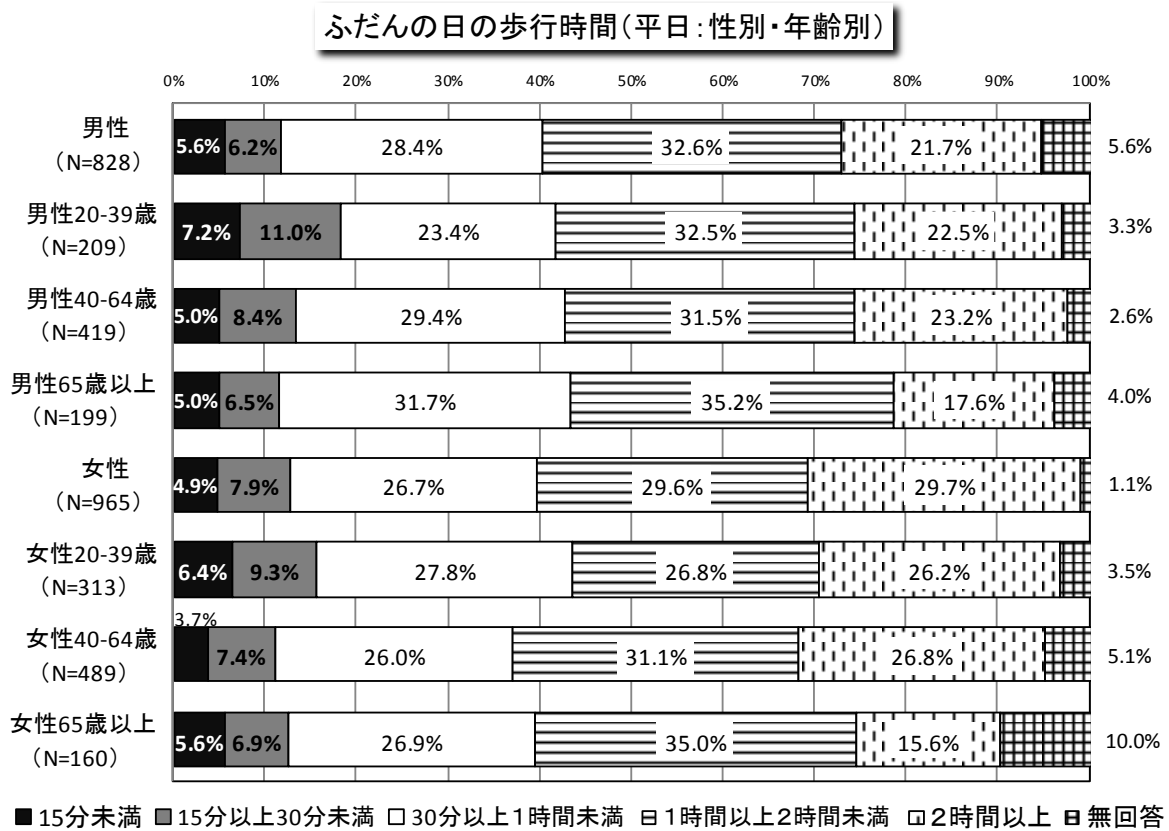
* 回答者全体では、平日、休日ともに「1時間以上2時間未満」が最も多く、歩行時間でみると、平日の方が休日よりもやや歩行時間の長い人が多くなっています。



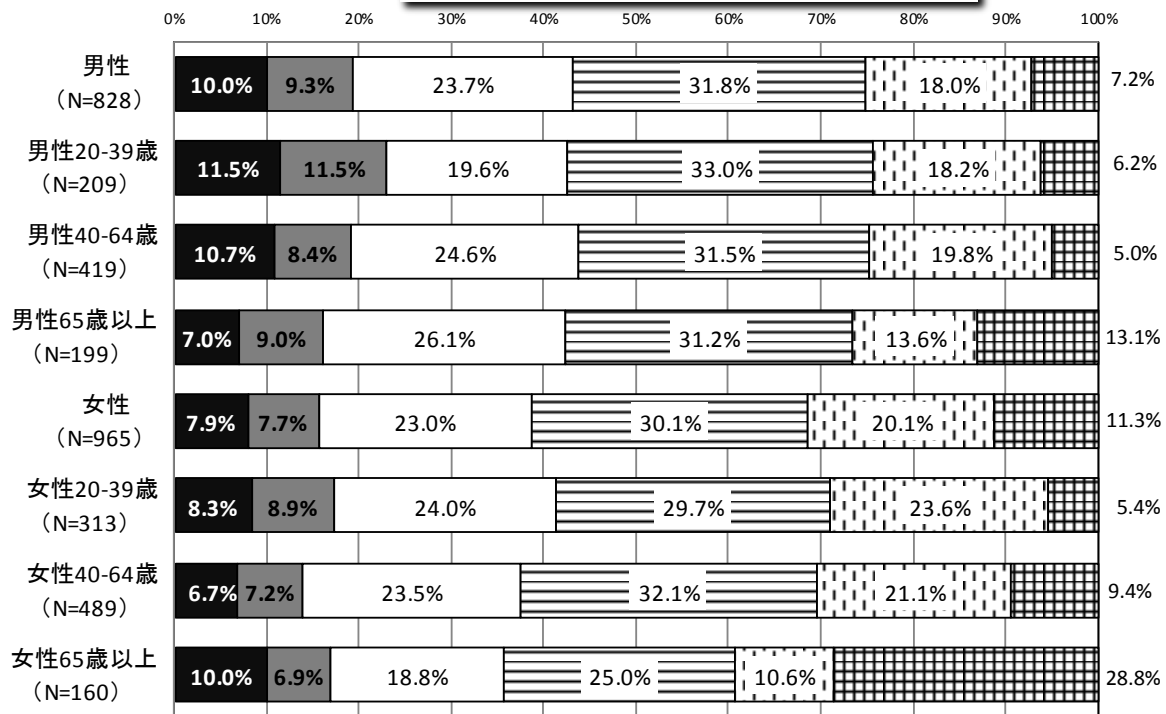
性別・年齢別の比較

* 性別・年齢別にみると、男女でほぼ同じような傾向が見られます。

* 30分未満※で見ると、男性20～39歳が、平日（18.2%）、休日（23.0%）ともに最も多くなっています。



ふだんの日の歩行時間(休日:性別・年齢別)



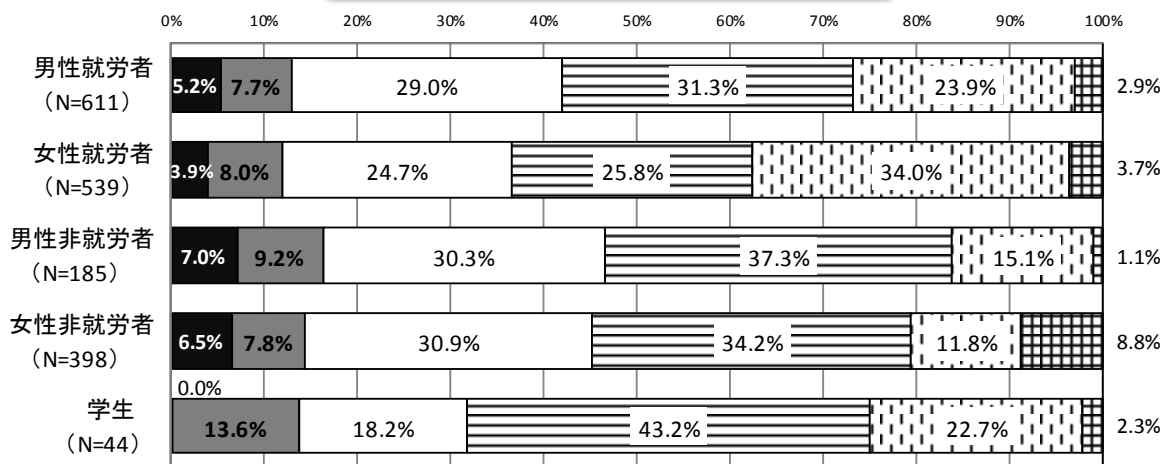
■ 15分未満 ■ 15分以上30分未満 □ 30分以上1時間未満 □ 1時間以上2時間未満 □ 2時間以上 □ 無回答

※ 「15分未満」「15分以上30分未満」のいずれかに回答した人の合計を示します。

就労状況別の比較

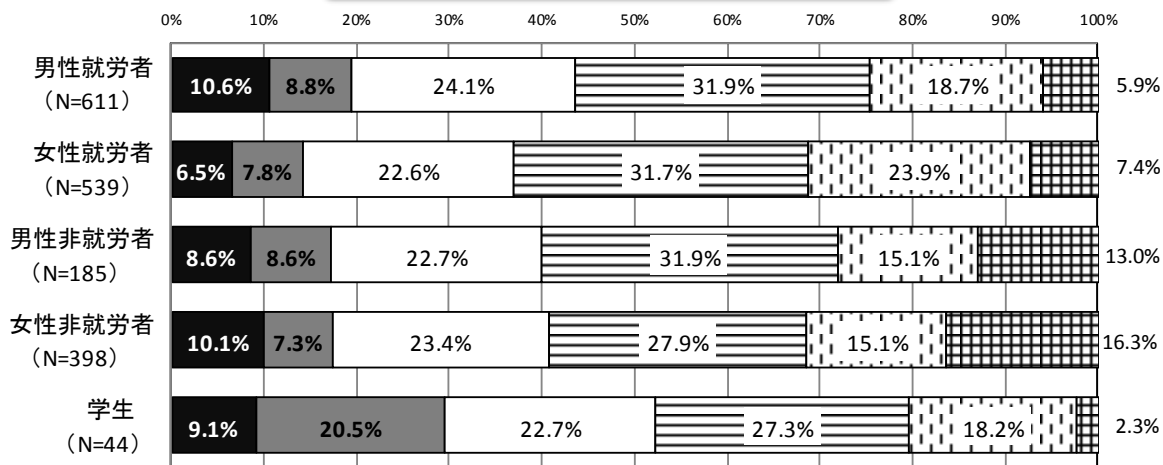
- * 就労状況別にみると、平日では、就労者及び学生の歩行時間が非就労者よりも長くなっています。また、1時間以上※でみると、女性就労者（59.8%）、学生（65.9%）が60%前後を占めており、多くなっています。
- * 休日では、学生は30分未満が29.6%を占めており、歩行時間の短い人が多いと考えられます。
- * 平日と休日の歩行時間を比較すると、就労者及び学生において、休日の方が平日よりも30分未満と答えた人がともに多い一方で、「2時間以上」がともに少なくなっており、休日の歩行時間が平日よりも少ないという傾向が見られます。

ふだんの日の歩行時間(平日:就労状況別)



■ 15分未満 ■ 15分以上30分未満 □ 30分以上1時間未満 □ 1時間以上2時間未満 □ 2時間以上 □ 無回答

ふだんの日の歩行時間(休日:就労状況別)



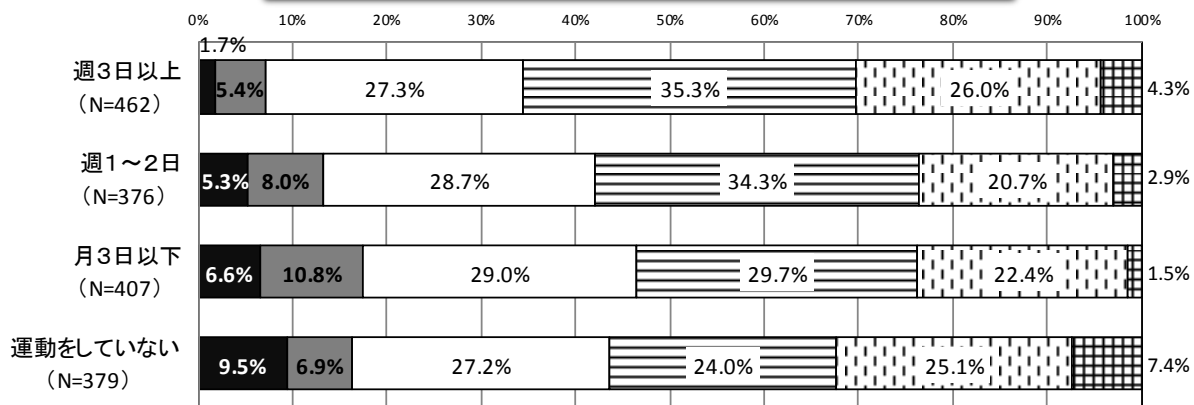
■ 15分未満 □ 15分以上30分未満 □ 30分以上1時間未満 □ 1時間以上2時間未満 □ 2時間以上 □ 無回答

※ 「1時間以上2時間未満」「2時間以上」のいずれかに回答した人の合計を示します。

運動・スポーツの実施日数別の比較

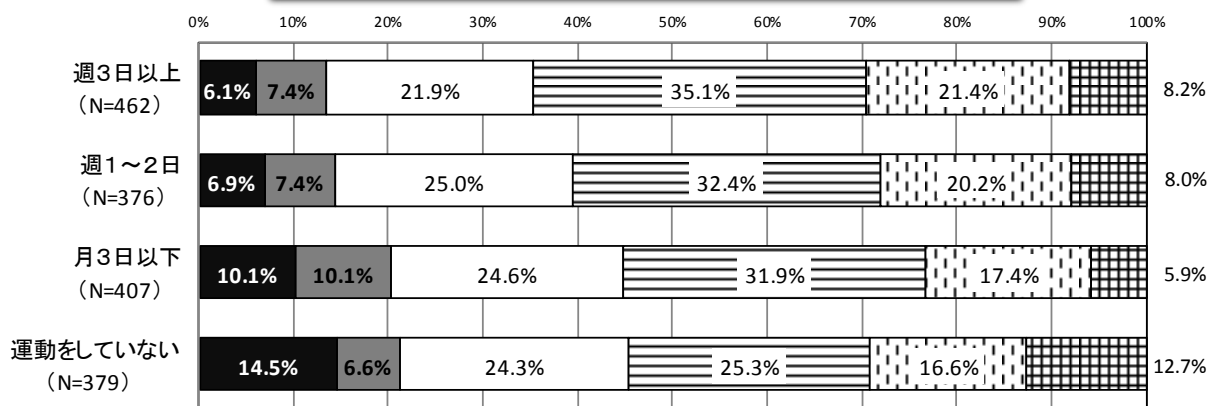
* 運動・スポーツの実施日数別にみると、平日、休日ともに実施日数が多い人ほど歩行時間が1時間以上の人が多く、中でも、週3日以上実施している人では60%前後を占めています。

ふだんの日の歩行時間(平日:運動・スポーツの実施日数別)



■ 15分未満 □ 15分以上30分未満 □ 30分以上1時間未満 □ 1時間以上2時間未満 □ 2時間以上 □ 無回答

ふだんの日の歩行時間(休日:運動・スポーツの実施日数別)

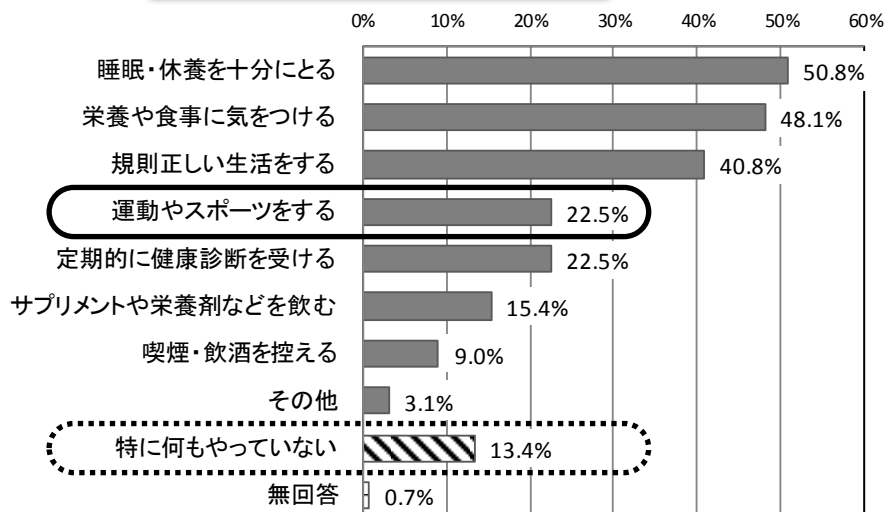


■ 15分未満 □ 15分以上30分未満 □ 30分以上1時間未満 □ 1時間以上2時間未満 □ 2時間以上 □ 無回答

**問 10 健康を保つために何か特別に心がけていることはありますか。
(あてはまるものを3つまで選んで○)**

- * 回答者全体では、「睡眠・休養を十分にとる」(50.8%)、「栄養や食事に気をつける」(48.1%)、「規則正しい生活をする」(40.8%)の3項目が40%以上の回答を得ており、多くなっています。また、「特に何もやっていない」は13.4%に止まり、多くの市民は健康を保つために心がけていることがあると推察されます。
- * 性別・年齢別にみると、女性は「栄養や食事に気をつける」への回答が男性よりも多く、特に40歳以上の女性では選択肢の中で最も回答が多くなっており、一方、男性はいずれの年代においても「睡眠・休養を十分にとる」への回答が多くなっています。また、「特に何もやっていない」への回答が、65歳以上では男女とも10%に満たない一方で、20～39歳では20%前後を占めています。多くの選択肢において男女とも若い年代の回答が少なく、これらのことから、健康に対する意識が低いという傾向が見られます。
- * さらに、性別・年齢別に「運動やスポーツをする」への回答の割合を見ると、40歳以上の男性では30%前後を占めており多い一方、女性20～39歳(11.8%)では他と比べて少なくなっています。

健康を保つために心がけていること (N=1,824)



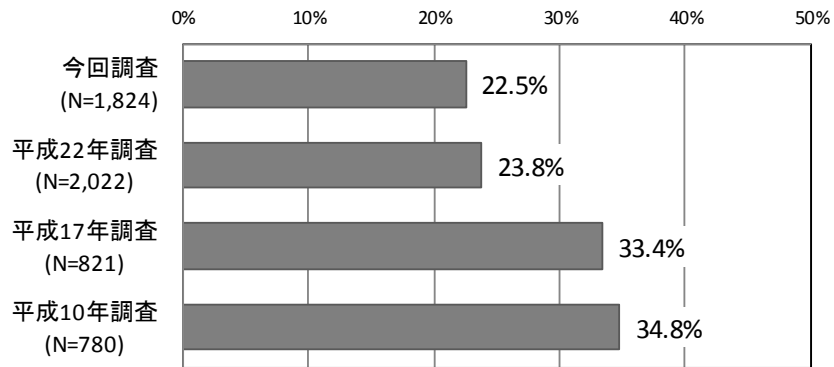
健康を保つために心がけていること (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,824)	男性 (N=828)	男性 20-39歳 (N=209)	男性 40-64歳 (N=419)	男性 65歳以上 (N=199)	女性 (N=965)	女性 20-39歳 (N=313)	女性 40-64歳 (N=489)	女性 65歳以上 (N=160)
睡眠・休養を十分にとる	50.8%	49.3%	50.2%	48.4%	49.7%	52.2%	56.5%	50.9%	47.5%
栄養や食事に気をつける	48.1%	38.4%	35.4%	39.9%	38.7%	56.4%	53.0%	56.0%	63.8%
規則正しい生活をする	40.8%	37.8%	31.1%	33.4%	54.3%	43.6%	39.0%	42.9%	55.0%
運動やスポーツをする	22.5%	28.4%	23.0%	28.4%	33.7%	17.2%	11.8%	20.2%	18.8%
定期的に健康診断を受ける	22.5%	24.5%	6.7%	27.4%	36.7%	21.0%	8.0%	25.6%	33.1%
サプリメントや栄養剤などを飲む	15.4%	13.5%	12.4%	16.5%	8.5%	16.9%	13.7%	18.8%	17.5%
喫煙・飲酒を控える	9.0%	12.3%	11.5%	13.1%	11.6%	6.4%	11.5%	5.1%	0.6%
その他	3.1%	3.1%	1.9%	1.9%	7.0%	3.0%	2.2%	2.5%	6.3%
特に何もやっていない	13.4%	14.7%	23.9%	14.1%	6.5%	12.2%	17.3%	11.2%	5.0%
無回答	0.7%	0.6%	1.0%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%	0.2%	3.8%

[その他の回答]	●ストレッチをする	●手洗い、うがいをまめにする
	●ストレスをためないように気分転換する	●週1回サウナに行く
	●どんな時も早歩き	●半身浴
	●定期的にリンパマッサージを受ける	●自転車通勤 など

「運動やスポーツをする」への回答について 市調査推移（前回調査との比較）

* 「運動やスポーツをする」への回答について、本市で実施した過去の調査と比較すると、平成22年調査とはほぼ同じ割合ですが、平成10年及び平成17年からは10ポイント以上減少しています。

健康を保つために心がけていること
 （「運動やスポーツをする」への回答：市調査推移との比較）

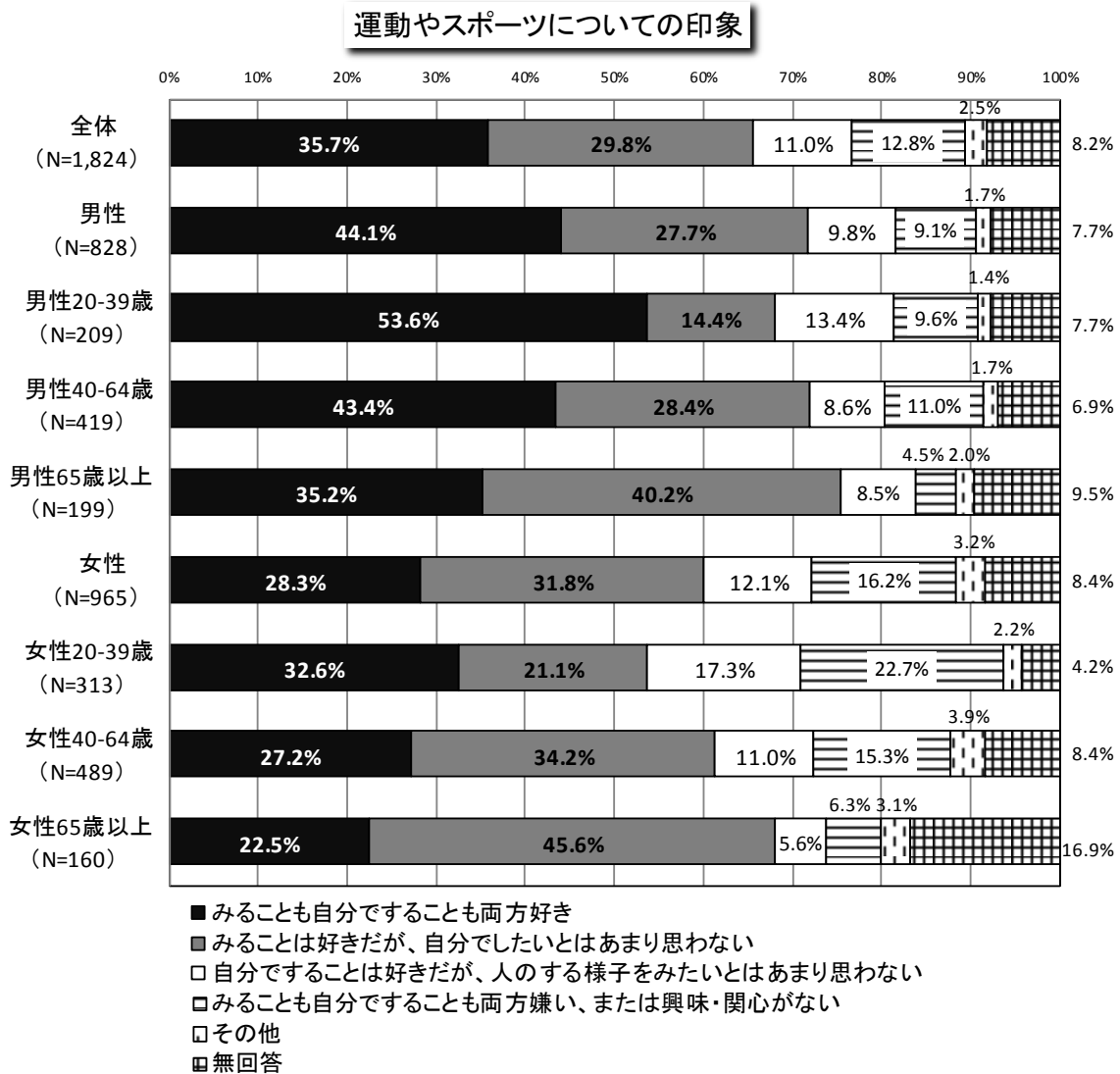


2. 運動やスポーツへの関心や取組について（問 11～17）

（1）運動・スポーツへの関心とスポーツ観戦の状況

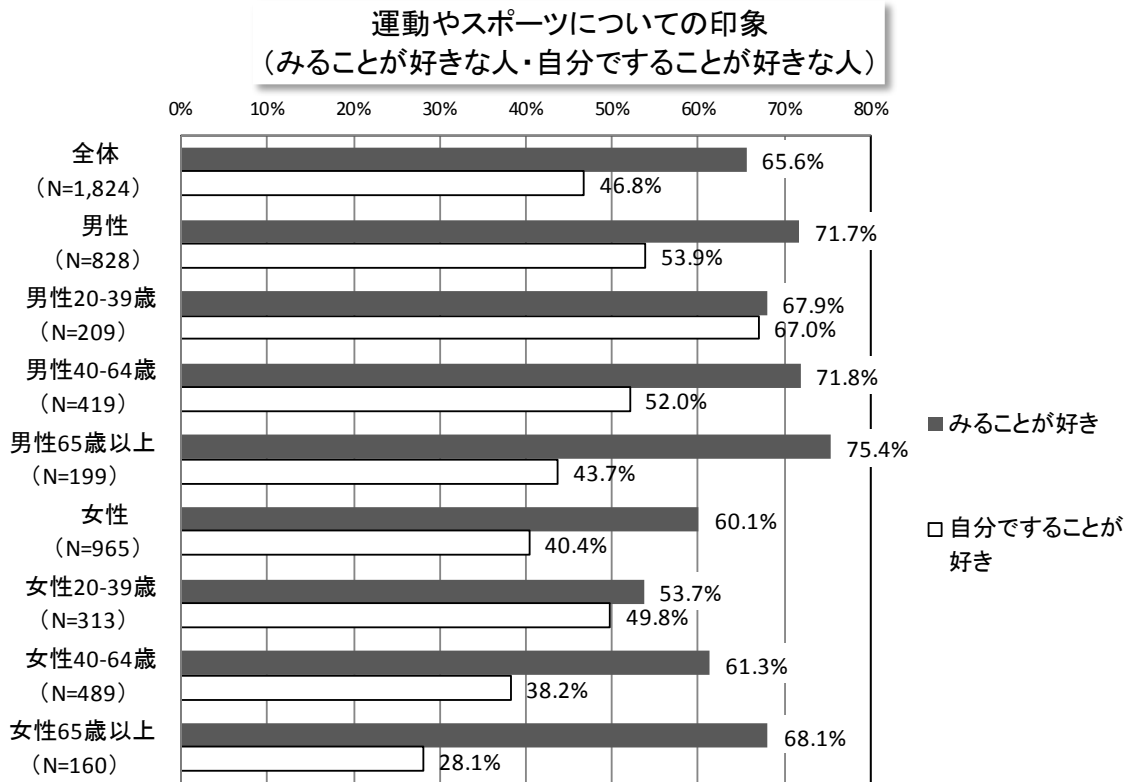
問 11 あなたは、運動やスポーツについてどのようにお感じですか。

- * 「みることも自分ですることも両方好き」が 35.7%と最も多く、次いで「みることは好きだが、自分でしたいとはあまり思わない」（29.8%）と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、「みることも自分ですることも両方好き」という回答は、男性 20～39 歳が 53.6%と最も多いのをはじめ、男女ともに年齢があがるにつれて少なくなる傾向が見られます。
- * また、女性 20～39 歳については、「みることも自分ですることも両方好き」が 32.6%と女性の中では最も多い一方で、「みることも自分ですることも両方嫌い、または興味・関心がない」も 22.7%に及んでいます。これらのことから、女性 20～39 歳においては、運動・スポーツが好きの人と、嫌いまたは興味・関心のない人の二極化が進んでいると推察されます。



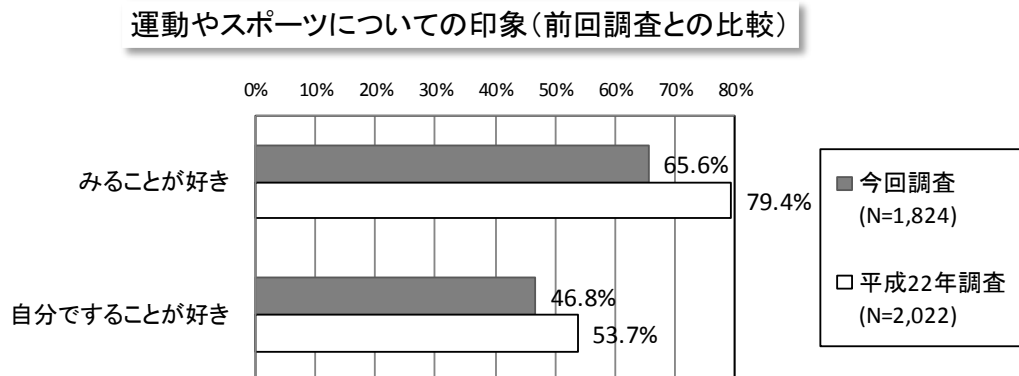
みることが好きな人・自分ですることが好きな人について

- * 回答者全体では、「運動やスポーツをみることが好き」と回答した人は65.6%、「自分ですることが好き」と回答した人が46.8%となっています。
- * 性別・年齢別にみると、「みることが好き」と回答した人は、一般的に男性の方が女性よりも多く、また、男女ともに年齢があがるにつれて多くなっています。
- * 「自分ですることが好き」と回答した人を性別・年齢別にみると、一般的に男性の方が女性よりも多く、また、男女ともに年齢層の若い人の方が多くなっています。



みることが好きな人・自分ですることが好きな人について 市調査推移 (前回調査との比較)

- * 本市で実施した過去の調査と比較すると、平成22年調査で「みることが好き」と回答した人が79.4%であり、今回調査(65.6%)では13.8ポイント減少しています。また、平成22年調査で「自分ですることが好き」と回答した人が53.7%であり、今回調査(46.8%)では6.9ポイント減少しており、一般的に運動・スポーツが嫌いまたは興味・関心のない人が増える傾向が見られます。

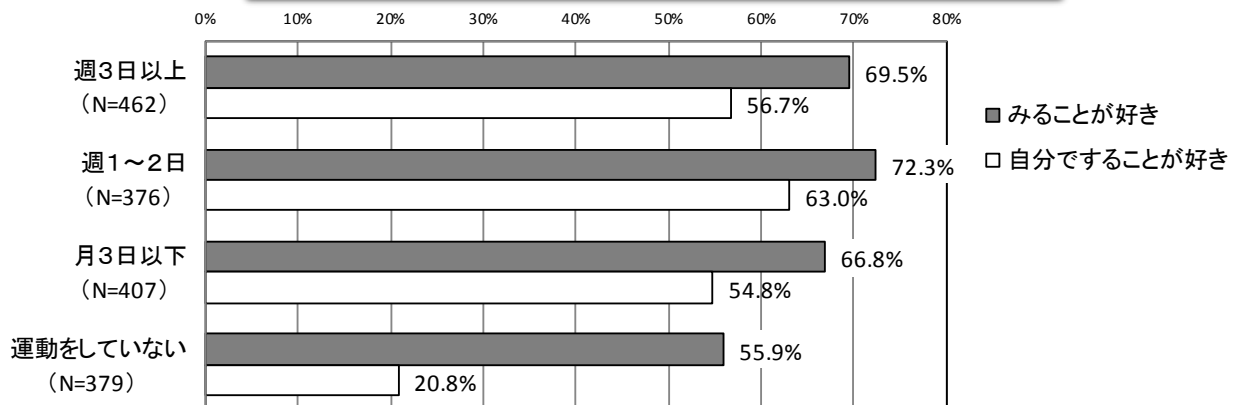


みることが好きな人・自分ですることが好きな人について 運動・スポーツの実施日数別の比較

* 運動・スポーツの実施日数別に「みることが好き」な人の割合をみると、運動をしている人は70%前後を占める一方で、運動をしていない人は55.9%と少なくなっています。

* また、「自分ですることが好き」な人の割合について、運動・スポーツの実施日数別にみると、運動をしている人は50%以上を占める一方で、運動をしていない人は20.8%と他よりもはるかに少なくなっています。

運動やスポーツについての印象(運動・スポーツの実施日数別:
みることが好きな人・自分ですることが好きな人)

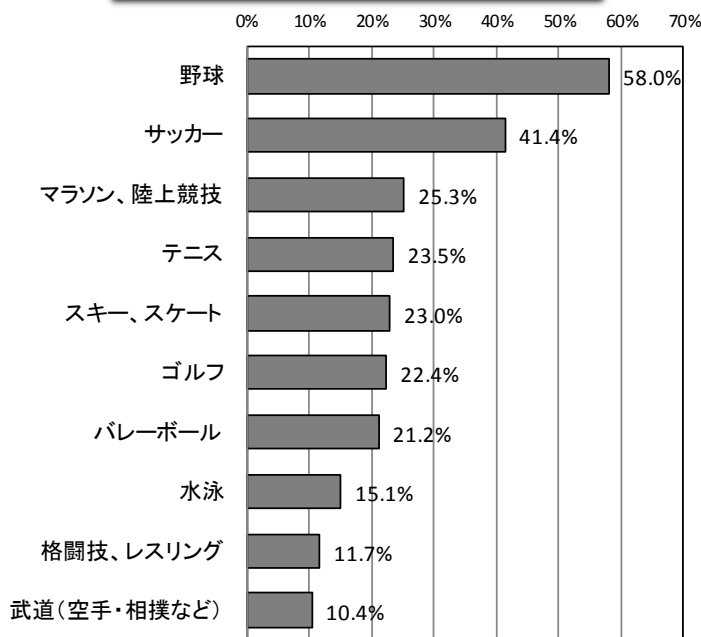


問 11 付問 1 よくみるスポーツは何ですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

→「運動やスポーツをみるのが好き」と回答した人のみ

- * 「野球」が 58.0%と最も多く、次いで「サッカー」、「マラソン、陸上競技」、「テニス」、「スキー、スケート」と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、男性全体及び女性全体では、いずれも第1位が「野球」、第2位が「サッカー」と上位2位は同じ種目ですが、第3～5位は、男性が「ゴルフ」、「マラソン、陸上競技」、「格闘技、レスリング」の順で、女性が「スキー、スケート」、「テニス」、「バレーボール」の順であり、異なる種目が並びます。
- * また、男性及び女性ともに、よくみるスポーツの種目が年齢層により異なり、男性 20～39 歳は「サッカー」(60.6%：第1位)、男性 65 歳以上は「ゴルフ」(49.1%：第2位)、女性 20～39 歳は「バレーボール」(27.9%：第3位)、女性 40～64 歳は「スキー、スケート」(42.9%：第2位)、女性 65 歳以上は「マラソン、陸上競技」(34.4%：第2位)がそれぞれ他よりも上位となっています。

よくみるスポーツ上位10位(回答者全体) (N=1,436)



よくみるスポーツ(回答者全体)

順位	スポーツの種目	回答率
1	野球	58.0%
2	サッカー	41.4%
3	マラソン、陸上競技	25.3%
4	テニス	23.5%
5	スキー、スケート	23.0%
6	ゴルフ	22.4%
7	バレーボール	21.2%
8	水泳	15.1%
9	格闘技、レスリング	11.7%
10	武道(空手・相撲など)	10.4%
11	卓球	7.1%
12	モータースポーツ	7.0%
13	ラグビー、アメリカンフットボール	5.7%
14	ダンス	5.1%
15	バスケットボール	3.6%
15	ソフトボール	3.6%
	その他	6.0%
	無回答	9.7%

[その他の回答]	●自転車、BMX	●ボクシング	●カーリング
	●体操	●新体操	●ボウリング
	●バドミントン	●フットサル	●サーフィン
	●ボルダリング	●ビリヤード	●フラダンス
	●登山	●オリンピックのTV、ニュースや番組企画	など

【性別・年齢別にみるよくみるスポーツ】

順位	回答者全体(N=1,436)	回答率	男性全体(N=692)	回答率	女性全体(N=716)	回答率
1	野球	58.0%	野球	69.7%	野球	46.6%
2	サッカー	41.4%	サッカー	46.5%	サッカー	36.3%
3	マラソン、陸上競技	25.3%	ゴルフ	32.4%	スキー、スケート	34.9%
4	テニス	23.5%	マラソン、陸上競技	24.4%	テニス	29.6%
5	スキー、スケート	23.0%	格闘技、レスリング	19.4%	バレーボール	29.2%
6	ゴルフ	22.4%	テニス	17.6%	マラソン、陸上競技	26.1%
7	バレーボール	21.2%	武道(空手・相撲など)	14.9%	水泳	20.3%
8	水泳	15.1%	バレーボール	12.7%	ゴルフ	12.6%
9	格闘技、レスリング	11.7%	モータースポーツ	12.6%	卓球	6.7%
10	武道(空手・相撲など)	10.4%	スキー、スケート	11.0%	武道(空手・相撲など)	6.1%

順位	男性 20～39 歳(N=165)	回答率	男性 40～64 歳(N=351)	回答率	男性 65 歳以上(N=175)	回答率
1	サッカー	60.6%	野球	68.4%	野球	82.9%
2	野球	58.2%	サッカー	43.0%	ゴルフ	49.1%
3	格闘技、レスリング	26.7%	ゴルフ	32.8%	サッカー	40.6%
4	テニス	13.9%	マラソン、陸上競技	24.2%	マラソン、陸上競技	38.3%
5	ゴルフ	13.9%	格闘技、レスリング	20.5%	武道(空手・相撲など)	22.9%
6	マラソン、陸上競技	10.3%	テニス	18.2%	テニス	20.0%
7	モータースポーツ	9.7%	モータースポーツ	17.4%	水泳	17.1%
8	バスケットボール	8.5%	バレーボール	14.2%	バレーボール	15.4%
9	武道(空手・相撲など)	8.5%	スキー、スケート	14.0%	卓球	15.4%
10	バレーボール	6.7%	武道(空手・相撲など)	14.0%	スキー、スケート	12.6%

順位	女性 20～39 歳(N=204)	回答率	女性 40～64 歳(N=359)	回答率	女性 65 歳以上(N=131)	回答率
1	野球	44.1%	野球	45.7%	野球	59.5%
2	サッカー	40.7%	スキー、スケート	42.9%	マラソン、陸上競技	34.4%
3	バレーボール	27.9%	サッカー	39.0%	スキー、スケート	29.8%
4	スキー、スケート	27.5%	テニス	39.0%	バレーボール	29.8%
5	水泳	17.2%	バレーボール	31.5%	テニス	29.0%
6	テニス	16.7%	マラソン、陸上競技	30.1%	ゴルフ	29.0%
7	マラソン、陸上競技	16.2%	水泳	20.6%	サッカー	27.5%
8	ダンス	9.3%	ゴルフ	12.5%	水泳	27.5%
9	格闘技、レスリング	6.9%	ダンス	6.4%	卓球	14.5%
10	バスケットボール	5.9%	武道(空手・相撲など)	5.8%	ダンス	13.7%

市調査推移(前回調査との比較)

* 本市で実施した過去の調査と比較すると、平成 22 年調査と今回調査において上位 10 位に入っている種目は同じですが、「テニス」(23.5% : 第 4 位)、「スキー、スケート」(23.0% : 第 5 位)、「水泳」(15.1% : 第 8 位) の 3 種目の順位があがっています。

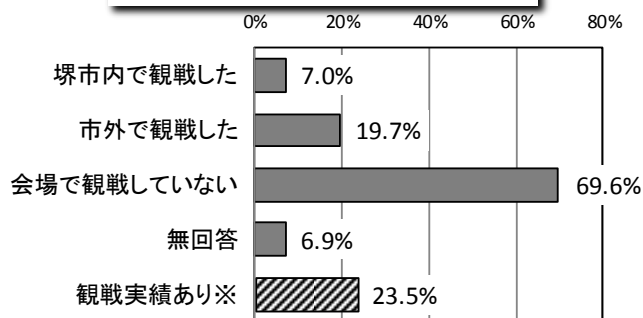
【よくみるスポーツ・前回調査との比較】

順位	回答者全体(N=1,436)	回答率	平成 22 年調査(N=1,606)	回答率
1	野球	58.0%	野球	66.5%
2	サッカー	41.4%	サッカー	46.6%
3	マラソン、陸上競技	25.3%	マラソン、陸上競技	31.6%
4	テニス	23.5%	ゴルフ	31.4%
5	スキー、スケート	23.0%	バレーボール	24.6%
6	ゴルフ	22.4%	スキー、スケート	18.2%
7	バレーボール	21.2%	格闘技、レスリング	15.7%
8	水泳	15.1%	テニス	12.5%
9	格闘技、レスリング	11.7%	武道(空手・相撲など)	11.9%
10	武道(空手・相撲など)	10.4%	水泳	11.6%

問 11 付問 2 この 1 年間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)に会場でスポーツの試合などを観戦しましたか。(あてはまるものをすべて選んで○)
→「運動やスポーツをみるのが好き」と回答した人のみ

* 「会場で観戦していない」が 69.6%を占める一方で、「運動やスポーツをみるのが好き」と回答した人の中でも観戦実績のある人※は、「堺市内で観戦した」(7.0%)と回答した人を含め、23.5%に止まり少なくなっています。

最近 1 年間でスポーツ観戦したか (N=1,436)



※ 「堺市内で観戦した」「市外で観戦した」のいずれかに回答した人の合計を示しています。

* 性別・年齢別にみると、観戦実績ありと回答した人は、年齢層の若い人ほど多く、特に男性 20～39 歳は 35.8%と多くなっています。一方、65 歳以上は男女ともに観戦実績は 20%未満と少なくなっています。

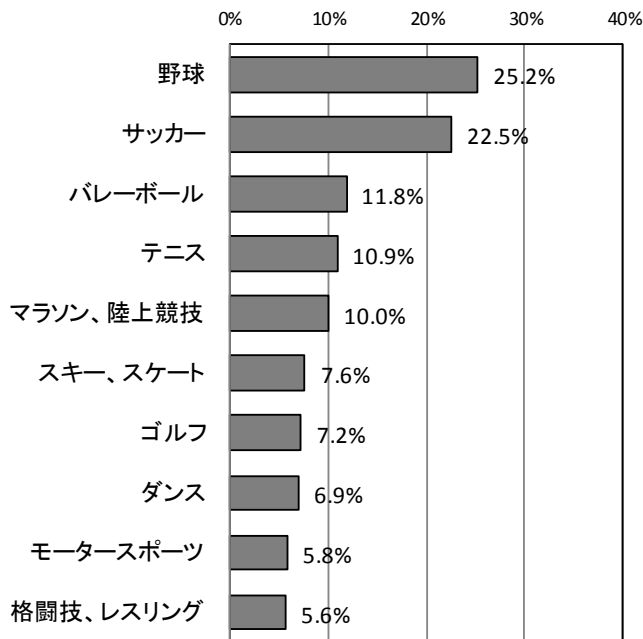
最近 1 年間でスポーツ観戦したか	全体 (N=1,824)	男性 (N=828)	男性 20-39 歳 (N=209)	男性 40-64 歳 (N=419)	男性 65 歳以上 (N=199)	女性 (N=965)	女性 20-39 歳 (N=313)	女性 40-64 歳 (N=489)	女性 65 歳以上 (N=160)
堺市内で観戦した	7.0%	8.2%	7.9%	8.8%	7.4%	6.7%	5.4%	8.4%	5.3%
市外で観戦した	19.7%	23.6%	32.1%	25.4%	12.0%	15.6%	18.6%	16.2%	12.2%
会場で観戦していない	69.6%	66.3%	61.8%	66.4%	70.3%	74.3%	77.0%	79.1%	67.2%
無回答	6.9%	6.4%	2.4%	4.3%	14.3%	6.8%	2.0%	0.0%	19.8%
観戦実績あり	23.5%	27.3%	35.8%	29.3%	15.4%	18.9%	21.1%	20.9%	13.0%

【観戦競技例】	【市内】	【市外】
	<ul style="list-style-type: none"> ●野球 (子どもの試合) ●ソフトボール ●自転車 ●サッカー (プロ野球、高校野球、女子プロ野球など) ●ラグビー ●ボクシング ●アイスホッケー ●ダンス ●シンクロナイズドスイミング 	<ul style="list-style-type: none"> ●サッカー ●卓球 ●マラソン ●アメリカンフットボール ●弓道 ●フィギュアスケート ●レスリング

問 11 付問 3 堺市内で観戦してみたいスポーツ大会はありますか。

- * 「野球」が25.2%と最も多く、次いで「サッカー」、「バレーボール」、「テニス」、「マラソン、陸上競技」と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、男性全体の第1位が「野球」、女性全体の第1位が「サッカー」であるのに加えて、第3～5位は、男性が「ゴルフ」、「モータースポーツ」、「マラソン、陸上競技」の順で、女性が「バレーボール」、「テニス」、「スキー、スケート」の順であり、異なる種目が並びます。
- * また、男性及び女性ともに堺市内で観戦してみたいスポーツの種目が年齢層により異なり、男性20～39歳は「格闘技・レスリング」(15.3%：第3位)、男性65歳以上は「卓球」(8.0%：第6位)、女性20～39歳は「ダンス」(14.1%：第3位)、女性40～64歳は「バレーボール」(18.0%：第2位)、女性65歳以上は「マラソン、陸上競技」(14.4%：第2位)がそれぞれ他よりも上位となっています。

堺市内で観戦してみたいスポーツ
上位10位(回答者全体) (N=1,824)



堺市内で観戦してみたいスポーツ(回答者全体)

順位	スポーツの種目	回答率
1	野球	25.2%
2	サッカー	22.5%
3	バレーボール	11.8%
4	テニス	10.9%
5	マラソン、陸上競技	10.0%
6	スキー、スケート	7.6%
7	ゴルフ	7.2%
8	ダンス	6.9%
9	モータースポーツ	5.8%
10	格闘技、レスリング	5.6%
11	バスケットボール	4.9%
12	水泳	4.6%
13	武道(空手・相撲など)	4.0%
14	卓球	3.3%
15	ラグビー、アメリカンフットボール	2.9%
16	ソフトボール	2.0%
	その他	11.3%
	無回答	16.0%

[その他の回答]	●自転車、BMX	●ロードレース	●サイクルロードレース
	●フィギュアスケート	●バドミントン	●ハンドボール
	●フットサル	●ボウリング	●プロ野球
	●ソフトテニス	●プロレス	●相撲
	●柔道	●新体操	●吹き矢
	●ダーツ	●カラーラン	●ベンチプレス
	●ウェイトリフティング	●有名選手が来たらぜひ行きたい	など

【性別・年齢別にみる堺市内で観戦してみたいスポーツ】

順位	回答者全体(N=1,824)	回答率	男性全体(N=828)	回答率	女性全体(N=965)	回答率
1	野球	25.2%	野球	33.2%	サッカー	20.7%
2	サッカー	22.5%	サッカー	25.2%	野球	18.1%
3	バレーボール	11.8%	ゴルフ	11.8%	バレーボール	15.5%
4	テニス	10.9%	モータースポーツ	10.4%	テニス	13.3%
5	マラソン、陸上競技	10.0%	マラソン、陸上競技	9.4%	スキー、スケート	12.2%
6	スキー、スケート	7.6%	格闘技、レスリング	9.3%	ダンス	10.8%
7	ゴルフ	7.2%	テニス	8.1%	マラソン、陸上競技	10.4%
8	ダンス	6.9%	バレーボール	7.6%	バスケットボール	5.9%
9	モータースポーツ	5.8%	ダンス	2.3%	水泳	5.3%
10	格闘技、レスリング	5.6%	スキー、スケート	2.2%	ゴルフ	3.2%

順位	男性 20～39 歳(N=209)	回答率	男性 40～64 歳(N=419)	回答率	男性 65 歳以上(N=199)	回答率
1	サッカー	34.0%	野球	32.9%	野球	38.2%
2	野球	29.2%	サッカー	24.8%	サッカー	17.1%
3	格闘技、レスリング	15.3%	ゴルフ	13.8%	ゴルフ	14.6%
4	モータースポーツ	12.0%	モータースポーツ	12.9%	マラソン、陸上競技	12.1%
5	テニス	9.6%	格闘技、レスリング	8.8%	バレーボール	8.5%
6	マラソン、陸上競技	8.6%	マラソン、陸上競技	8.6%	卓球	8.0%
7	バスケットボール	8.1%	テニス	7.9%	テニス	7.0%
8	バレーボール	7.2%	バレーボール	7.4%	武道(空手・相撲など)	6.0%
9	ゴルフ	5.3%	武道(空手・相撲など)	5.5%	水泳	4.5%
10	武道(空手・相撲など)	5.3%	水泳	4.1%	ソフトボール	4.5%

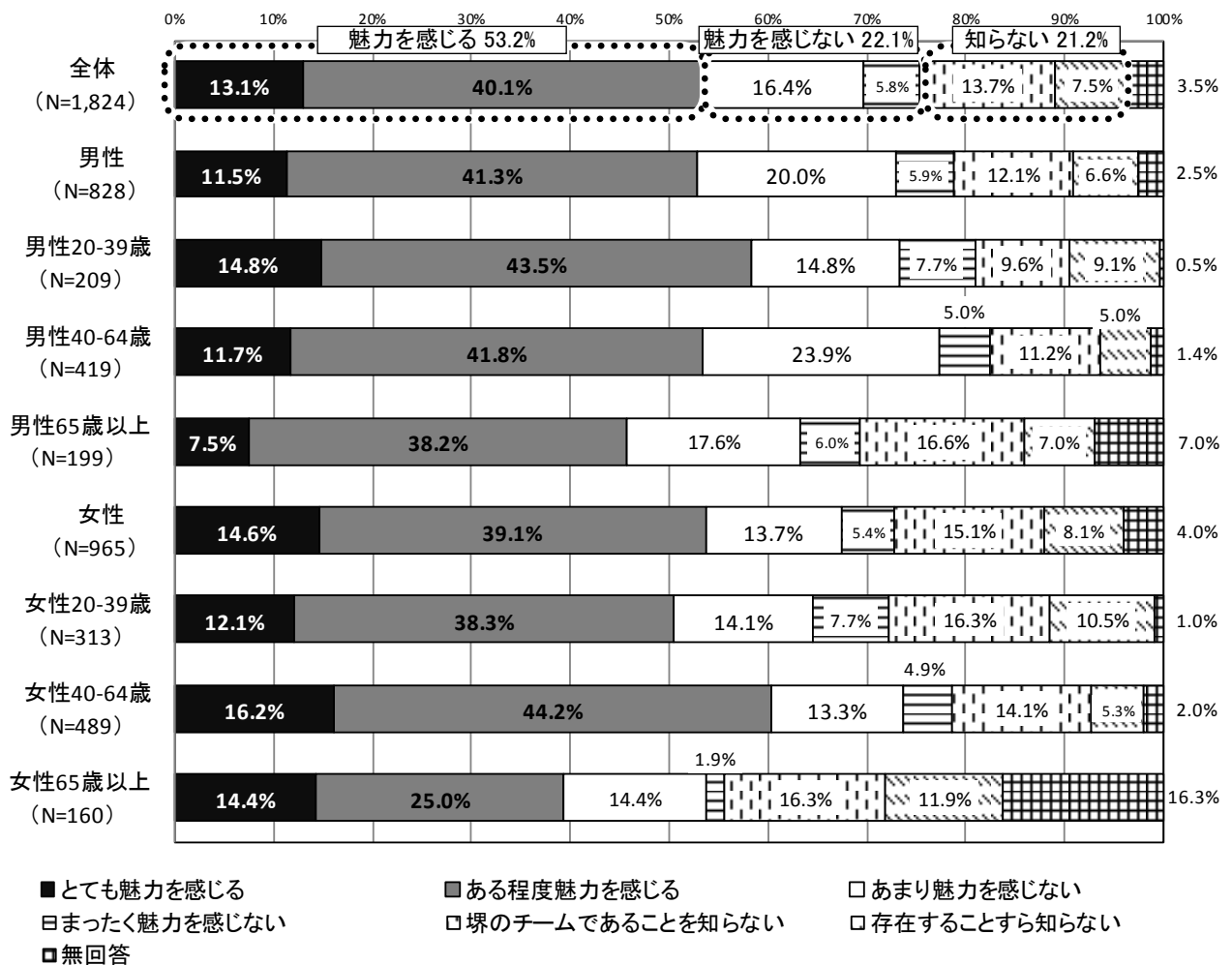
順位	女性 20～39 歳(N=313)	回答率	女性 40～64 歳(N=489)	回答率	女性 65 歳以上(N=160)	回答率
1	サッカー	21.7%	サッカー	22.3%	野球	18.1%
2	野球	19.2%	バレーボール	18.0%	マラソン、陸上競技	14.4%
3	ダンス	14.1%	野球	17.4%	サッカー	13.1%
4	バレーボール	13.1%	テニス	16.6%	バレーボール	13.1%
5	スキー、スケート	11.8%	スキー、スケート	12.7%	スキー、スケート	11.3%
6	テニス	11.5%	マラソン、陸上競技	10.4%	ダンス	8.1%
7	バスケットボール	9.3%	ダンス	9.6%	水泳	7.5%
8	マラソン、陸上競技	8.3%	バスケットボール	5.1%	テニス	6.9%
9	水泳	7.3%	ゴルフ	3.7%	ゴルフ	4.4%
10	モータースポーツ	4.2%	水泳	3.3%	卓球	3.1%

問 11 付問 4 「堺プレイザーズ（バレーボール）」や「セレッソ大阪（サッカー）」など、堺市で活躍するトップレベルのスポーツチームをどのように思いますか。

* 「ある程度魅力を感じる」が40.1%と最も多く、次いで「あまり魅力を感じない」（16.4%）、「堺のチームであることを知らない」（13.7%）と続きます。「魅力を感じる」と思う人が53.2%と50%強を占める一方、「魅力を感じない」が22.1%、「知らない」が21.2%と、それぞれ20%強に及んでいます。

* 性別・年齢別にみると、「魅力を感じる」が多いのは男性20～39歳（58.3%）、女性40～64歳（60.4%）である一方、「知らない」は男性65歳以上（23.6%）、女性20～39歳（26.8%）、女性65歳以上（28.2%）で多くなっています。

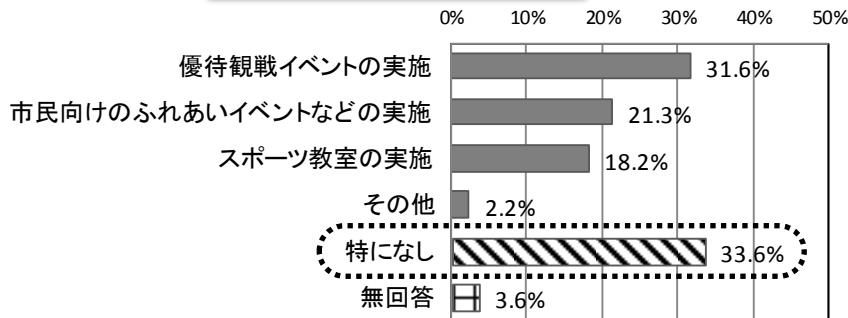
堺市で活躍するトップレベルのスポーツチームの印象



問11 付問5 堺市を中心に活躍するトップレベルのスポーツチームに期待することはどのようなことですか。

- * 「特になし」が33.6%と最も多く、次いで「優待観戦イベントの実施」(31.6%)と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、男女ともに「特になし」と回答した人が多く、特に65歳以上の男女において、50%前後を占めています。

堺市で活躍するトップレベルのスポーツチームに期待すること (N=1,824)



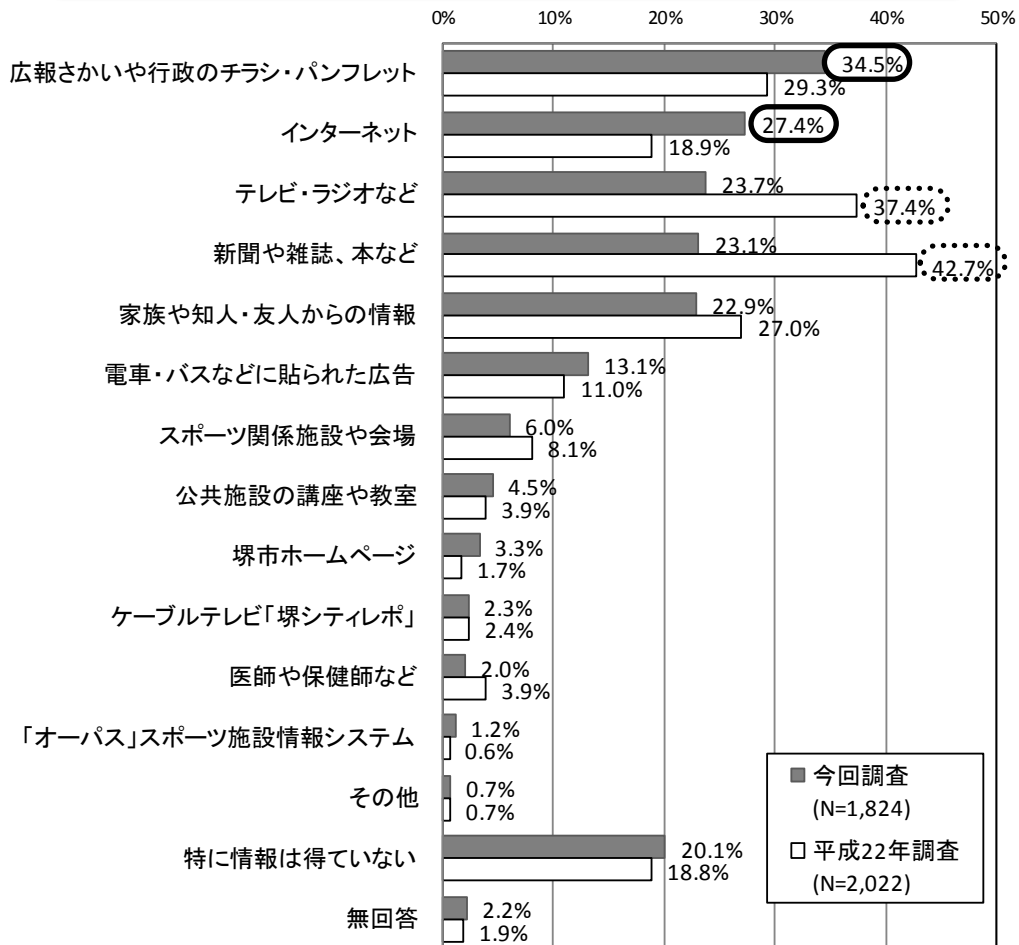
堺市で活躍するトップレベルのスポーツチームに期待すること (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,824)	男性 (N=828)	男性 20-39歳 (N=209)	男性 40-64歳 (N=419)	男性 65歳以上 (N=199)	女性 (N=965)	女性 20-39歳 (N=313)	女性 40-64歳 (N=489)	女性 65歳以上 (N=160)
優待観戦イベントの実施	31.6%	31.3%	35.9%	33.4%	22.1%	32.2%	29.1%	38.0%	20.6%
市民向けのふれあいイベントなどの実施	21.3%	20.3%	20.1%	23.9%	13.1%	22.2%	23.0%	23.9%	14.4%
スポーツ教室の実施	18.2%	15.8%	19.6%	18.1%	7.0%	20.3%	27.5%	19.6%	8.8%
その他	2.2%	3.0%	5.3%	2.6%	1.5%	1.7%	1.6%	1.6%	1.9%
特になし	33.6%	36.1%	29.7%	31.3%	52.8%	31.3%	31.3%	27.0%	45.0%
無回答	3.6%	2.3%	0.0%	1.0%	7.5%	4.6%	0.6%	3.1%	16.9%

[その他の回答]	<ul style="list-style-type: none"> ● チームのレベルアップ 例. 市の誇りになるよう強くなってほしい プロスポーツチームとして結果を出すこと リーグ優勝などタイトル獲得 大物選手の獲得 世界トップクラスの選手の育成 ● 堺市のアピール 例. 堺市のチームであることのアピール チーム・堺市ともに知名度があがる活躍 ● スポーツ選手の派遣 例. 学生の部活動への指導 学校への出前授業など サッカー少年団への支援 市民との関係を築くようなイベントの開催 ● その他 例. 特に70代以上との関わり(参加・観戦できる) マナーをスポーツから広める(ゴミは持ち帰るなど) もう少しローカルTVに出てほしい 中学校にバレー部がないところの立ち上げに力を貸して欲しい など
----------	---

問 12 ふだん運動やスポーツ、健康づくりに取り組む場合、それらの情報はどのように入手されていますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- * 「広報さかいや行政のチラシ・パンフレット」が 34.5%と最も多く、次いで「インターネット」、「テレビ・ラジオなど」、「新聞や雑誌、本など」、「家族や知人・友人からの情報」と続きます。一方、「特に情報は得ていない」と回答した人は 20.1%に及んでいます。
- * 性別・年齢別にみると、「特に情報は得ていない」と回答した人は、女性 40～64 歳 (15.3%)、女性 65 歳以上 (18.1%) において 20%未満と少ない一方、男性 20～39 歳は 26.3%と多くなっています。
- * この他では、「広報さかいや行政のチラシ・パンフレット」が女性 40～64 歳 (48.3%) 及び女性 65 歳以上 (48.1%) において、「インターネット」が男性 20～39 歳 (44.5%) 及び男性 40～64 歳 (36.3%) において、「新聞や雑誌、本など」が男性 65 歳以上 (31.2%) において、「家族や知人・友人からの情報」が女性 20～39 歳 (32.6%) において、それぞれ他よりも多くなっています。
- * また、本市で実施した過去の調査と比較すると、「広報さかいや行政のチラシ・パンフレット」「インターネット」は今回調査の方が増えている一方で、「テレビ・ラジオなど」「新聞や雑誌、本など」は減っています。

運動やスポーツ、健康づくりに取り組む際の情報源(前回調査との比較)



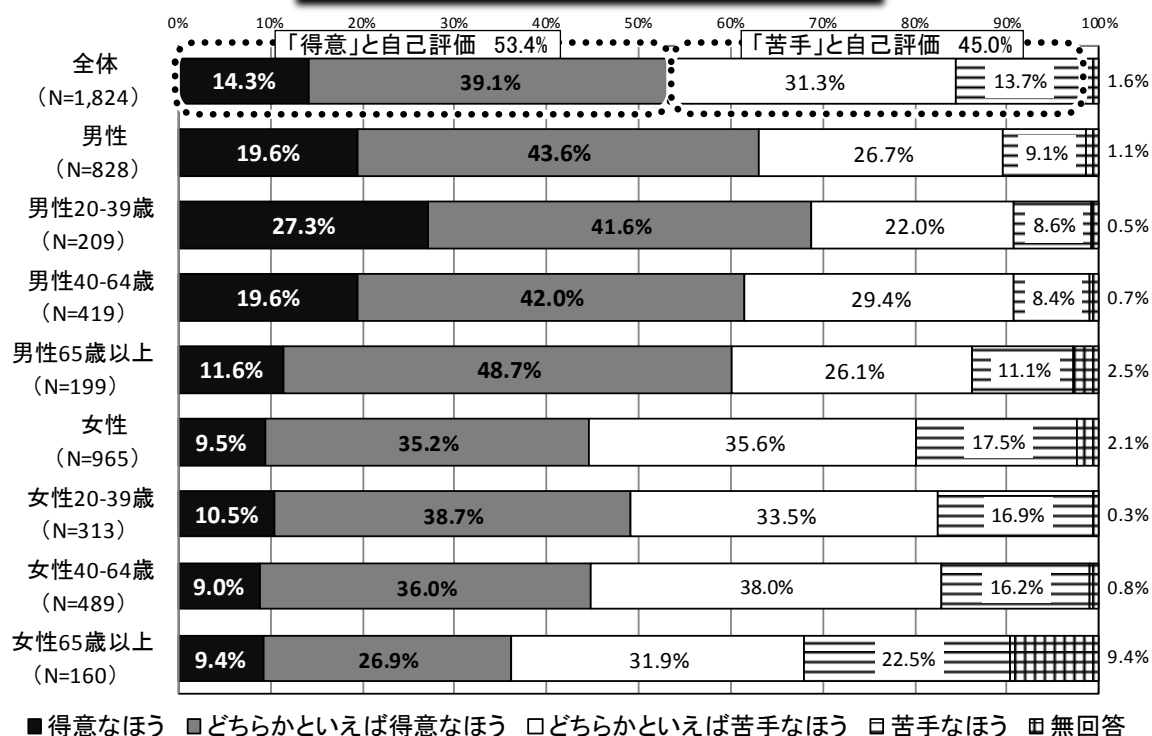
[その他の回答] ●子どもの通う小学校からのチラシなど ●地域の回覧板など
 ●泉北コミュニティなどの情報紙 ●のびやか健康館 など

運動やスポーツ、健康づくりに取り組む際の情報源(回答者全体の多い順)	全体(N=1,824)	男性(N=828)	男性20-39歳(N=209)	男性40-64歳(N=419)	男性65歳以上(N=199)	女性(N=965)	女性20-39歳(N=313)	女性40-64歳(N=489)	女性65歳以上(N=160)
広報さかいや行政のチラシ・パンフレット	34.5%	25.6%	16.7%	27.9%	30.2%	42.7%	31.6%	48.3%	48.1%
インターネット	27.4%	32.2%	44.5%	36.3%	11.1%	23.2%	32.6%	23.7%	3.1%
テレビ・ラジオなど	23.7%	25.4%	22.5%	25.3%	28.6%	22.0%	16.3%	26.4%	20.0%
新聞や雑誌、本など	23.1%	24.2%	15.8%	24.8%	31.2%	22.3%	18.2%	24.5%	23.1%
家族や知人・友人からの情報	22.9%	16.8%	19.1%	15.8%	16.6%	28.1%	32.6%	26.8%	23.1%
電車・バスなどに貼られた広告	13.1%	11.6%	9.6%	14.1%	8.5%	14.5%	14.4%	15.5%	11.3%
スポーツ関係施設や会場	6.0%	6.9%	6.2%	7.4%	6.5%	5.3%	4.5%	6.1%	4.4%
公共施設の講座や教室	4.5%	2.2%	1.4%	2.1%	3.0%	6.2%	3.8%	7.2%	8.1%
本市ホームページ	3.3%	3.6%	3.8%	4.1%	2.5%	3.1%	4.2%	2.7%	2.5%
ケーブルテレビ「堺シティレポ」	2.3%	2.2%	1.9%	2.1%	2.5%	2.4%	1.3%	2.5%	4.4%
医師や保健師など	2.0%	2.4%	1.4%	2.4%	3.5%	1.7%	1.9%	1.0%	3.1%
「オーパス」スポーツ施設情報システム	1.2%	1.4%	1.9%	1.9%	0.0%	0.7%	0.6%	0.6%	1.3%
その他	0.7%	0.7%	0.0%	0.7%	1.5%	0.7%	1.6%	0.4%	0.0%
特に情報は得ていない	20.1%	22.6%	26.3%	21.7%	20.6%	18.2%	22.7%	15.3%	18.1%
無回答	2.2%	2.1%	0.0%	1.9%	4.5%	2.2%	1.0%	0.6%	9.4%

問 13 あなたは運動やスポーツなどで体を動かすことは得意なほうですか。

- * 「どちらかといえば得意なほう」が 39.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば苦手なほう」(31.3%)と続きます。運動やスポーツなどが「得意」と自己評価した人(53.4%)の方が、「苦手」と自己評価した人(45.0%)よりも8.4ポイント多くなっています。
- * 性別・年齢別にみると、男女ともに年齢があがるにつれて「得意」と自己評価する人が少なくなる傾向が見られます。
- * また、男性では、20～39歳で「得意」と自己評価する人が68.9%を占めるのをはじめ、全ての年齢層において「得意」と自己評価する人の方が「苦手」と自己評価する人よりも多くなっています。一方、女性65歳以上が「苦手」と自己評価する人が54.4%を占めるのをはじめ、女性の全ての年齢層において、「苦手」と自己評価する人の方が「得意」と自己評価する人よりも多くなっています。

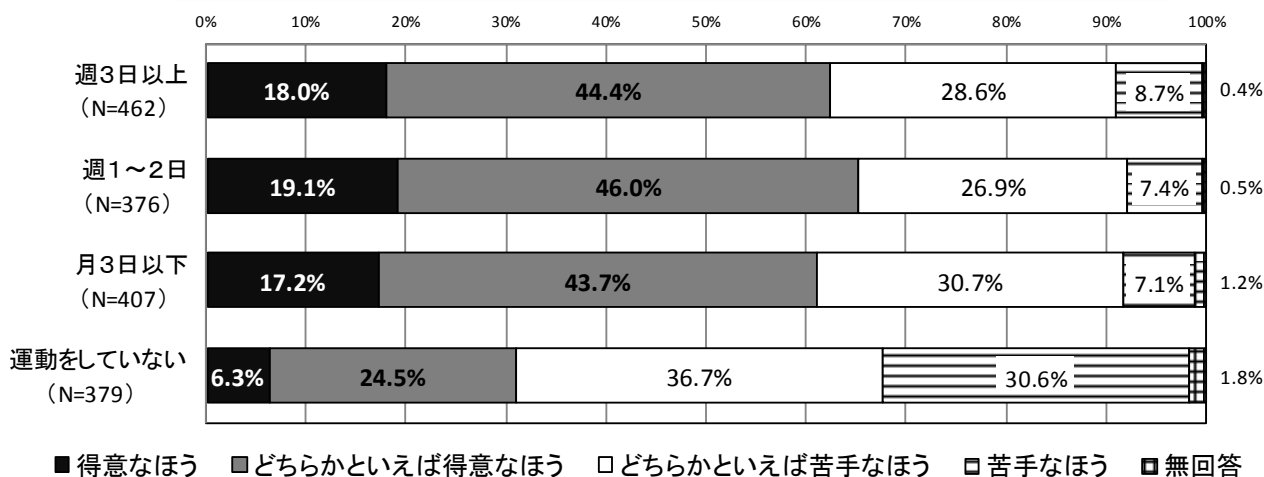
運動やスポーツなどで体を動かすことは得意か



運動・スポーツの実施日数別の比較

* 運動・スポーツの実施日数別にみると、運動をしている人は60%以上が「得意」と自己評価している一方、運動をしていない人は67.3%が「苦手」と自己評価しており、運動をしている人としていない人で大きな差が見られます。

運動やスポーツなどで体を動かすことは得意か(運動・スポーツの実施日数別)

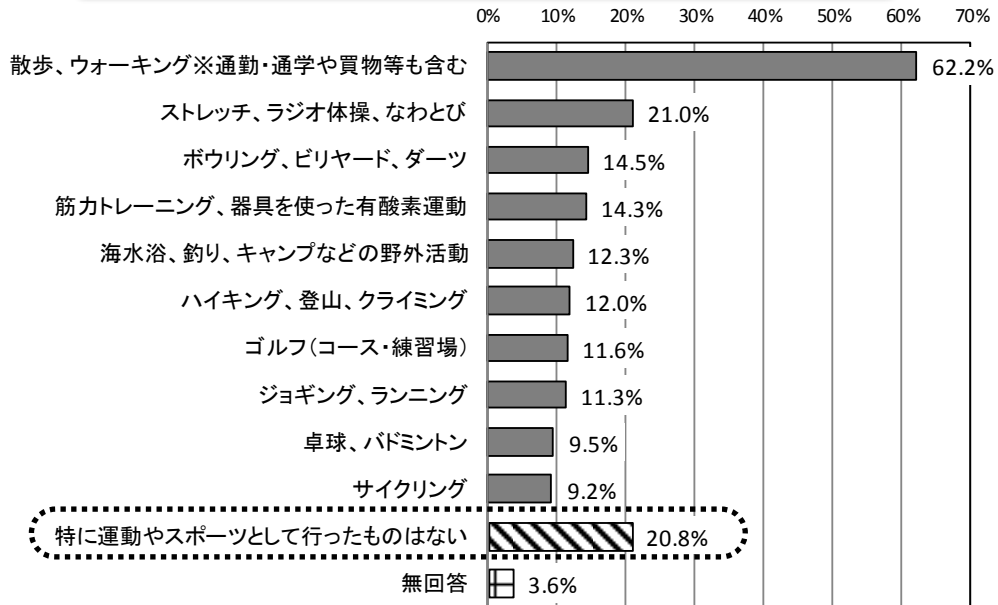


(2) この1年間の運動・スポーツの実施状況

問14 この1年間で行った運動やスポーツはありますか。
(行ったものをすべて選んで○)

- * 「散歩、ウォーキング」が62.2%と他よりも突出して多い一方、「特に運動やスポーツとして行ったものはない」と回答した人は20.8%に及んでいます。
- * 性別・年齢別にみると、全ての性別・年齢において「散歩、ウォーキング」が他よりも突出して多くなっています。また、第2位をみると、男性20~39歳は「ジョギング、ランニング」、男性40歳以上は「ゴルフ(コース・練習場)」、女性では全ての年齢層において「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」となっています。
- * 一方、「特に運動やスポーツとして行ったものはない」と回答した人を性別・年齢別にみると、男女とも年齢層が高いほど割合が大きくなっています。

この1年間で行った運動やスポーツ上位10位ほか(回答者全体) (N=1,824)



順位	スポーツの種目	回答率	順位	スポーツの種目	回答率
1	散歩、ウォーキング	62.2%	24	柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他の武道	1.4%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	21.0%	25	陸上競技	1.3%
3	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	14.5%	26	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	1.3%
4	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	14.3%	27	自転車競技(BMXなど)	1.1%
5	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	12.3%	28	綱引き	1.0%
6	ハイキング、登山、クライミング	12.0%	29	ボート、カヌー、ヨット	1.0%
7	ゴルフ(コース・練習場)	11.6%	30	サーフィン、ウインドサーフィン	1.0%
8	ジョギング、ランニング	11.3%	31	スケートボード、ローラースケート	0.9%
9	卓球、バドミントン	9.5%	32	モータースポーツ(自動車競技など)	0.7%
10	サイクリング	9.2%	33	スクーバダイビング	0.7%
11	水泳、水中歩行、アクアビクス	8.5%	34	剣道、なぎなた、フェンシング	0.4%
12	キャッチボール、その他のボール遊び	7.0%	35	弓道、アーチェリー	0.4%
13	太極拳、ヨガ、チューブ体操、その他体操	6.6%	36	パークゴルフ、ターゲットバードゴルフ	0.4%
14	野球、ソフトボール	6.1%	37	乗馬、馬術	0.3%
15	スキー、スノーボード	6.0%	38	器械体操、新体操	0.3%
16	テニス、ソフトテニス	5.8%	39	ボクシング、レスリング、その他の格闘技	0.3%
17	サッカー、フットサル	4.6%	40	水上オートバイ	0.2%
18	ダンス、エアロビックダンス	4.6%	41	ハンドボール、ラクロス、ホッケー	0.1%
19	バレーボール、ソフトバレーボール	3.4%	42	ラグビー、タグラグビー、アメリカンフットボール	0.1%
20	マラソン、駅伝	2.4%		その他	1.3%
21	ゲーム機のスポーツ体験ソフト	2.4%		特に運動やスポーツとして行ったものはない	20.8%
22	バスケットボール	2.0%		無回答	3.6%
23	スケート、カーリング、アイスホッケー	1.9%			

[その他の回答]	●クラシックバレエ	●トライアスロン	●トランポリン
	●ペタンク	●カポエイラ	●よさこい
	●健康吹き矢	●フリスビー	●競技大会の審判
	●趣味での畑仕事		など

【性別・年齢別にみるこの1年間で行った運動やスポーツ】

順位	回答者全体 (N=1,824)	回答率	男性全体 (N=828)	回答率	女性全体 (N=965)	回答率
1	散歩、ウォーキング	62.2%	散歩、ウォーキング	58.3%	散歩、ウォーキング	65.4%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	21.0%	ゴルフ(コース・練習場)	20.0%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	27.4%
3	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	14.5%	ジョギング、ランニング	17.3%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	13.1%
4	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	14.3%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	16.8%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	12.5%
5	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	12.3%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	16.7%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	11.2%
6	ハイキング、登山、クライミング	12.0%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	15.6%	ハイキング、登山、クライミング	10.7%
7	ゴルフ(コース・練習場)	11.6%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	13.8%	卓球、バドミントン	9.6%
8	ジョギング、ランニング	11.3%	ハイキング、登山、クライミング	13.5%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	8.6%
9	卓球、バドミントン	9.5%	サイクリング	10.9%	サイクリング	7.9%
10	サイクリング	9.2%	野球、ソフトボール	10.9%	水泳、水中歩行、アクアビクス	7.9%
	特に運動やスポーツとして行ったものはない	20.8%	特に運動やスポーツとして行ったものはない	19.4%	特に運動やスポーツとして行ったものはない	22.0%
	無回答	3.6%	無回答	3.0%	無回答	4.4%

順位	男性 20～39 歳 (N=209)	回答率	男性 40～64 歳 (N=419)	回答率	男性 65 歳以上 (N=199)	回答率
1	散歩、ウォーキング	57.4%	散歩、ウォーキング	55.8%	散歩、ウォーキング	64.3%
2	ジョギング、ランニング	32.1%	ゴルフ(コース・練習場)	22.2%	ゴルフ(コース・練習場)	21.1%
3	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	27.8%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	19.6%	ハイキング、登山、クライミング	14.1%
4	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	25.4%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	16.7%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	13.1%
5	サッカー、フットサル	23.9%	ジョギング、ランニング	15.8%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	10.6%
6	野球、ソフトボール	21.5%	ハイキング、登山、クライミング	14.8%	サイクリング	8.0%
7	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	20.6%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	13.1%	水泳、水中歩行、アクアビクス	7.5%
8	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	16.3%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	12.9%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	6.5%
9	ゴルフ(コース・練習場)	14.8%	サイクリング	11.9%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	5.5%
10	卓球、バドミントン	14.4%	水泳、水中歩行、アクアビクス	10.0%	卓球、バドミントン	5.5%
			キャッチボールほかボール遊び	10.0%		
	特に運動やスポーツとして行ったものはない	13.9%	特に運動やスポーツとして行ったものはない	20.3%	特に運動やスポーツとして行ったものはない	23.6%
	無回答	1.9%	無回答	1.4%	無回答	8.0%

順位	女性 20～39 歳 (N=313)	回答率	女性 40～64 歳 (N=489)	回答率	女性 65 歳以上 (N=160)	回答率
1	散歩、ウォーキング	71.2%	散歩、ウォーキング	65.4%	散歩、ウォーキング	53.8%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	31.6%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	28.2%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	16.3%
3	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	19.5%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	12.3%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	15.0%
4	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	14.7%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	12.1%	ハイキング、登山、クライミング	15.0%
5	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	13.1%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	10.8%	水泳、水中歩行、アクアビクス	8.1%
6	ジョギング、ランニング	12.1%	卓球、バドミントン	10.2%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	7.5%
7	サイクリング	11.8%	ハイキング、登山、クライミング	9.2%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	4.4%
8	キャッチボールほかボール遊び	11.8%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	7.6%	卓球、バドミントン	4.4%
9	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	11.8%	水泳、水中歩行、アクアビクス	7.4%	ダンス、エアロビックダンス	4.4%
10	卓球、バドミントン	11.5%	テニス、ソフトテニス	7.4%	サイクリング	3.1%
	特に運動やスポーツとして行ったものはない	16.9%	特に運動やスポーツとして行ったものはない	22.5%	特に運動やスポーツとして行ったものはない	30.0%
	無回答	1.3%	無回答	3.1%	無回答	20.6%

市調査推移（前回調査との比較）

※ 本市で実施した過去の調査と比較すると、平成 22 年調査の第 1 位は「散歩、ウォーキング」と同じですが、「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」（21.0%：第 2 位）、「ハイキング、登山、クライミング」（12.0%：第 6 位）、「卓球、バドミントン」（9.5%：第 9 位）の 3 種目が新たに入っています。

【この 1 年間で行った運動やスポーツ・前回調査との比較】

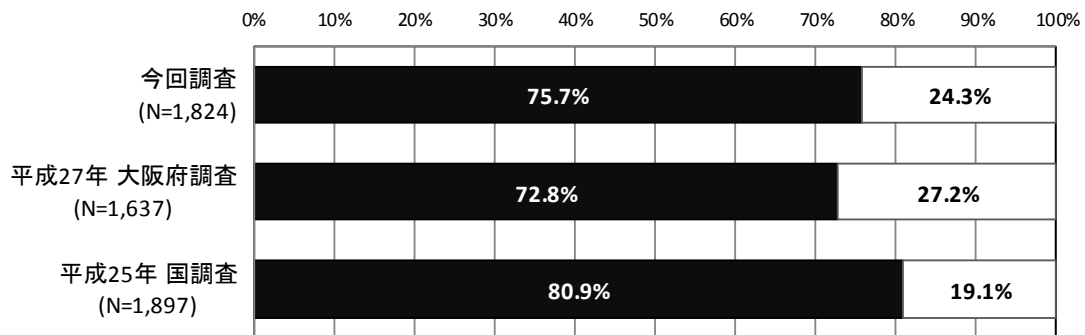
順位	今回調査(N=1,824)	回答率	平成 22 年調査(N=2,022)	回答率
1	散歩、ウォーキング	62.2%	散歩、ウォーキング	47.5%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	21.0%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	16.5%
3	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	14.5%	筋カトレニング、器具を使った有酸素運動	16.0%
4	筋カトレニング、器具を使った有酸素運動	14.3%	ゴルフ(コース・練習場)	12.4%
5	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	12.3%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	12.4%
6	ハイキング、登山、クライミング	12.0%	サイクリング	10.4%
7	ゴルフ(コース・練習場)	11.6%	水泳、水中歩行、アクアビクス	10.2%
8	ジョギング、ランニング	11.3%	ジョギング、ランニング	9.9%
9	卓球、バドミントン	9.5%	ラジオ体操、なわとび	9.8%
10	サイクリング	9.2%	野球、ソフトボール	9.8%
	特に運動やスポーツとして行ったものはない	20.8%	特に運動やスポーツとして行ったものはない	21.0%
	無回答	3.6%	無回答	3.9%

※ 選択肢の種目が前回調査の 41 から今回調査で 43 に増加し、かつ選択肢の内容も前回調査より変更しています。

大阪府、国が実施した調査との比較（運動やスポーツを行った人、行っていない人の割合）

※ 大阪府、国と運動やスポーツを行った人の割合を比較すると、大阪府調査は 72.8%と本市よりも 2.9 ポイント低い一方で、国調査では 80.9%と本市よりも 5.2 ポイント高くなっています。

この 1 年間で行った運動やスポーツ(大阪府、国との比較)
[運動やスポーツを行った人、行っていない人]



■ 運動やスポーツを行った※ □ 運動やスポーツとして行ったものはない、無回答

※ 今回調査では、問 14「この 1 年間で行った運動やスポーツ」において、いずれかのスポーツ種目を選んだ人については「運動やスポーツを行った」ものと見なし、算出しています。

問 14 付問 1 問 14 で選ばれた運動やスポーツのなかで、特によく行われるものは何ですか。

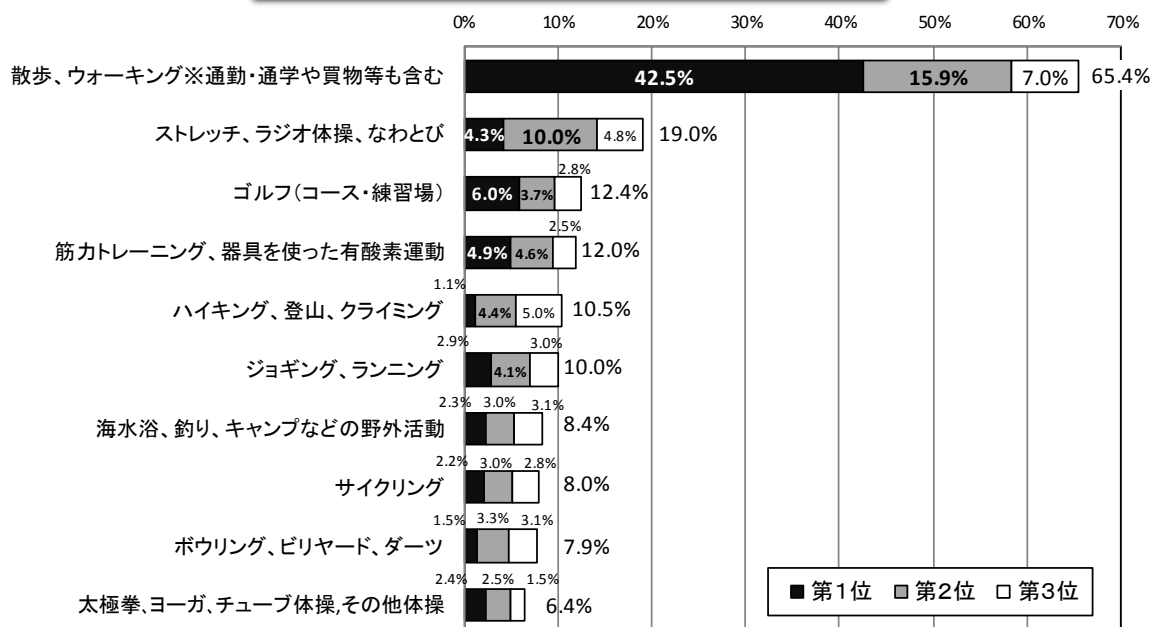
頻度の高い順番に3つまで選んで問 14 の番号を記入してください。

→ 1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

* この1年間で行った運動やスポーツと同様、「散歩、ウォーキング」が 65.4%と他よりも突出して多く、次いで、「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」、「ゴルフ（コース・練習場）」、「筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動」、「ハイキング、登山、クライミング」、「ジョギング、ランニング」と続きます。

* 性別・年齢別にみると、全ての性別・年齢において「散歩、ウォーキング」が他よりも突出して多くなっています。また、第2位をみると、男性 20～39 歳は「ジョギング、ランニング」、40 歳以上の男性は「ゴルフ（コース・練習場）」、女性では全ての年齢層において「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」となっています。

特によく行う運動・スポーツ 上位10位(回答者全体) (N=1,424)



順位	スポーツの種目	回答率	順位	スポーツの種目	回答率
1	散歩、ウォーキング	65.4%	23	マラソン、駅伝	1.1%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	19.0%	24	自転車競技(BMX など)	0.8%
3	ゴルフ(コース・練習場)	12.4%	25	ボクシング、レスリング、その他の格闘技	0.7%
4	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	12.0%	26	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.6%
5	ハイキング、登山、クライミング	10.5%	27	サーフィン、ウィンドサーフィン	0.6%
6	ジョギング、ランニング	10.0%	28	スケート、カーリング、アイスホッケー	0.6%
7	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	8.4%	29	スノーバダイビング	0.5%
8	サイクリング	8.0%	30	剣道、なぎなた、フェンシング	0.4%
9	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	7.9%	31	陸上競技	0.4%
10	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	6.4%	32	スケートボード、ローラースケート	0.4%
11	卓球、バドミントン	6.3%	33	ボート、カヌー、ヨット	0.4%
12	水泳、水中歩行、アクアビクス	6.1%	34	モータースポーツ(自動車競技など)	0.4%
13	野球、ソフトボール	4.8%	35	弓道、アーチェリー	0.3%
14	テニス、ソフトテニス	4.4%	36	器械体操、新体操	0.2%
15	スキー、スノーボード	4.1%	37	パークゴルフ、ターゲットバードゴルフ	0.1%
16	キャッチボール、その他のボール遊び	4.1%	38	乗馬、馬術	0.1%
17	サッカー、フットサル	3.8%	39	水上オートバイ	0.1%
18	ダンス、エアロビックダンス	3.5%	—	綱引き	0.0%
19	バレーボール、ソフトバレーボール	2.5%	—	ハンドボール、ラクロス、ホッケー	0.0%
20	柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他の武道	1.3%	—	ラグビー、タグラグビー、アメリカンフットボール	0.0%
21	ゲーム機のスポーツ体験ソフト	1.2%	—	その他	1.4%
22	バスケットボール	1.1%	—	無回答	9.5%

【性別・年齢別にみる特によく行う運動やスポーツ】

順位	回答者全体(N=1,424)	回答率	男性全体(N=662)	回答率	女性全体(N=737)	回答率
1	散歩、ウォーキング	65.4%	散歩、ウォーキング	57.6%	散歩、ウォーキング	73.0%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	19.0%	ゴルフ(コース・練習場)	21.9%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	28.4%
3	ゴルフ(コース・練習場)	12.4%	ジョギング、ランニング	15.1%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	11.7%
4	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	12.0%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	12.8%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	11.4%
5	ハイキング、登山、クライミング	10.5%	ハイキング、登山、クライミング	11.8%	ハイキング、登山、クライミング	9.2%
6	ジョギング、ランニング	10.0%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	11.8%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	8.1%
7	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	8.4%	サイクリング	9.2%	サイクリング	6.9%
8	サイクリング	8.0%	野球、ソフトボール	8.9%	卓球、バドミントン	6.6%
9	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	7.9%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	8.8%	水泳、水中歩行、アクアビクス	6.0%
10	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	6.4%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	7.6%	ダンス、エアロビックダンス	6.0%

順位	男性 20～39 歳(N=180)	回答率	男性 40～64 歳(N=331)	回答率	男性 65 歳以上(N=150)	回答率
1	散歩、ウォーキング	51.7%	散歩、ウォーキング	59.2%	散歩、ウォーキング	60.7%
2	ジョギング、ランニング	26.1%	ゴルフ(コース・練習場)	23.9%	ゴルフ(コース・練習場)	26.0%
3	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	20.0%	ジョギング、ランニング	14.5%	ハイキング、登山、クライミング	13.3%
4	サッカー、フットサル	19.4%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	14.5%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	10.7%
5	野球、ソフトボール	17.2%	ハイキング、登山、クライミング	13.9%	水泳、水中歩行、アクアビクス	9.3%
6	ゴルフ(コース・練習場)	15.0%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	10.9%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	8.7%
7	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	12.2%	サイクリング	10.3%	サイクリング	7.3%
8	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	11.1%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	8.8%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	5.3%
9	卓球、バドミントン	9.4%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	7.6%	卓球、バドミントン	4.0%
10	サイクリング	8.9%	野球、ソフトボール	7.6%	ジョギング、ランニング	3.3%
					ボウリング、ビリヤード、ダーツ	3.3%
					テニス、ソフトテニス	3.3%

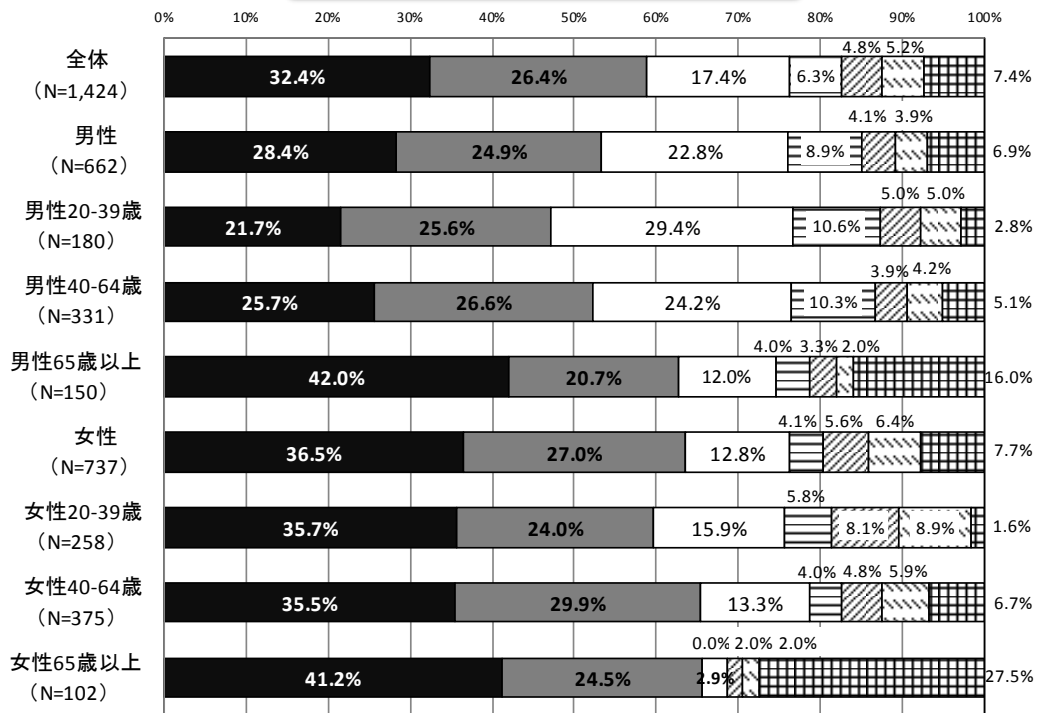
順位	女性 20～39 歳(N=258)	回答率	女性 40～64 歳(N=375)	回答率	女性 65 歳以上(N=102)	回答率
1	散歩、ウォーキング	80.2%	散歩、ウォーキング	73.9%	散歩、ウォーキング	52.0%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	32.9%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	27.2%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	21.6%
3	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	12.4%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	13.9%	ハイキング、登山、クライミング	17.6%
4	ジョギング、ランニング	10.1%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	11.7%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	15.7%
5	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	10.1%	ハイキング、登山、クライミング	8.5%	水泳、水中歩行、アクアビクス	11.8%
6	サイクリング	9.7%	卓球、バドミントン	7.7%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	7.8%
7	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	8.9%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	6.7%	ゴルフ(コース・練習場)	3.9%
8	ダンス、エアロビックダンス	7.8%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	6.4%	サイクリング	3.9%
9	ハイキング、登山、クライミング	7.0%	テニス、ソフトテニス	6.1%	ジョギング、ランニング	2.9%
10	キャッチボール、その他のボール遊び	7.0%	ダンス、エアロビックダンス	5.6%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	2.9%
					卓球、バドミントン	2.9%
					ダンス、エアロビックダンス	2.9%

問 14 付問 2 問 14 で選ばれた運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間にどのくらいになりますか。

→ 1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

- * 「週3日以上」が32.4%と最も多く、次いで、「週1～2日」(26.4%)、「月1～3日」(17.4%)と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、どの年齢層においても、女性の方が男性よりも運動やスポーツを行った日数の多い人の割合が大きく、運動やスポーツを週1日以上行っている人※をみると、男性20～39歳(47.3%)と女性65歳以上(65.7%)では、18.4ポイントの差が見られます。

運動やスポーツを行った1年間における日数



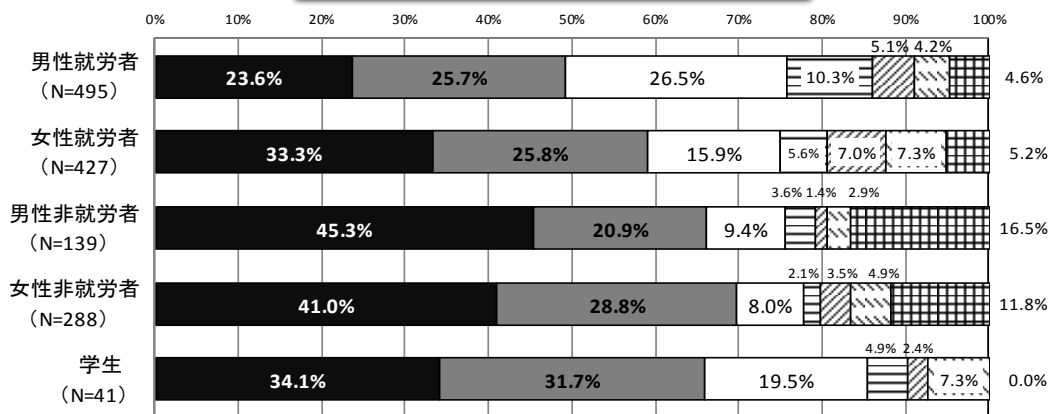
■週3日以上 ■週1～2日 □月1～3日 □3か月に1～2日 □年1～3日 □わからない、覚えていない □無回答

※ 「週3日以上」「週1～2日」のいずれかに回答した人の合計を示します。

就労状況別の比較

- * 就労状況別にみると、男女ともに、非就労者の方が就労者よりも運動やスポーツを行った日数の多い人の割合が大きくなっています。

運動やスポーツを行った1年間における日数

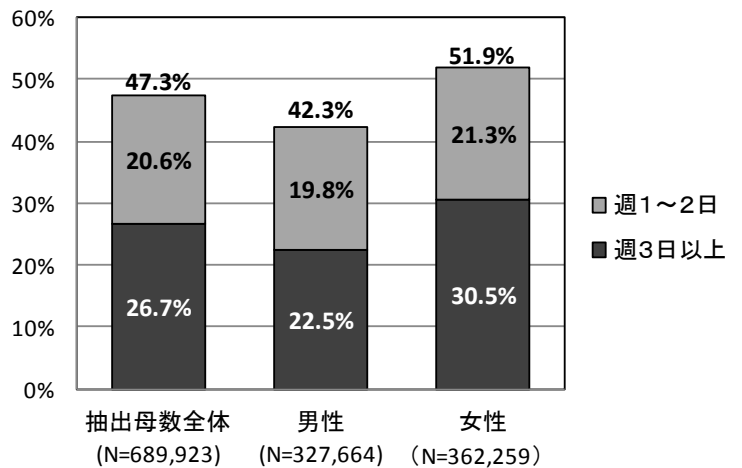


■週3日以上 ■週1～2日 □月1～3日 □3か月に1～2日 □年1～3日 □わからない、覚えていない □無回答

本市におけるスポーツ実施率

- * 今回の調査を性別・年齢別に本市の実際の人口に当てはめた「スポーツ実施率」（成人の週1日以上運動をしている人の割合）は、47.3%となっています。
- * 性別でみると、男性が42.3%、女性が51.9%となっており、男女で9.6ポイントの差が見られます。

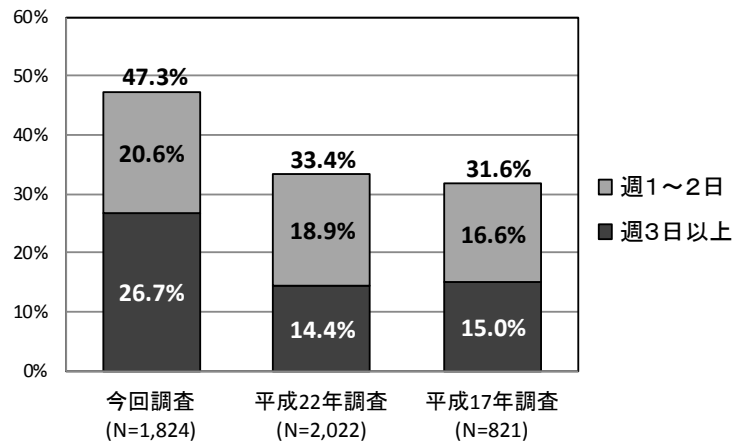
堺市におけるスポーツ実施率



スポーツ実施率：過去の調査結果との比較

- * 本市で過去に実施した調査と比べると、設問対象者や選択肢の項目が異なるため、厳密な比較はできませんが、「週3日以上」または「週1～2日」と答える人は、回を追うごとに増える傾向にあります。特に、「週3日以上」と答えた人が、平成22年調査と比べて12.3ポイント増と、大幅に増えています。

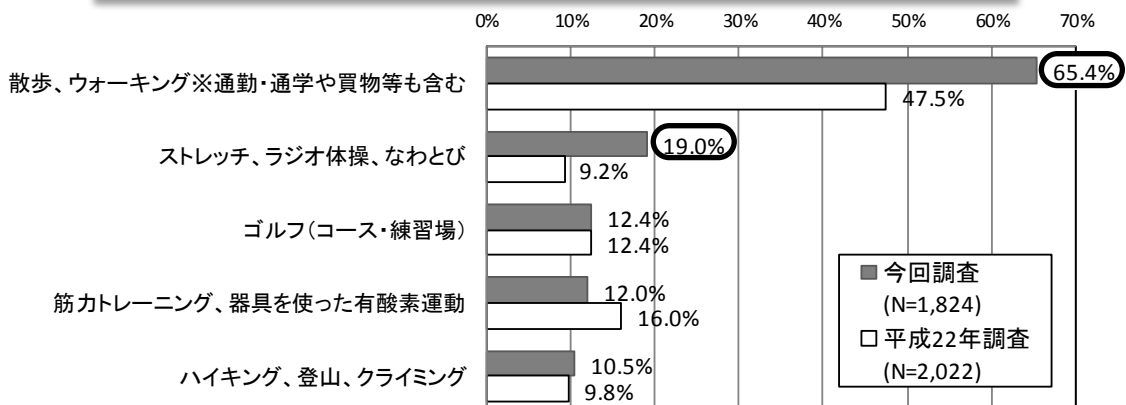
堺市におけるスポーツ実施率（過去の調査結果との比較）



- * 過去の調査の選択肢とは表現が異なる場合があります。また、今回調査については、全回答者に占める各選択肢の構成比を性別・年齢別に算出した上で、抽出時点の実際の人口構成にあてはめて補正しています。

- * また、この1年間で行った運動やスポーツの上位について、前回調査と比較してみると、「散歩、ウォーキング」「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」の2項目は今回調査の方が回答の割合が大きくなっており、このことから、これらの運動・スポーツを行った人が増えたことが、スポーツ実施率の向上につながったと考えられます。

この1年間で行った運動やスポーツ 上位5位(過去の調査結果との比較)

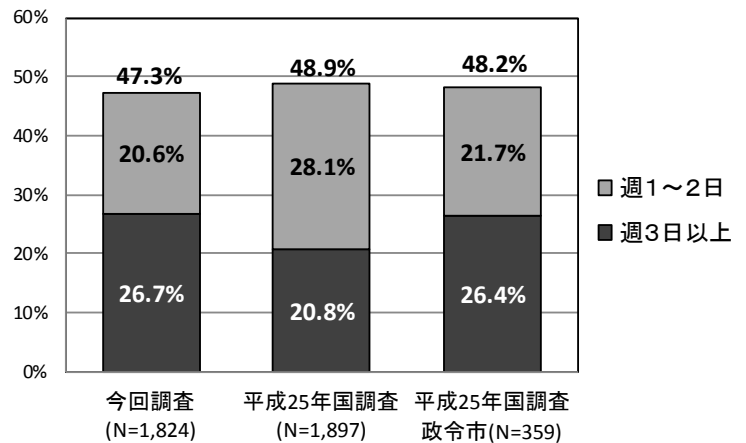


国が実施した調査との比較

* 国が実施した調査と比べると、「週3日以上」または「週1～2日」と答える人は、国よりも1.6ポイント、政令指定都市の平均よりも0.9ポイント、それぞれ低くなっています。

※ 今回調査及び国調査については、全回答者に占める各選択肢の構成比を性別・年齢別に算出した上で、調査時点の実際の人口構成にあてはめて補正しています。
 ※ 政令市については、国調査における該当するアンケート回答者全体の割合で示しています。

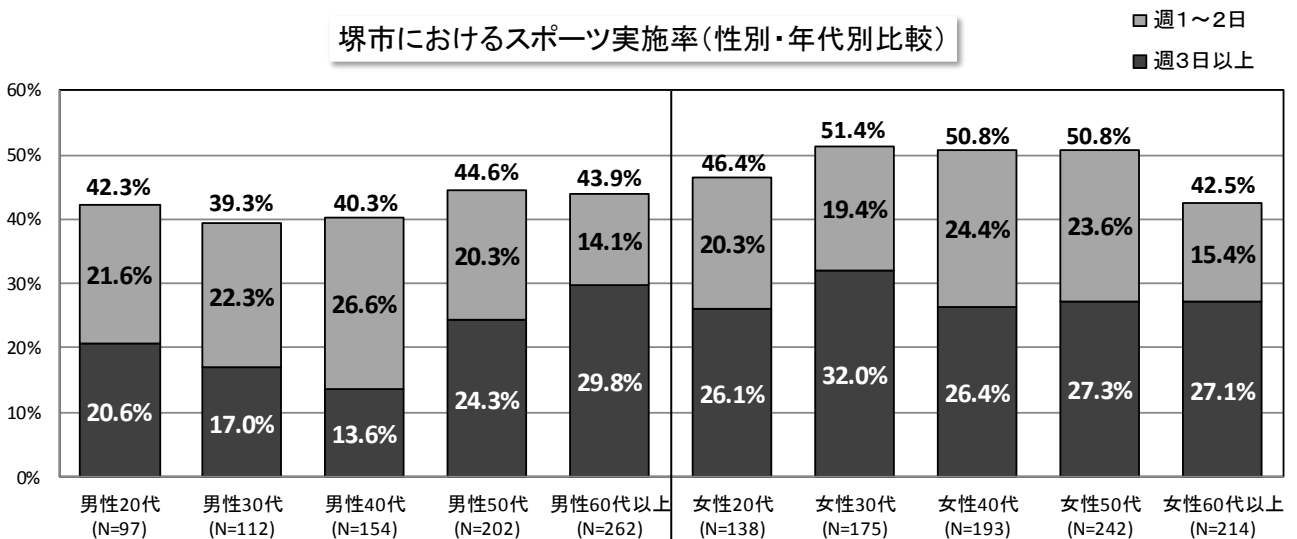
堺市におけるスポーツ実施率
(国の調査結果との比較)



性別・年代別にみるスポーツ実施率

- * 性別・年齢別にみると、最も高い「女性30代」(51.4%)及び「女性40代」「女性50代」(ともに50.8%)は、スポーツ実施率が50%を超えており、高くなっています。
- * 一方、「男性30代」(39.3%)及び「男性40代」(40.3%)は、いずれもスポーツ実施率が40%前後と少なく、特に「週3日以上」が20%未満に止まり、低くなっています。
- * 各年代を性別で比較すると、20代～50代で女性の方が、60代以上では男性の方が、それぞれスポーツ実施率は高くなっています。

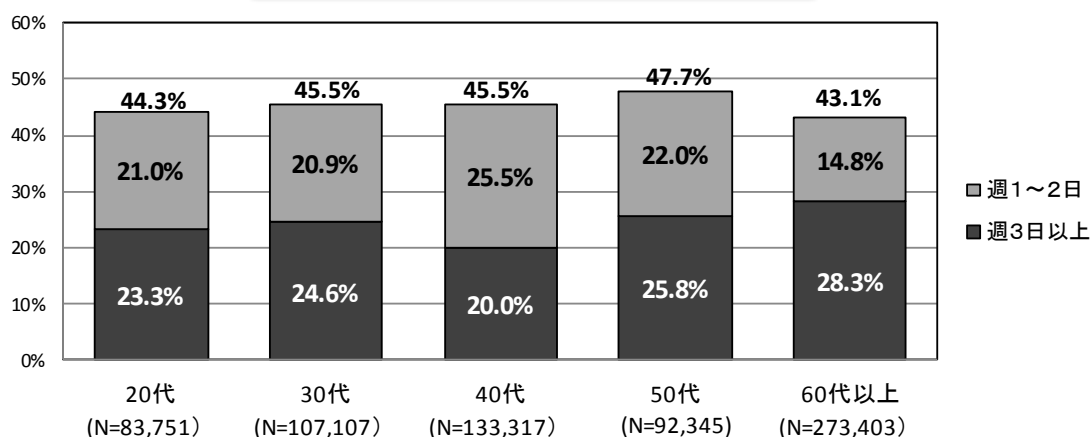
堺市におけるスポーツ実施率(性別・年代別比較)



年代別にみるスポーツ実施率

* 今回の調査を年代別に本市の実際の人口に当てはめたスポーツ実施率をみると、「50代」が47.7%と最も多く、次いで、「30代」「40代」(ともに45.5%)、「20代」(44.3%)、「60代」(43.1%)と続きます。

堺市におけるスポーツ実施率(年代別比較)



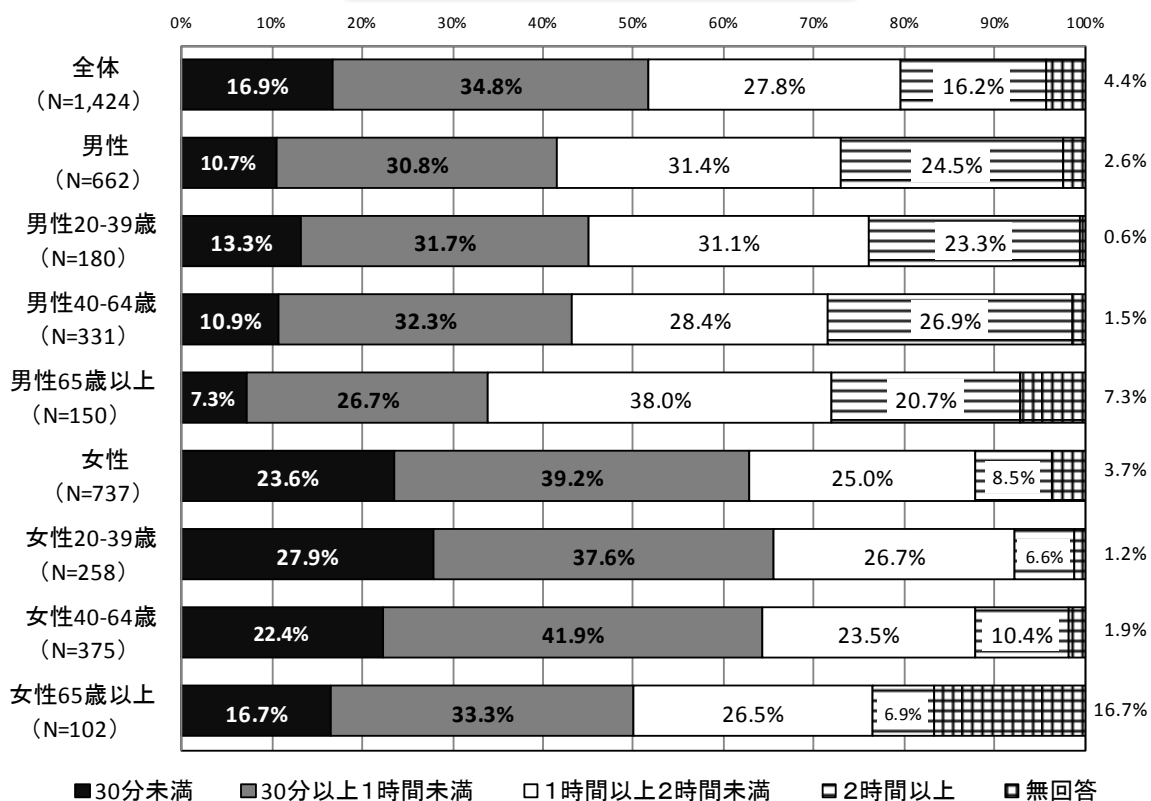
問 14 付問 3 1回あたりの運動やスポーツを行う時間は、平均するとどのくらいですか。

→ 1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

* 「30分以上1時間未満」が34.8%と最も多く、次いで、「1時間以上2時間未満」(27.8%)と続きます。

* 性別・年齢別にみると、男性よりも女性の方が、また、年齢の若い人の方が、1回あたりの運動やスポーツを行う時間の短い人の割合が大きいという傾向が見られます。

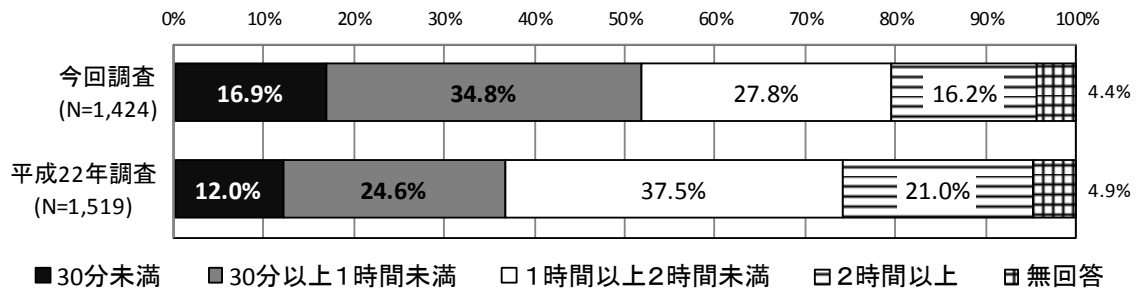
1回あたりの運動やスポーツを行う時間



市調査推移（前回調査との比較）

* 本市で実施した過去の調査と比較すると、平成22年調査の第1位は「1時間以上2時間未満」が37.5%と最も多いのをはじめ、今回調査の方が1回あたりの運動やスポーツを行う時間が短い傾向が見られます。

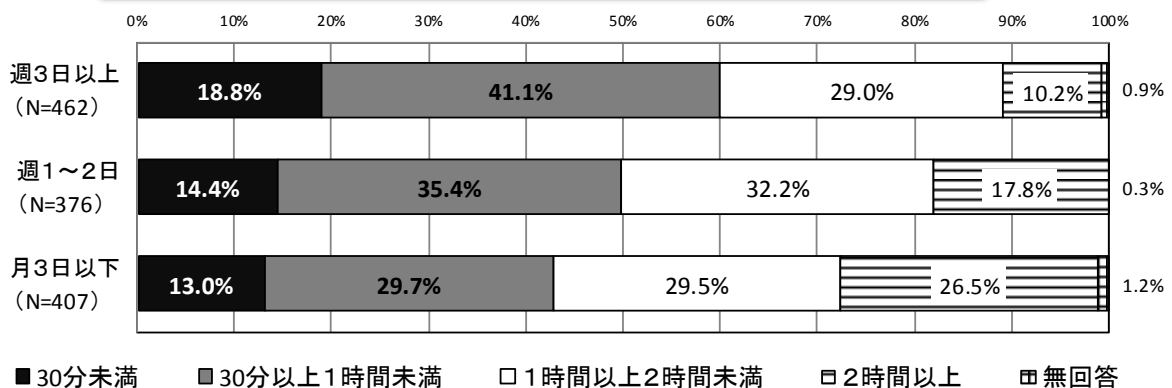
1回あたりの運動やスポーツを行う時間（前回調査との比較）



運動・スポーツの実施日数別の比較

* 運動・スポーツの実施日数別にみると、運動を週3日以上行っている人は30分未満が18.8%、30分以上1時間未満が41.1%と他よりも多いのをはじめ、実施日数が多い人ほど1回あたりの運動やスポーツを行う時間が短い傾向が見られます。

1回あたりの運動やスポーツを行う時間（運動・スポーツの実施日数別）

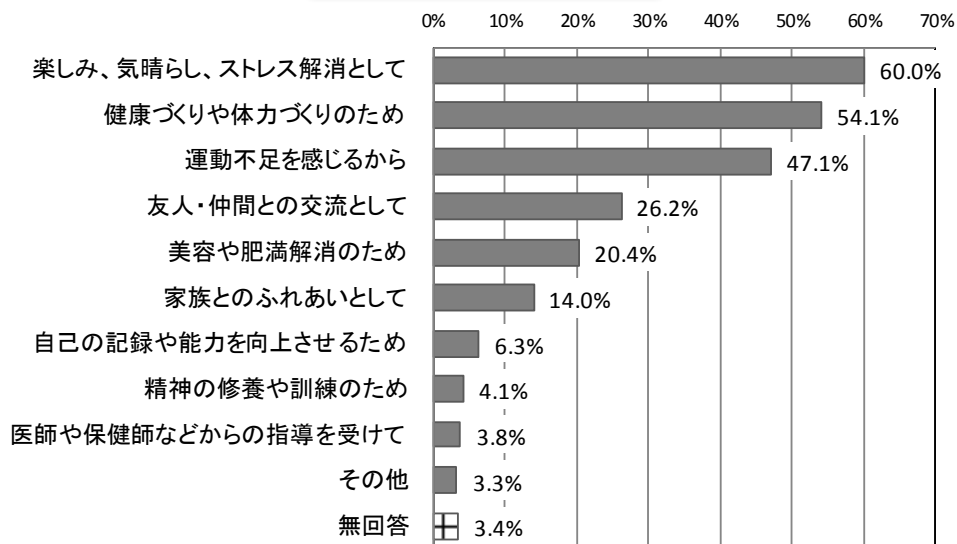


問 14 付問 4 あなたが運動やスポーツを行う理由は何ですか。
(あてはまるものをすべて選んで○)

→ 1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

- * 「楽しみ、気晴らし、ストレス解消として」(60.0%)、「健康づくりや体力づくりのため」(54.1%)、「運動不足を感じるから」(47.1%)の3点が40%を超えており、多くなっています。
- * 性別・年齢別にみると、回答者全体と同様に、20～64歳の男女では「楽しみ、気晴らし、ストレス解消として」が第1位である一方で、65歳以上の男女では、「健康づくりや体力づくりのため」が第1位となっています。この他では、「運動不足を感じるから」が女性40～64歳で、「美容や肥満解消のため」が女性20～64歳で、「家族とのふれあいとして」が女性20～39歳で、それぞれ他よりも回答が多くなっています。

運動やスポーツを行う理由 (N=1,424)



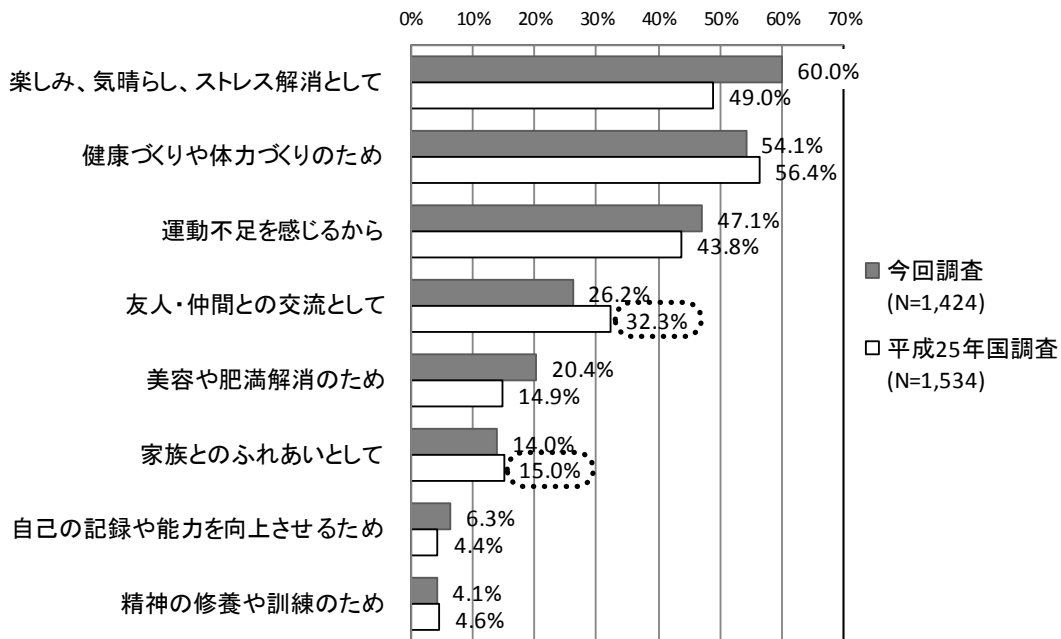
運動やスポーツを行う理由 (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,424)	男性 (N=662)	男性 20-39歳 (N=180)	男性 40-64歳 (N=331)	男性 65歳以上 (N=150)	女性 (N=737)	女性 20-39歳 (N=258)	女性 40-64歳 (N=375)	女性 65歳以上 (N=102)
楽しみ、気晴らし、ストレス解消として	60.0%	61.8%	67.2%	61.9%	54.7%	58.6%	63.2%	57.9%	49.0%
健康づくりや体力づくりのため	54.1%	56.6%	47.8%	55.6%	70.0%	51.7%	42.6%	54.9%	62.7%
運動不足を感じるから	47.1%	44.4%	43.9%	46.5%	40.7%	49.8%	46.9%	53.1%	45.1%
友人・仲間との交流として	26.2%	30.7%	39.4%	26.3%	30.0%	22.5%	30.6%	16.3%	25.5%
美容や肥満解消のため	20.4%	10.4%	11.1%	10.0%	10.7%	29.7%	28.7%	32.3%	22.5%
家族とのふれあいとして	14.0%	10.7%	14.4%	12.1%	3.3%	17.2%	24.8%	15.5%	4.9%
自己の記録や能力を向上させるため	6.3%	9.5%	10.6%	10.0%	7.3%	3.5%	3.9%	3.5%	2.9%
精神の修養や訓練のため	4.1%	5.1%	5.6%	5.1%	4.0%	3.3%	3.9%	2.9%	2.9%
医師や保健師などからの指導を受けて	3.8%	4.8%	0.6%	5.4%	8.7%	3.0%	0.8%	3.5%	6.9%
その他	3.3%	3.3%	4.4%	3.9%	0.7%	3.3%	4.7%	2.9%	1.0%
無回答	3.4%	2.9%	1.7%	2.1%	6.0%	4.1%	0.8%	3.2%	15.7%

[その他の回答]	●通勤のため	●日常生活の一部	●仕事(接待)
	●観光をかねて	●子ども会活動	●クラブOB会
	●妊活のため	●子どもとのスキンシップ	●交通費を浮かせるため
	●愛犬とのコミュニケーション		
	●気持ちの整理やイメージを浮かべるヒント		など

国が実施した調査との比較

* 国が実施した調査と比べると、「友人・仲間との交流として」や「家族とのふれあいとして」といった人との交流・ふれあい機会に関する項目は、本市の調査の方が少なくなっています。

運動やスポーツを行う理由(国調査との比較)

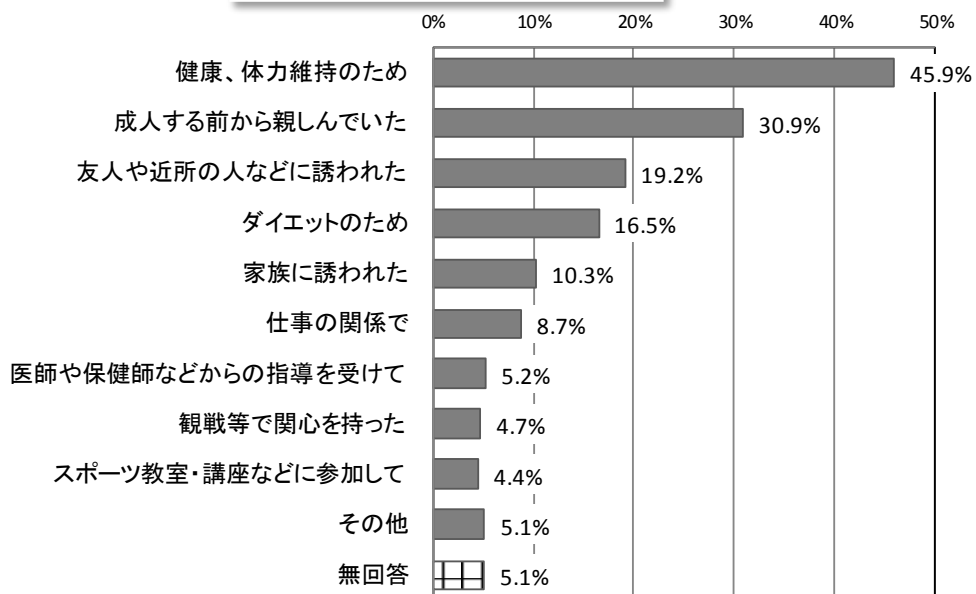


**問 14 付問 5 あなたが最初に運動やスポーツを始めたきっかけは何ですか。
(あてはまるものをすべて選んで○)**

→ 1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

- * 「健康、体力維持のため」(45.9%)、「成人する前から親しんでいた」(30.9%)の2点が30%を超えており、多くなっています。
- * 性別・年齢別にみると、「成人する前から親しんでいた」が第1位になっている男性20～39歳を除くと、男性40歳以上、女性の全ての年齢で「健康、体力維持のため」が第1位となっています。

運動やスポーツを始めたきっかけ (N=1,424)



運動やスポーツを始めたきっかけ (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,424)	男性 (N=662)	男性 20-39歳 (N=180)	男性 40-64歳 (N=331)	男性 65歳以上 (N=150)	女性 (N=737)	女性 20-39歳 (N=258)	女性 40-64歳 (N=375)	女性 65歳以上 (N=102)
健康、体力維持のため	45.9%	43.2%	25.6%	43.8%	63.3%	48.3%	35.7%	52.5%	64.7%
成人する前から親しんでいた	30.9%	39.4%	51.1%	39.3%	26.0%	23.1%	31.0%	21.6%	7.8%
友人や近所の人などに誘われた	19.2%	20.2%	30.0%	18.4%	12.0%	18.2%	19.0%	16.5%	22.5%
ダイエットのため	16.5%	11.6%	10.6%	11.5%	13.3%	20.9%	22.1%	22.9%	9.8%
家族に誘われた	10.3%	7.3%	10.0%	5.7%	7.3%	13.3%	15.9%	12.8%	8.8%
仕事の関係で	8.7%	12.7%	10.6%	12.4%	16.0%	5.4%	5.8%	5.1%	5.9%
医師や保健師などからの指導を受けて	5.2%	6.2%	1.1%	7.6%	9.3%	4.5%	2.3%	4.8%	8.8%
観戦等で関心を持った	4.7%	6.9%	7.8%	7.3%	5.3%	2.7%	3.1%	2.1%	3.9%
スポーツ教室・講座などに参加して	4.4%	2.6%	1.1%	2.1%	5.3%	6.1%	3.1%	6.9%	10.8%
その他	5.1%	5.3%	6.1%	5.1%	4.7%	5.2%	7.8%	4.3%	2.0%
無回答	5.1%	3.6%	1.7%	3.3%	6.7%	6.4%	3.1%	5.9%	16.7%

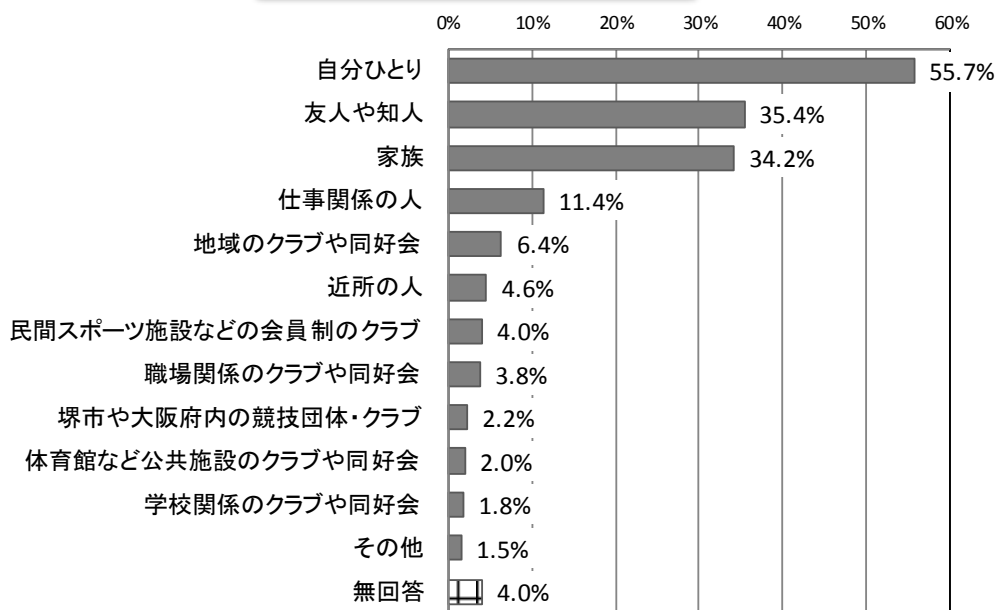
[その他の回答]	●気分転換	●飼い犬の散歩のため	●子育ての一環として
	●流行っていたため	●チラシを見て	●退職して時間が出来た
	●筋力低下や腰痛の為	●部活動、学校	●景色、自然とのふれあい
	●好きな子の気を引くため	●あとのビールが旨いから	
	●子どもの付き添いで行ってから		など

問 14 付問 6 主にどなたと運動やスポーツを行っていますか。
(あてはまるものをすべて選んで○)

→ 1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

- * 「自分ひとり」(55.7%)、「友人や知人」(35.4%)、「家族」(34.2%)の3点が30%を超えており、多くなっています。
- * 性別・年齢別にみると、男女とも全ての年齢層で「自分ひとり」が第1位になっているほか、男性20～64歳で、「仕事関係の人」や「職場関係のクラブや同好会」への回答が多くなっており、働き盛りの男性は仕事で知り合った人と運動やスポーツをする機会が多いという傾向が見られます。また、女性20～64歳では「家族」が他よりも回答が多くなっています。

運動やスポーツを一緒にいった人 (N=1,424)



運動やスポーツを一緒にいった人 (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,424)	男性 (N=662)	男性 20-39歳 (N=180)	男性 40-64歳 (N=331)	男性 65歳以上 (N=150)	女性 (N=737)	女性 20-39歳 (N=258)	女性 40-64歳 (N=375)	女性 65歳以上 (N=102)
自分ひとり	55.7%	57.9%	56.1%	58.6%	58.0%	53.9%	55.8%	54.9%	44.1%
友人や知人	35.4%	39.3%	51.7%	36.6%	30.7%	31.5%	37.2%	28.3%	29.4%
家族	34.2%	27.6%	24.4%	31.4%	22.7%	40.3%	45.0%	42.1%	22.5%
仕事関係の人	11.4%	18.4%	21.7%	21.8%	7.3%	5.3%	8.1%	4.3%	2.0%
地域のクラブや同好会	6.4%	9.2%	5.6%	9.7%	12.7%	3.8%	1.2%	4.8%	6.9%
近所の人	4.6%	4.2%	2.2%	5.1%	4.7%	4.9%	2.7%	4.5%	11.8%
民間スポーツ施設などの会員制のクラブ	4.0%	3.8%	2.2%	2.4%	8.7%	4.2%	1.6%	4.0%	11.8%
職場関係のクラブや同好会	3.8%	5.9%	8.3%	6.6%	1.3%	1.6%	2.7%	1.3%	0.0%
堺市や大阪府内の競技団体・クラブ	2.2%	2.3%	0.3%	2.4%	2.7%	2.2%	1.6%	2.9%	1.0%
体育館など公共施設のクラブや同好会	2.0%	1.2%	1.1%	1.2%	1.3%	2.7%	1.6%	1.9%	8.8%
学校関係のクラブや同好会	1.8%	2.0%	2.2%	2.4%	0.7%	1.6%	3.5%	0.8%	0.0%
その他	1.5%	1.4%	0.1%	1.2%	2.7%	1.8%	1.9%	1.6%	2.0%
無回答	4.0%	3.0%	1.7%	1.8%	7.3%	5.0%	1.2%	4.8%	15.7%

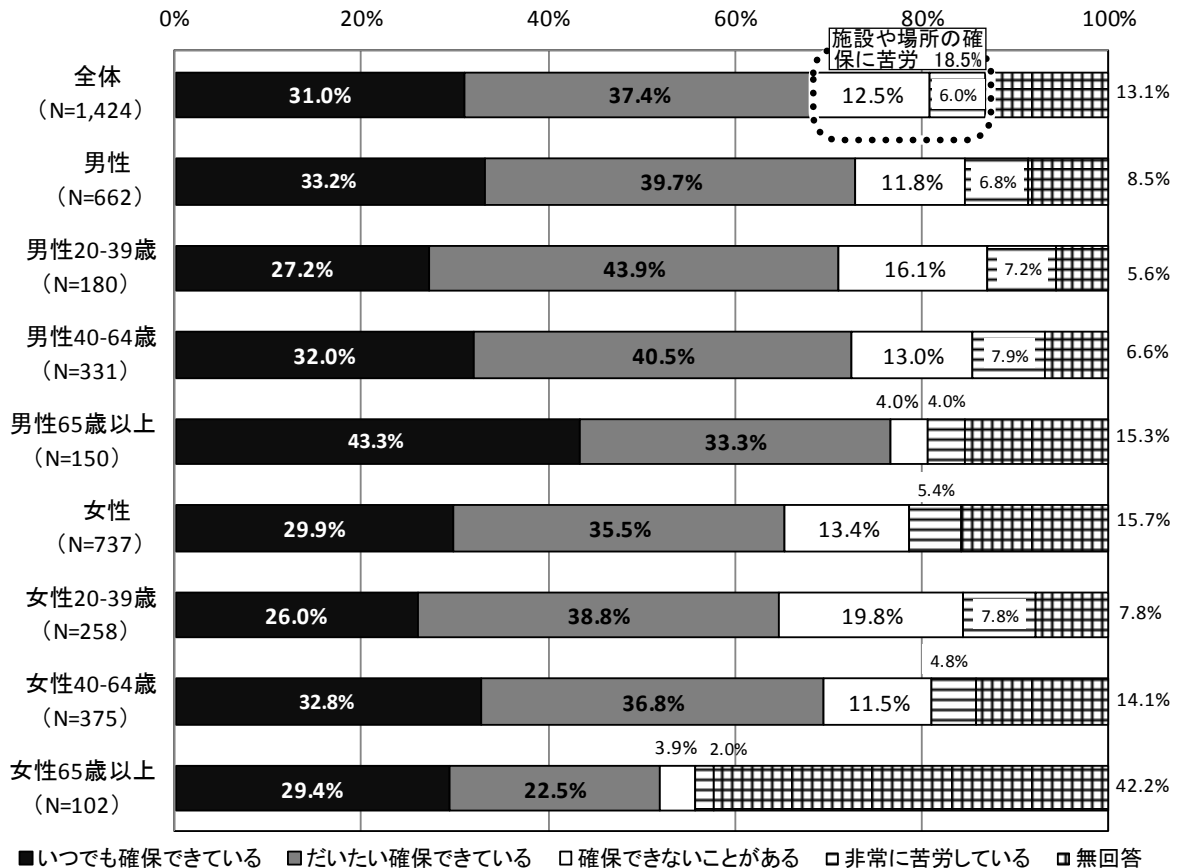
[その他の回答]	● デイサービスの行事に参加	● ヘルパーさん	● 子ども会の子どもたち
	● 登山ツアーに参加	● 婚約者	● など

問 14 付問 7 運動やスポーツを行う際に、施設や場所はどの程度確保できていますか。

→ 1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

* 「だいたい確保できている」が 37.4%と最も多く、次いで、「いつでも確保できている」(31.0%)と続きます。運動やスポーツを行う施設や場所の確保を確保できている人が多数を占めるものの、施設や場所の確保に苦労していると回答した人も 18.5%見られます。

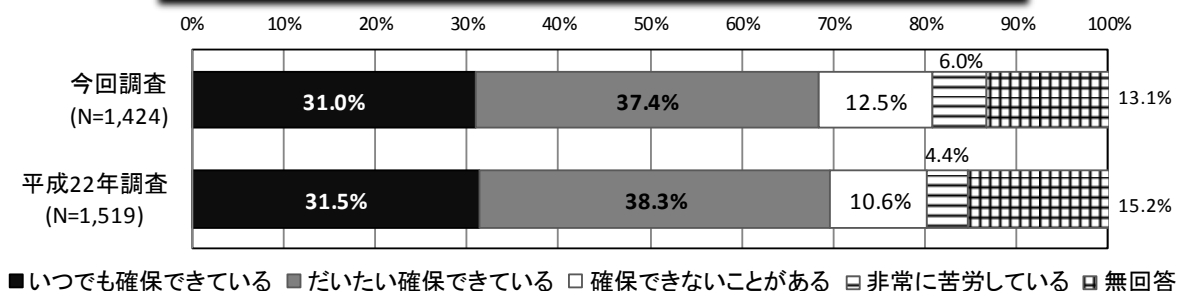
運動やスポーツを行う施設や場所の確保の状況



市調査推移（前回調査との比較）

* 本市で実施した過去の調査と比較すると、平成 22 年調査で施設や場所の確保に苦労していると回答した人は 15.0%と、今回調査の方が 3.5 ポイント多くなっています。

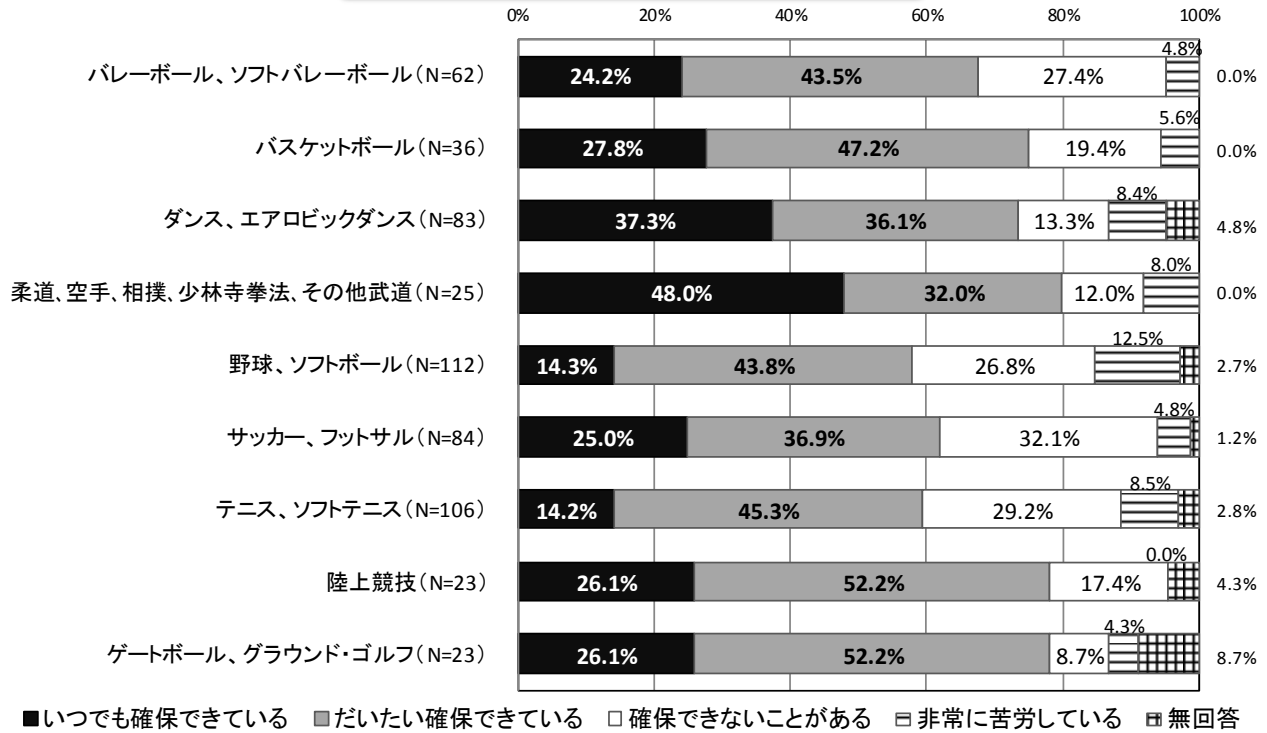
運動やスポーツを行う施設や場所の確保の状況(前回調査との比較)



この1年間で行った運動やスポーツの種目別の比較

* 抜粋した9種目の中では、「バレーボール、ソフトバレーボール」(32.3%)、「野球、ソフトボール」(39.3%)、「サッカー、フットサル」(36.9%)、「テニス、ソフトテニス」(37.7%)の4種目において、施設や場所の確保に苦労していると回答した人が30%を超えており、多くなっています。

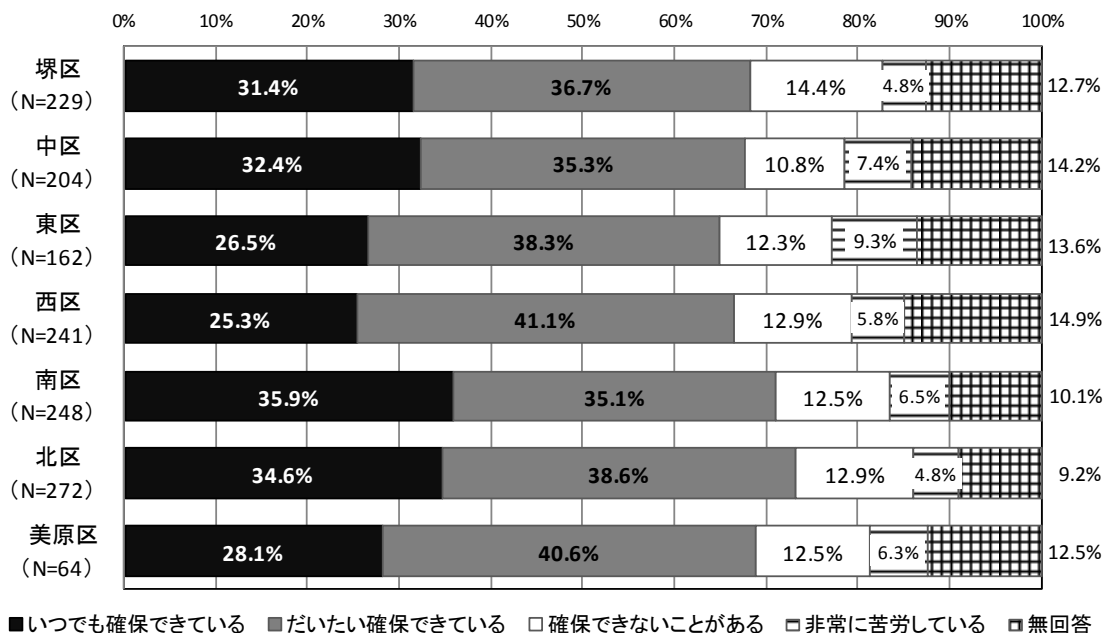
運動やスポーツを行う施設や場所の確保の状況
(この1年間で行った運動やスポーツの種目別)



7区別の比較

* 7区別にみると、施設や場所の確保に苦労していると回答した人は、東区が21.6%と20%を超えており、多くなっています。

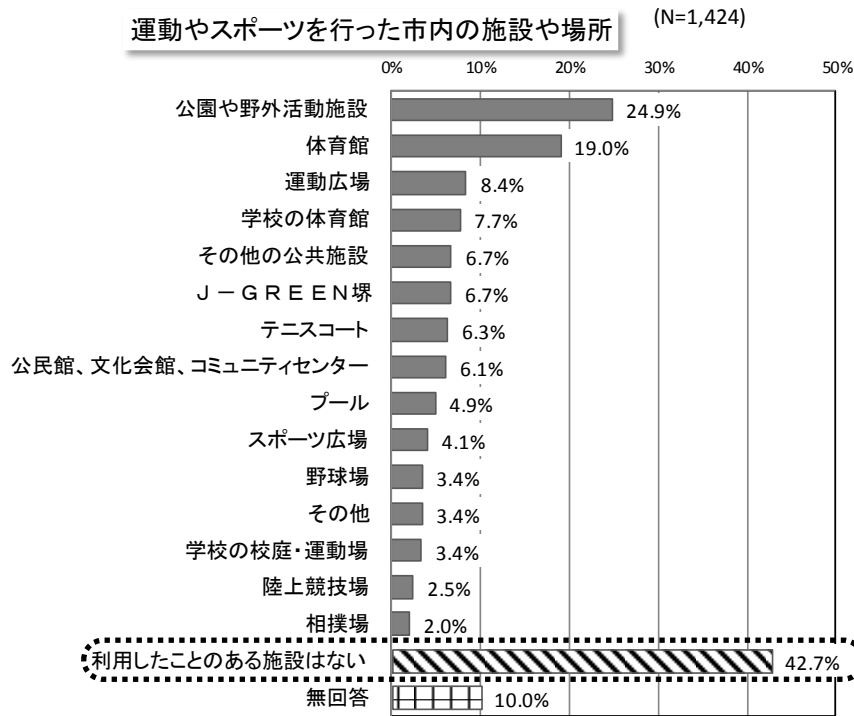
運動やスポーツを行う施設や場所の確保の状況
(区別比較)



**問 14 付問 8 市内にある公共施設や学校施設などのうち、問 14 で選ばれた運動やスポーツを行うために、この1年間で利用されたものがありますか。
(あてはまるものをすべて選んで○)**

→1年間に何らかの運動やスポーツを行った人のみ

* 回答があった市内の施設や場所の中では、「公園や野外活動施設」(24.9%)、「体育館」(19.0%)の2点が多くなっています。一方、「利用したことのある施設はない」と回答した人も42.7%に及んでいます。



運動やスポーツを行った市内の施設や場所 (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,424)	男性 (N=662)	男性 20-39歳 (N=180)	男性 40-64歳 (N=331)	男性 65歳以上 (N=150)	女性 (N=737)	女性 20-39歳 (N=258)	女性 40-64歳 (N=375)	女性 65歳以上 (N=102)
公園や野外活動施設	24.9%	23.6%	24.4%	21.1%	28.0%	26.3%	32.2%	24.0%	19.6%
体育館	19.0%	15.7%	20.6%	15.4%	10.7%	21.7%	19.8%	25.6%	12.7%
運動広場	8.4%	9.8%	8.3%	7.3%	17.3%	7.1%	2.7%	5.6%	23.5%
学校の体育館	7.7%	7.9%	5.6%	9.7%	6.7%	7.6%	7.4%	8.3%	5.9%
その他の公共施設	6.7%	5.4%	5.6%	5.1%	6.0%	8.1%	8.5%	8.0%	7.8%
J-GREEN堺	6.7%	7.1%	11.7%	6.3%	3.3%	6.4%	4.7%	7.5%	6.9%
テニスコート	6.3%	6.0%	5.0%	5.7%	8.0%	6.5%	3.5%	6.7%	13.7%
公民館、文化会館、コミュニティセンター	6.1%	3.9%	2.2%	4.5%	4.7%	7.9%	4.3%	8.3%	15.7%
プール	4.9%	4.8%	4.4%	4.8%	5.3%	5.0%	4.3%	5.1%	6.9%
スポーツ広場	4.1%	5.0%	4.4%	5.7%	4.0%	3.0%	2.3%	3.5%	2.9%
野球場	3.4%	4.5%	5.6%	5.1%	2.0%	2.0%	0.8%	2.1%	3.9%
学校の校庭・運動場	3.4%	4.7%	4.4%	6.0%	2.0%	2.2%	3.1%	1.9%	1.0%
陸上競技場	2.5%	2.7%	3.3%	3.3%	0.7%	1.8%	2.3%	1.9%	0.0%
相撲場	2.0%	1.7%	1.7%	2.1%	0.7%	2.3%	2.7%	2.7%	0.0%
その他	3.4%	3.8%	2.2%	3.3%	6.7%	3.1%	3.5%	2.4%	3.9%
利用したことのある施設はない	42.7%	44.0%	40.6%	49.8%	34.7%	42.2%	43.4%	44.8%	29.4%
無回答	10.0%	8.6%	5.0%	7.3%	16.0%	11.1%	5.4%	9.6%	31.4%

[その他の回答]	●のびやか健康館	●自治会館	●民間フィットネスクラブ
	●フットサルコート	●娯楽施設	●公道
	●近所のサイクリングロード	●病院内	●整骨院で健康体操教室
	●会社のグラウンド	●大和川の土手	など

利用したことのある市内の施設はないと回答した人が行った運動やスポーツ

* 堺市内の施設を利用したことはないと回答した人が行った運動やスポーツとしては、「散歩、ウォーキング」が80.6%と最も多く、次いで「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」、「筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動」、「ボウリング、ビリヤード、ダーツ」、「ゴルフ（コース・練習場）」と続きます。

順位	利用したことのある施設のない人(N=608)	回答率
1	散歩、ウォーキング	80.6%
2	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	25.0%
3	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	17.8%
4	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	16.8%
5	ゴルフ(コース・練習場)	16.1%
6	ハイキング、登山、クライミング	13.2%
7	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	12.8%
8	ジョギング、ランニング	11.7%
9	サイクリング	10.7%
10	太極拳、ヨガ、チューブ体操、その他体操	7.6%

7 区別の比較

* 7 区別にみると、堺区、西区、南区、北区、美原区は回答者全体と同様に「公園や野外活動施設」が第1位となっている一方、中区、東区においては「体育館」が第1位になっています。

* また、「利用したことのある施設はない」は、東区（50.6%）、及び中区（48.0%）で50%前後に及び、他の区よりも多くなっており、一方、美原区は28.1%と他の区よりも少なくなっています。

運動やスポーツを行った市内の施設や場所 (回答者全体の多い順)	堺区 (N=229)	中区 (N=204)	東区 (N=162)	西区 (N=241)	南区 (N=248)	北区 (N=272)	美原区 (N=64)
公園や野外活動施設	22.3%	17.2%	19.1%	24.5%	24.6%	35.7%	29.7%
体育館	15.7%	19.6%	21.0%	18.7%	19.4%	19.9%	20.3%
運動広場	10.0%	6.4%	6.8%	7.1%	9.3%	8.8%	14.1%
学校の体育館	6.6%	8.8%	6.2%	7.5%	11.7%	4.8%	10.9%
その他の公共施設	7.0%	10.3%	8.0%	5.0%	6.5%	4.0%	9.4%
J-GREEN堺	6.6%	5.9%	5.6%	5.0%	6.5%	8.8%	9.4%
テニスコート	6.6%	4.4%	8.6%	5.0%	8.5%	6.6%	1.6%
公民館、文化会館、コミュニティセンター	7.0%	2.9%	3.7%	5.4%	6.5%	8.1%	10.9%
プール	6.6%	2.5%	3.1%	7.1%	4.8%	5.1%	0.0%
スポーツ広場	3.1%	4.9%	3.1%	4.1%	4.0%	4.4%	6.3%
野球場	4.4%	1.5%	3.1%	2.9%	4.8%	2.9%	6.3%
学校の校庭・運動場	4.8%	1.5%	4.3%	2.9%	3.6%	3.7%	1.6%
陸上競技場	3.1%	3.4%	0.6%	2.5%	2.8%	1.8%	3.1%
相撲場	2.6%	1.5%	1.2%	3.3%	1.2%	1.8%	3.1%
その他	4.4%	1.5%	2.5%	3.7%	3.6%	3.3%	6.3%
利用したことのある施設はない	41.5%	48.0%	50.6%	40.7%	44.8%	39.3%	28.1%
無回答	12.2%	14.7%	8.0%	10.8%	6.5%	7.0%	15.6%

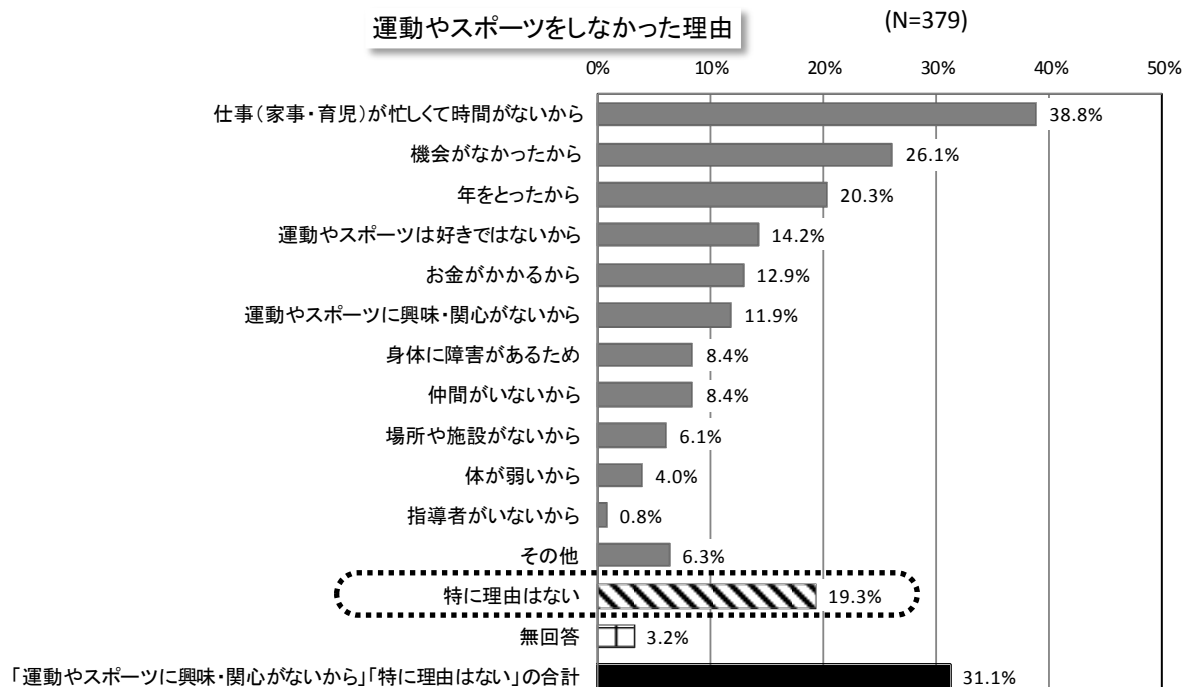
問 14 付問 9 運動やスポーツをしなかった理由は何か。

(あてはまるものをすべて選んで○)

→ 1年間に特に運動やスポーツとして行ったものはない人のみ

* 「仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから」が38.8%と最も多く、次いで「機会がなかったから」(26.1%)、「年をとったから」(20.3%)と続きます。また、「運動やスポーツに興味・関心がないから」と「特に理由はない」の合計が31.1%と30%強に及び、このことから、運動やスポーツをしない人の中には、運動やスポーツに対して関心を持たない人が多いものと推察されます。

* 性別・年齢別にみると、男性20～39歳、女性20～64歳は「仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから」、男性40～64歳は「機会がなかったから」、65歳以上の男女は「年をとったから」がそれぞれ第1位になっています。この他では、「運動やスポーツは好きではないから」「お金がかかるから」が20～39歳の男女で、「身体に障害があるため」が65歳以上の男女で、「仲間がいないから」が男性20～64歳、女性20～39歳で、それぞれ他よりも回答が多い傾向が見られます。



運動やスポーツをしなかった理由 (回答者全体の多い順)	全体 (N=379)	男性 (N=161)	男性 20～39歳 (N=29)	男性 40～64歳 (N=85)	男性 65歳以上 (N=47)	女性 (N=212)	女性 20～39歳 (N=53)	女性 40～64歳 (N=110)	女性 65歳以上 (N=48)
仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから	38.8%	30.4%	58.6%	28.2%	17.0%	44.8%	56.6%	55.5%	8.3%
機会がなかったから	26.1%	26.7%	37.9%	31.8%	10.6%	26.4%	26.4%	30.9%	16.7%
年をとったから	20.3%	24.8%	3.4%	15.3%	55.3%	17.5%	1.9%	10.9%	50.0%
運動やスポーツは好きではないから	14.2%	13.0%	31.0%	7.1%	12.8%	15.6%	18.9%	15.5%	10.4%
お金がかかるから	12.9%	12.4%	20.7%	14.1%	4.3%	13.2%	20.8%	14.5%	2.1%
運動やスポーツに興味・関心がないから	11.9%	11.8%	10.3%	14.1%	8.5%	11.8%	13.2%	10.0%	12.5%
身体に障害があるため	8.4%	9.9%	0.0%	8.2%	19.1%	7.1%	0.0%	2.7%	25.0%
仲間がいないから	8.4%	11.8%	17.2%	14.1%	4.3%	5.7%	13.2%	4.5%	0.0%
場所や施設がないから	6.1%	6.8%	6.9%	9.4%	2.1%	5.2%	5.7%	4.5%	6.3%
体が弱いから	4.0%	3.1%	0.0%	3.5%	4.3%	4.7%	0.0%	4.5%	8.3%
指導者がいないから	0.8%	1.2%	0.0%	2.4%	0.0%	0.5%	0.0%	0.9%	0.0%
その他	6.3%	5.6%	3.4%	3.5%	10.6%	7.1%	5.7%	7.3%	8.3%
特に理由はない	19.3%	24.8%	20.7%	25.9%	25.5%	14.6%	15.1%	14.5%	14.6%
無回答	3.2%	3.7%	0.0%	5.9%	2.1%	2.8%	1.9%	2.7%	4.2%

[その他の回答]	●持病があるため	●けがや入院のため	
	●老々介護	●スポーツに対し苦手意識がある	など

就労状況別の比較

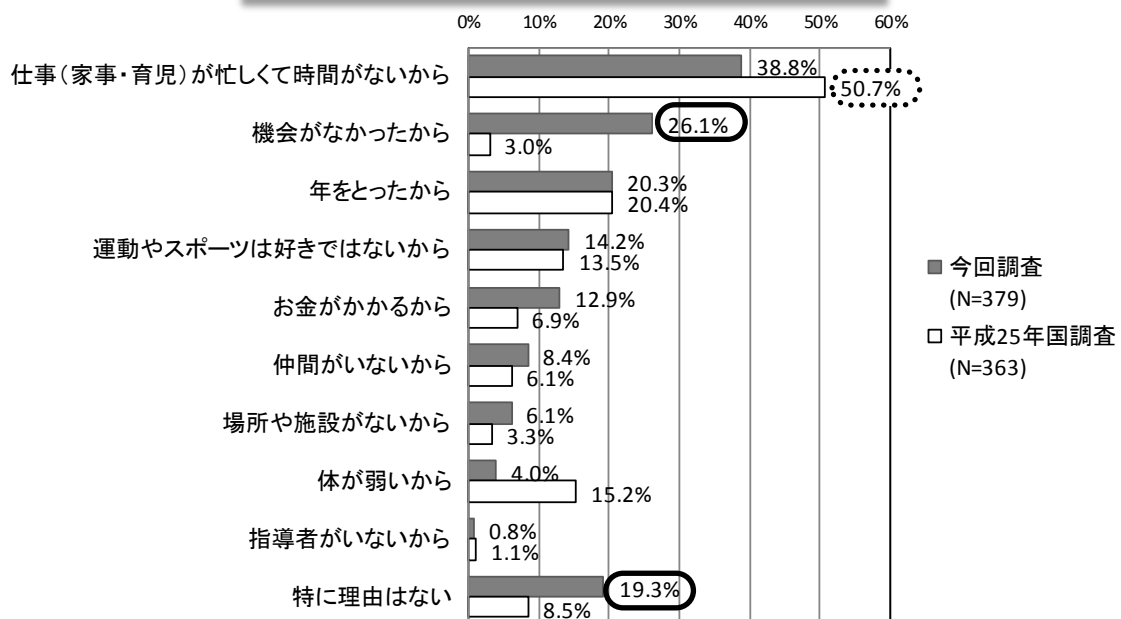
* 就労状況別にみると、「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」「運動やスポーツは好きではないから」が女性就労者で、「年をとったから」「身体に障害があるため」が男性非就労者で、「仲間がいないから」が男性就労者で、それぞれ他よりも回答が多い傾向が見られます。一方、「特に理由はない」は男性非就労者で回答が多くなっています。

運動やスポーツをしなかった理由 (回答者全体の多い順)	男性就労者 (N=114)	女性就労者 (N=108)	男性非就労者 (N=44)	女性非就労者 (N=99)	学生 (N=3)
仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから	39.5%	58.3%	9.1%	30.3%	33.3%
機会がなかったから	32.5%	30.6%	11.4%	22.2%	33.3%
年をとったから	14.9%	8.3%	50.0%	28.3%	0.0%
運動やスポーツは好きではないから	13.2%	20.4%	11.4%	10.1%	0.0%
お金がかかるから	16.7%	12.0%	2.3%	15.2%	0.0%
運動やスポーツに興味・関心がないから	14.9%	13.0%	4.5%	9.1%	33.3%
身体に障害があるため	4.4%	2.8%	22.7%	12.1%	0.0%
仲間がいないから	15.8%	8.3%	2.3%	3.0%	0.0%
場所や施設がないから	9.6%	2.8%	0.0%	8.1%	0.0%
体が弱いから	1.8%	1.9%	4.5%	7.1%	0.0%
指導者がいないから	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	3.5%	3.7%	11.4%	11.1%	0.0%
特に理由はない	21.1%	12.0%	34.1%	17.2%	33.3%
無回答	4.4%	2.8%	2.3%	3.0%	0.0%

国が実施した調査との比較

* 国が実施した調査と比べると、「機会がなかったから」「特に理由はない」は、本市の調査の方が多くなっています。一方、「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」は、国の調査の方が多くなっています。

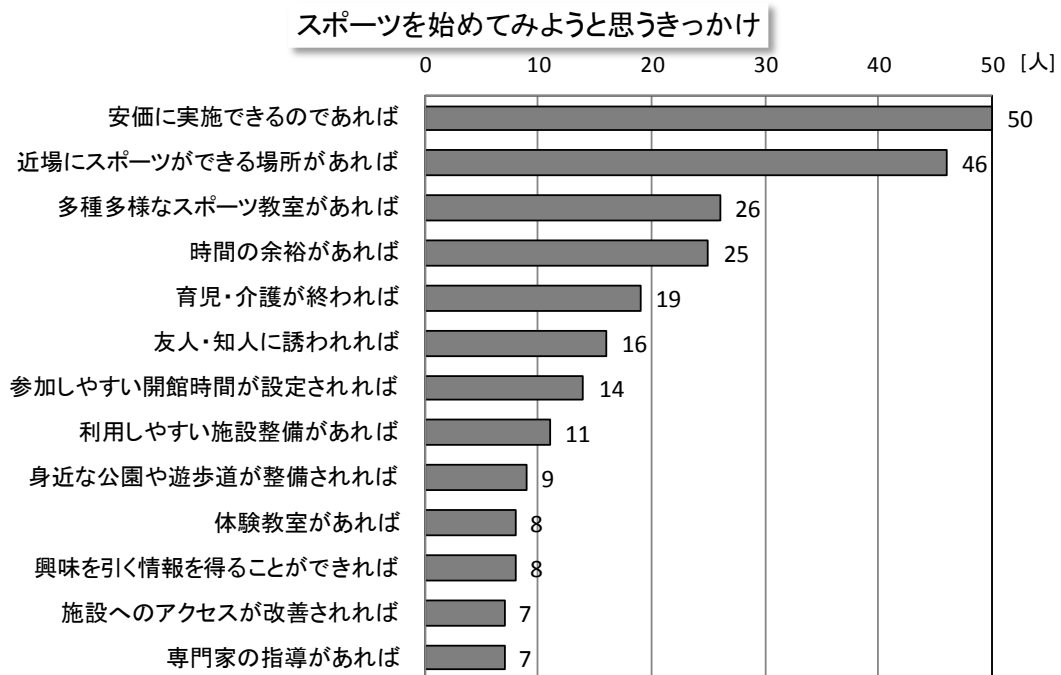
運動やスポーツをしなかった理由(国調査との比較)



問 14 付問 10 どのようなきっかけがあればスポーツを始めたいと思いますか。また、スポーツを始めるにあたり、行政に期待することなどを自由にご記入ください。

→1年間に特に運動やスポーツとして行ったものはない人のみ

* 「安価に実施できるのであれば」が最も多く、次いで「近場にスポーツができる場所があれば」「多種多様なスポーツ教室があれば」「時間の余裕があれば」と続きます。



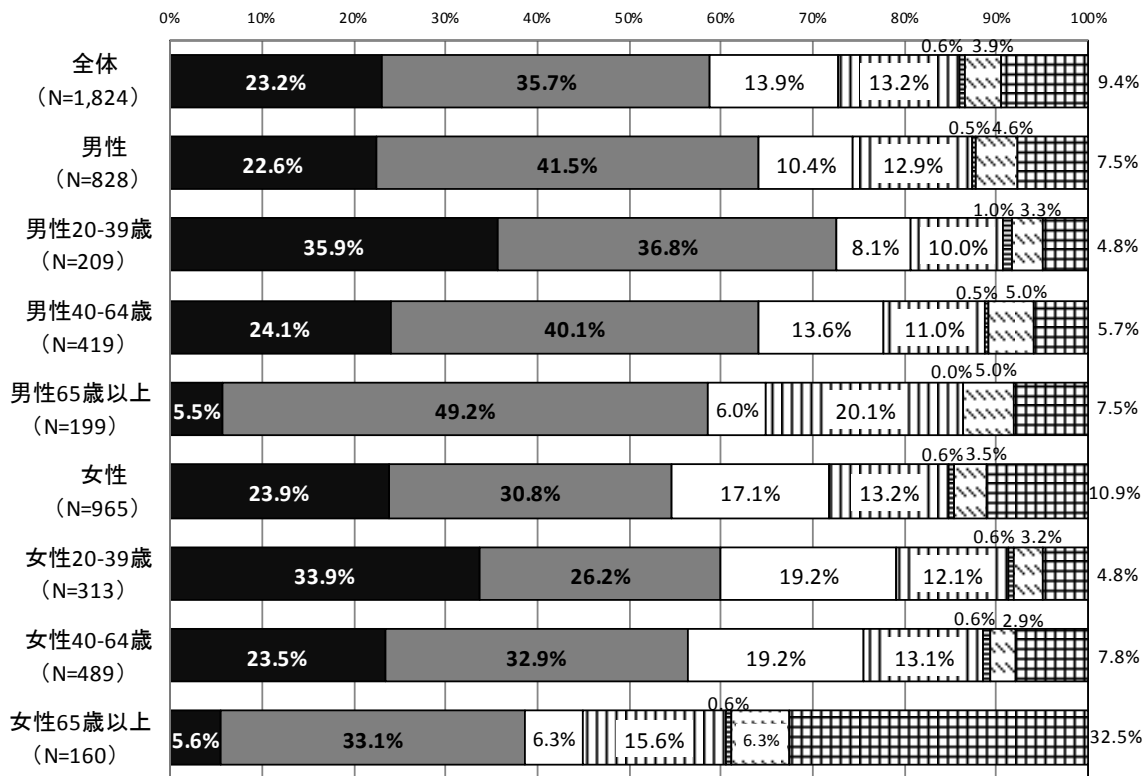
- [回答例]
- 安価に実施できるのであれば
ワンコインで使用できるのであればしてみたい/65才以上は利用料を無料にしてほしい
 - 近場にスポーツができる場所があれば
公園に健康機具が備えてあれば楽しく運動すると思う/家から5分以内にあれば良い
 - 多種多様なスポーツ教室があれば
初心者向けスポーツ教室に誘われたら始めるかもしれない/子どもと一緒にできるスポーツ教室なら参加してみたい/若者向けにも実施してほしい/自分と同じ年代、体型など、対象者を絞った講座があれば検討するかもしれない/足が悪い人でもできる運動を紹介する教室があると良い
 - 時間の余裕があれば：仕事の関係上、時間が無い
 - 育児・介護が終われば
育児に余裕ができてからスポーツをしたい/介護生活から解放されればスポーツがしたい
 - 友人・知人に誘われれば
仲間がいればスポーツをしてみたい/親しい人からのお誘いがあれば教室にでも行こうと思う
 - 参加しやすい開館時間が設定されれば
夜間でも参加できる施設ができれば訪れてみたい/教室に行きたくても曜日、時間が合わない
 - 利用しやすい施設整備があれば
託児所付き施設があれば利用したい/設備の整った施設でスポーツをしたい/ロッククライミング等ができるサービスの良い施設があると良い
 - 身近な公園や遊歩道が整備されれば
ボール遊びができる広場があるだけで良い/自転車通勤したいが安全に走行できる道がない
 - 体験教室があれば：まずはスポーツを体験してみたい
 - 興味を引く情報を得ることができれば
先生や生徒の生の声を記したパンフレット等があると、教室を知るきっかけになると思う
 - 施設へのアクセスが改善されれば：公共交通機関で訪問できる施設があると良い
 - 専門家の指導があれば
トップレベルの先生に教えてもらえるのであれば/経験のある方が指導してくれる機会があれば
 - その他
プロの選手と触れ合えるスポーツ大会に参加したい/気軽に参加できる同好会があれば入りたい

(3) 運動・スポーツに関する今後の取組

問 15 今後の運動やスポーツの実施について、どのように思われますか。

- * 「これまでと同じ程度の運動やスポーツを続けたい」が 35.7%と最も多く、次いで「これまで以上に もっと運動やスポーツをしたい」(23.2%)と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、男女ともに年齢の若い人ほど「これまで以上に もっと運動やスポーツをしたい」や「これまでと同じ程度の運動やスポーツを続けたい」、「これまでではしていないが、新たに運動やスポーツを始めたい」といった運動やスポーツの実施意向がある人の合計の割合が大きくなっています。

今後の運動やスポーツの実施についての意向



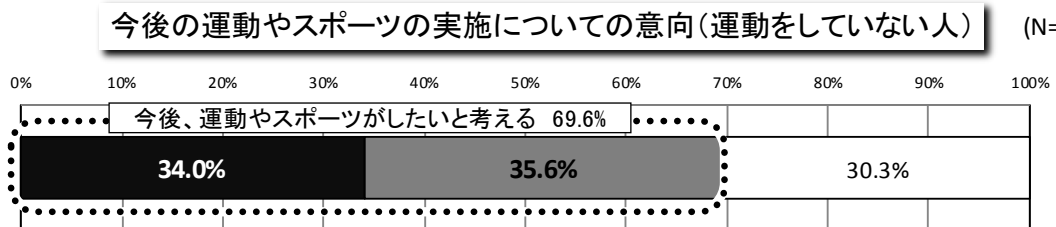
- これまで以上に もっと運動やスポーツをしたい
- これまでと同じ程度の運動やスポーツを続けたい
- これまでではしていないが、新たに運動やスポーツを始めたい
- ▨ 運動やスポーツはしたいと思うが、今後もできないと思う
- ▩ 現在運動やスポーツをしているが、やめようと思う
- その他
- 田 無回答

「運動やスポーツはしたいと思うが、今後できないと思う」理由	● 仕事で忙しい	● 就労時間が極めて不規則
	● 休日は体を休めたい	● 子育て、就労や家事に追われて時間がない
	● 子どもが小さくて手がかかる	● 介護に時間を取られる
	● 孫の世話に時間を割いている	● スポーツ以外のことに時間を使いたい
	● ジムはお金がかかる	● カルチャー教室で忙しい
	● 運動する場所が遠い	● スポーツをするチャンスがない
	● 運動音痴だから	● 身体を動かすのが好きではない
	● 腰に負担をかけたくない	● アトピー体質なので汗をかくとかゆくなる
	● すぐに飽きてしまう	● ケガをしそうだと思念している
	● 生活する上で、わざわざスポーツに時間を割きたくない	など

「現在運動やスポーツをしているが、やめようと思う」理由	<ul style="list-style-type: none"> ●孫の世話や介護で忙しい ●最近、膝の手術をした ●今年から社会人になったばかりなので、仕事に全力で頑張りたい ●子どもが小学生になったので、夜間のバレーボールの練習に行けない など ●妊娠中 ●体力がついていけなくなった
[その他の回答]	<ul style="list-style-type: none"> ●運動やスポーツが嫌い ●手術予定があるのでできない ●年齢のため、スポーツはできない ●仕事の都合で練習に参加できない ●自分の体調に合わせて行いたい ●自分のペースで、ゆっくり楽しくできることをしたい ●演劇を趣味にして、そちらで運動したい など ●スポーツはこれからも全くやりたくない ●身体に障害があるのでスポーツは難しい ●両親の介護のため時間的な余裕がない ●遊べる相手がいないのでやりたくない ●ラジオ体操や散歩などはしていきたい

運動やスポーツをしていない人の今後の運動やスポーツの実施意向

* 今後運動やスポーツがしたいと考える人が 69.6%と 70%近くに及んでおり、運動やスポーツをしていない人についても、実施意向がある人は多いものと考えられます。



■ 運動やスポーツをしたい、または新たに始めたい ■ 運動やスポーツはしたいと思うが、今後もできないと思う □ その他、無回答

問 15 付問 1 どのような運動やスポーツをしたいと思われませんか。

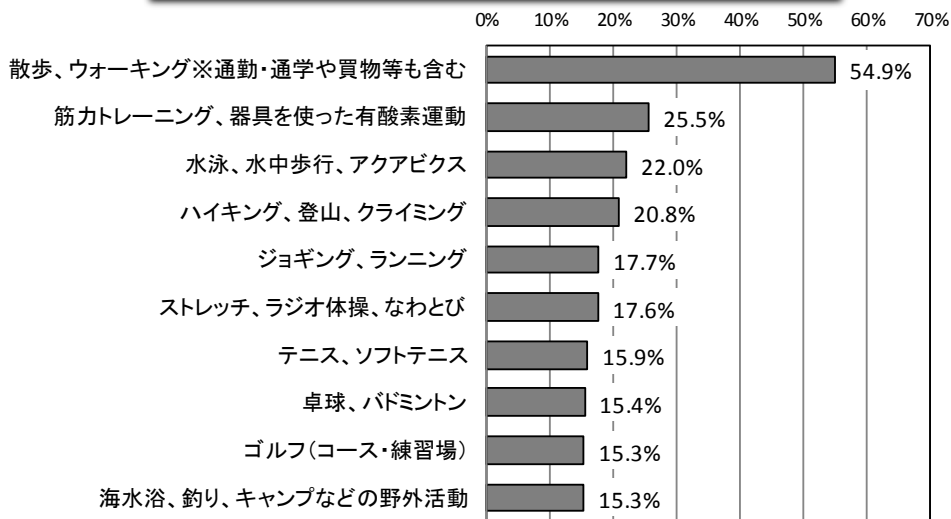
(あてはまるものをすべて選んで○)

→今後運動やスポーツがしたい人のみ

* 「散歩、ウォーキング」が 54.9%と最も多く、次いで、「筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動」、「水泳、水中歩行、アクアビクス」、「ハイキング、登山、クライミング」、「ジョギング、ランニング」と続きます。

* 性別・年齢別にみると、全ての性別・年齢において「散歩、ウォーキング」が他よりも突出して多く、第2位をみると、男性 20～64 歳は「筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動」、男性 65 歳以上は「ゴルフ (コース・練習場)」、女性の 20～39 歳及び 65 歳以上は「水泳、水中歩行、アクアビクス」、女性 40～64 歳は「太極拳、ヨガ、チューブ体操、その他体操」となっています。

今後行いたい運動・スポーツ 上位10位(回答者全体) (N=1,657)



順位	スポーツの種目	回答率	順位	スポーツの種目	回答率
1	散歩、ウォーキング	54.9%	23	スクーバダイビング	3.9%
2	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	25.5%	24	弓道、アーチェリー	3.9%
3	水泳、水中歩行、アクアビクス	22.0%	25	サーフィン、ウインドサーフィン	3.5%
4	ハイキング、登山、クライミング	20.8%	26	ボート、カヌー、ヨット	3.1%
5	ジョギング、ランニング	17.7%	27	柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他の武道	3.0%
6	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	17.6%	28	スケート、カーリング、アイスホッケー	3.0%
7	テニス、ソフトテニス	15.9%	29	モータースポーツ(自動車競技など)	2.7%
8	卓球、バドミントン	15.4%	30	自転車競技(BMX など)	2.6%
9	ゴルフ(コース・練習場)	15.3%	31	ゲーム機のスポーツ体験ソフト	2.3%
10	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	15.3%	32	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	2.2%
11	太極拳、ヨガ、チューブ体操、その他体操	15.2%	33	パークゴルフ、ターゲットバードゴルフ	1.8%
12	サイクリング	13.6%	34	水上オートバイ	1.7%
13	ダンス、エアロビックダンス	11.3%	35	剣道、なぎなた、フェンシング	1.6%
14	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	11.0%	36	ボクシング、レスリング、その他の格闘技	1.4%
15	スキー、スノーボード	10.3%	37	陸上競技	1.4%
16	野球、ソフトボール	8.8%	38	スケートボード、ローラースケート	1.3%
17	サッカー、フットサル	6.3%	39	器械体操、新体操	1.1%
18	バレーボール、ソフトバレーボール	6.0%	40	ラグビー、タグラグビー、アメリカンフットボール	0.7%
19	乗馬、馬術	5.1%	41	ハンドボール、ラクロス、ホッケー	0.5%
20	キャッチボール、その他のボール遊び	5.1%	42	綱引き	0.4%
21	バスケットボール	4.7%		その他	1.2%
22	マラソン、駅伝	4.6%		無回答	6.7%

【その他の回答】	●クラシックバレエ	●トライアスロン	●ノルディックウォーキング
	●スカッシュ	●ジェットスキー	●ツリークライミング
	●スポーツチャンバラ	●吹き矢	●和太鼓 など

【性別・年齢別にみる今後行いたい運動・スポーツ】

順位	回答者全体(N=1,657)	回答率	男性全体(N=757)	回答率	女性全体(N=872)	回答率
1	散歩、ウォーキング	54.9%	散歩、ウォーキング	51.3%	散歩、ウォーキング	58.1%
2	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	25.5%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	27.2%	水泳、水中歩行、アクアビクス	26.3%
3	水泳、水中歩行、アクアビクス	22.0%	ゴルフ(コース・練習場)	23.6%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	26.0%
4	ハイキング、登山、クライミング	20.8%	ハイキング、登山、クライミング	21.0%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	25.2%
5	ジョギング、ランニング	17.7%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	20.1%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	24.0%
6	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	17.6%	ジョギング、ランニング	19.3%	ハイキング、登山、クライミング	21.1%
7	テニス、ソフトテニス	15.9%	水泳、水中歩行、アクアビクス	17.0%	テニス、ソフトテニス	18.8%
8	卓球、バドミントン	15.4%	サイクリング	16.0%	ダンス、エアロビックダンス	17.9%
9	ゴルフ(コース・練習場)	15.3%	野球、ソフトボール	15.9%	卓球、バドミントン	17.1%
10	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	15.3%	卓球、バドミントン	13.6%	ジョギング、ランニング	16.4%

順位	男性 20～39 歳(N=194)	回答率	男性 40～64 歳(N=388)	回答率	男性 65 歳以上(N=174)	回答率
1	散歩、ウォーキング	32.5%	散歩、ウォーキング	54.9%	散歩、ウォーキング	63.8%
2	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	29.4%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	29.4%	ゴルフ(コース・練習場)	21.3%
3	サッカー、フットサル	26.8%	ゴルフ(コース・練習場)	25.3%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	20.1%
4	ジョギング、ランニング	25.8%	ハイキング、登山、クライミング	24.5%	ハイキング、登山、クライミング	16.7%
5	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	23.7%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	23.7%	水泳、水中歩行、アクアビクス	14.4%
6	野球、ソフトボール	23.7%	ジョギング、ランニング	20.6%	卓球、バドミントン	12.1%
7	ゴルフ(コース・練習場)	22.7%	サイクリング	18.8%	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	10.3%
8	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	21.6%	水泳、水中歩行、アクアビクス	18.3%	ジョギング、ランニング	9.2%
9	テニス、ソフトテニス	20.1%	野球、ソフトボール	16.5%	サイクリング	9.2%
10	卓球、バドミントン	18.0%	テニス、ソフトテニス	12.6%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	7.5%
	スキー、スノーボード	18.0%				

順位	女性 20～39 歳(N=298)	回答率	女性 40～64 歳(N=459)	回答率	女性 65 歳以上(N=112)	回答率
1	散歩、ウォーキング	55.7%	散歩、ウォーキング	59.5%	散歩、ウォーキング	58.9%
2	水泳、水中歩行、アクアビクス	34.2%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	28.3%	水泳、水中歩行、アクアビクス	23.2%
3	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	27.5%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	27.7%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	21.4%
4	ハイキング、登山、クライミング	25.2%	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	27.5%	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	19.6%
5	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	23.8%	水泳、水中歩行、アクアビクス	22.0%	ハイキング、登山、クライミング	17.9%
6	ジョギング、ランニング	23.5%	テニス、ソフトテニス	19.8%	卓球、バドミントン	15.2%
7	テニス、ソフトテニス	22.8%	ハイキング、登山、クライミング	19.2%	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	12.5%
8	ダンス、エアロビックダンス	22.1%	卓球、バドミントン	17.4%	ダンス、エアロビックダンス	9.8%
9	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	20.8%	ダンス、エアロビックダンス	17.2%	ボウリング、ビリヤード、ダーツ	8.0%
10	スキー、スノーボード	20.1%	ジョギング、ランニング	14.8%	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	8.0%

市調査推移（前回調査との比較）

* 本市で実施した過去の調査と比較すると、平成 22 年調査の第 1 位は「散歩、ウォーキング」と同じですが、「筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動」(25.5%：第 2 位)、「ハイキング、登山、クライミング」(20.8%：第 4 位)、「ジョギング、ランニング」(17.7%：第 5 位)、「ストレッチ、ラジオ体操、なわとび」(17.6%：第 6 位)、「テニス、ソフトテニス」(15.9%：第 7 位)、「卓球、バドミントン」(15.4%：第 8 位) の 6 種目については、今回調査の方が上位にあがっています。

【今後行いたい運動・スポーツ 前回調査との比較】

順位	回答者全体(N=1,657)	回答率	順位	平成 22 年調査(N=1,397)	回答率
1	散歩、ウォーキング	54.9%	1	散歩、ウォーキング	47.5%
2	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	25.5%	2	水泳、水中歩行、アクアビクス	29.9%
3	水泳、水中歩行、アクアビクス	22.0%	3	筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	29.6%
4	ハイキング、登山、クライミング	20.8%	4	太極拳、ヨーガ、チューブ体操、その他体操	20.4%
5	ジョギング、ランニング	17.7%	5	ハイキング、登山、クライミング	20.1%
6	ストレッチ、ラジオ体操、なわとび	17.6%	6	ゴルフ(コース・練習場)	19.8%
7	テニス、ソフトテニス	15.9%	7	ジョギング、ランニング	16.9%
8	卓球、バドミントン	15.4%	8	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	16.3%
9	ゴルフ(コース・練習場)	15.3%	9	テニス、ソフトテニス	16.2%
10	海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動	15.3%	10	卓球、バドミントン	15.6%

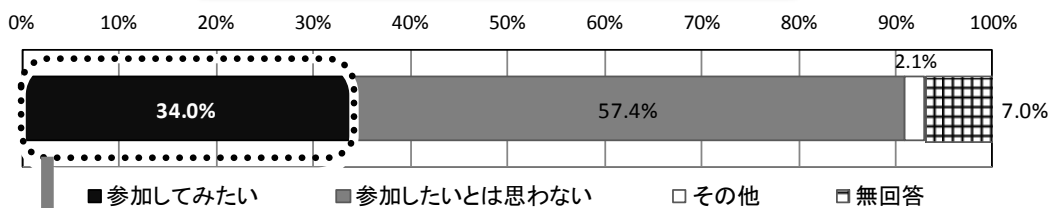
問 15 付問 2 体育館などで実施されている運動やスポーツに関する各種教室に参加してみたいと思われませんか。

また。1 か月あたりの予算は何円ぐらいをお考えですか？

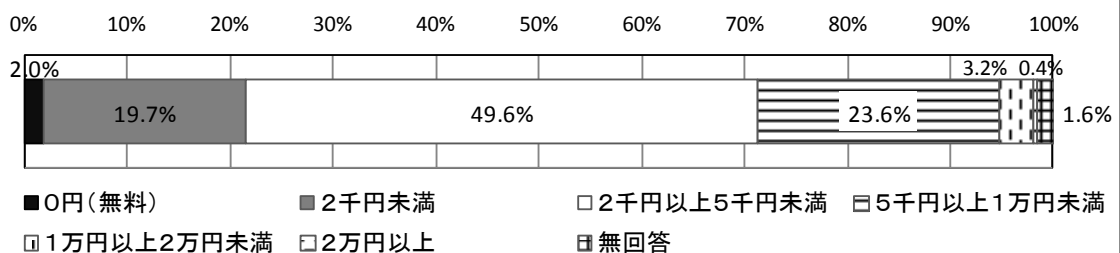
→今後運動やスポーツがしたい人のみ

* 「参加してみたい」と回答した人は 34.0%に及びます。また、「参加してみたい」と回答した人の参加する際の 1 か月当たりの予算としては、「2 千円以上 5 千円未満」が 49.6%と最も多く、次いで、「5 千円以上 1 万円未満」(23.6%)、「2 千円未満」(19.7%)と続きます。

運動やスポーツに関する各種教室への参加意向 (N=1,657)

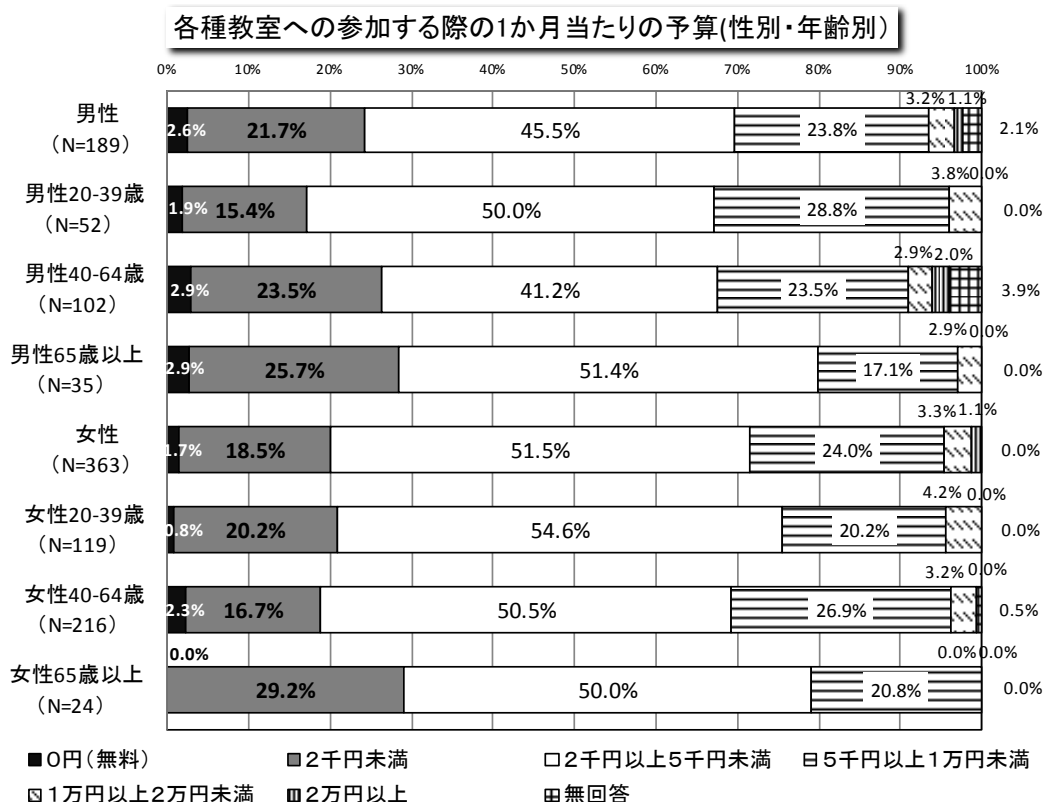
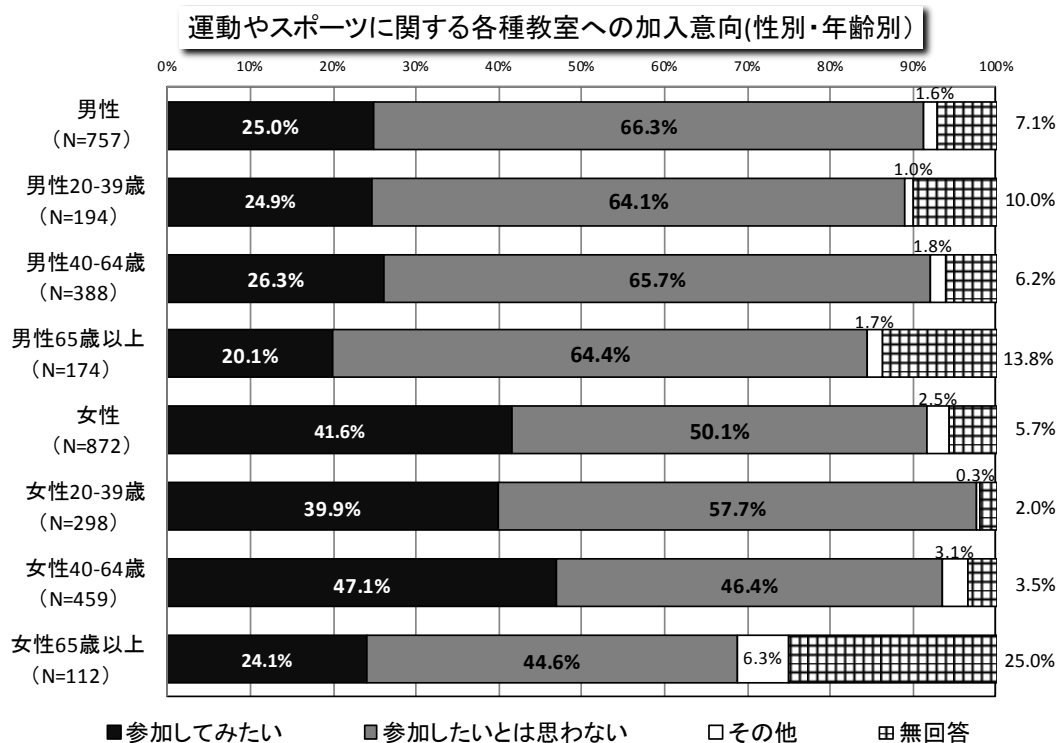


各種教室への参加する際の 1 か月当たりの予算 (N=564)



性別・年齢別の比較

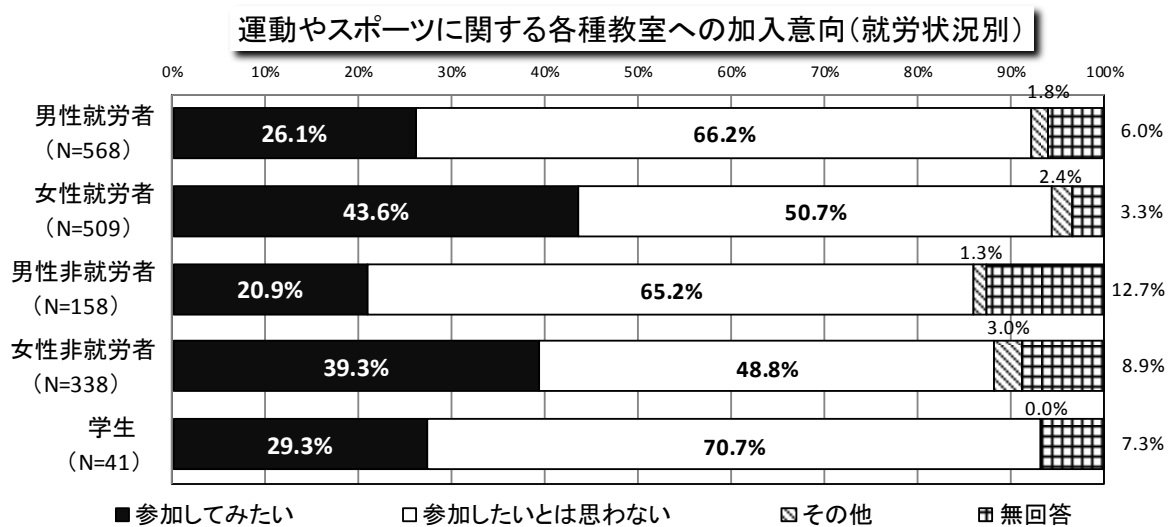
- * 性別・年齢別にみると、どの年齢層においても男性よりも女性の方が参加意向のある人が多く、特に、女性40～64歳は47.1%と参加意向のある人が最も多くなっています。
- * 参加する際の1か月当たりの予算としては、男女とも65歳以上において、「0円（無料）」または「2千円未満」のいずれかに回答した人の合計が多い一方で、5千円以上※が少なくなっており、他の年齢層よりも予算額が低くなっています。



※ 「5千円以上1万円未満」「1万円以上2万円未満」「2万円以上」のいずれかに回答した人の合計を示しています。

就労状況別の比較

* 就労状況別にみると、男女ともに就労者の方が非就労者よりも参加意向のある人が多く、特に女性就労者は43.6%と40%を超えています。



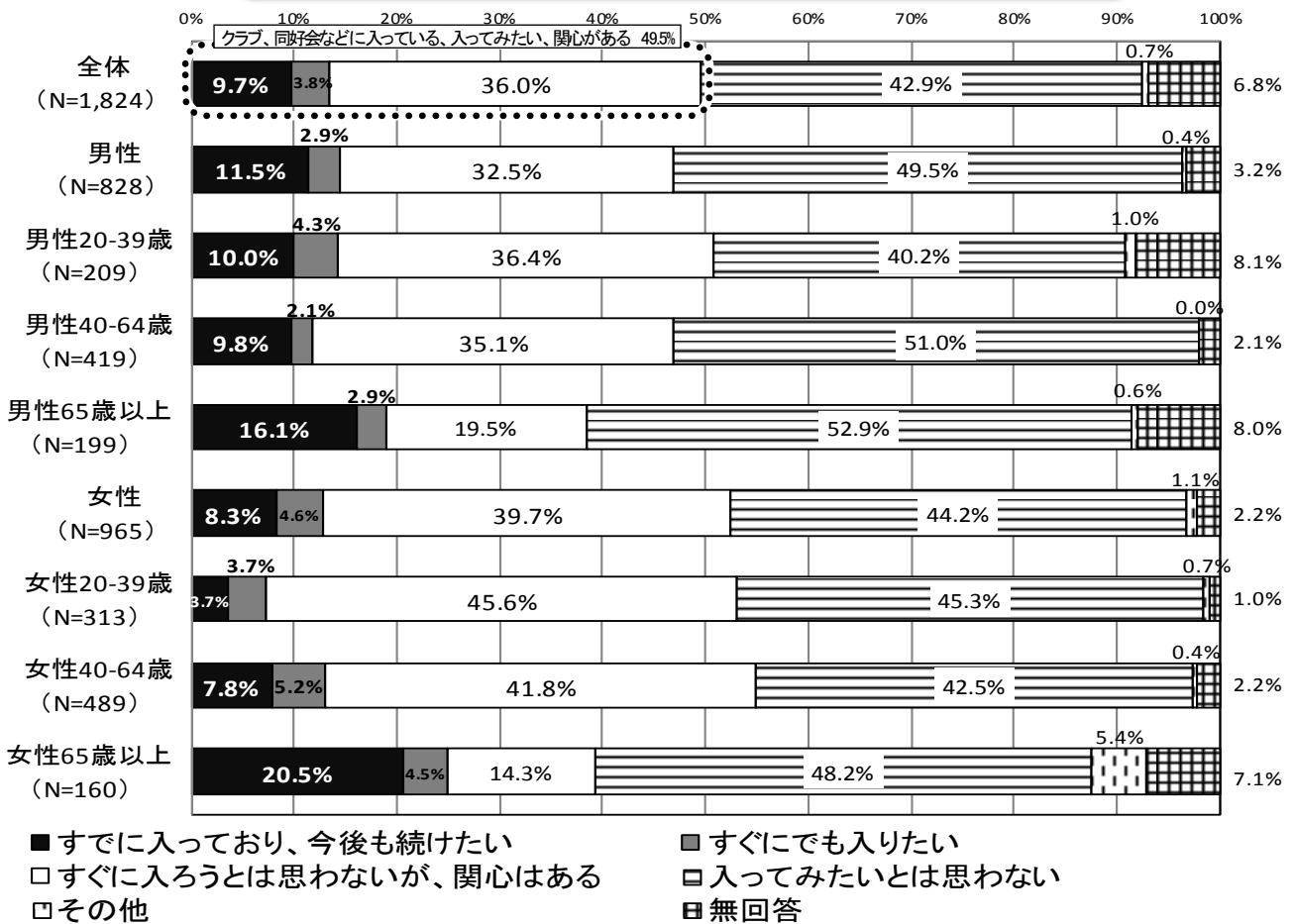
問 15 付問 3 自分の好きな運動やスポーツに関するクラブ、同好会などがあれば入ってみたいと思われませんか。

→今後運動やスポーツがしたい人のみ

* 「入ってみたいとは思わない」が42.9%と最も多く、次いで「すぐに入ろうとは思わないが、関心はある」(36.0%)と続きます。クラブ、同好会などにすでに入っている若しくは入ってみたい、関心があると回答した人は49.5%に及んでいます。

* 性別・年齢別にみると、65歳以上の男女は「すでに入っており、今後も続けたい」が他の年代に比べて多く、クラブ、同好会に参加している人が多くなっています。一方、20～64歳の男女は「すぐにでも入りたい」「すぐに入ろうとは思わないが、関心はある」と回答した人の合計の割合が大きくなっています。

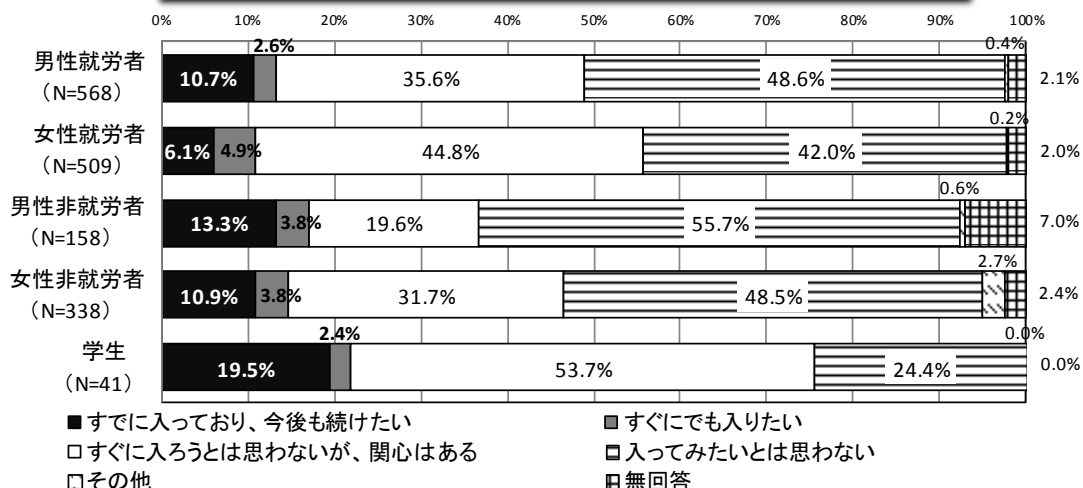
好きな運動やスポーツに関するクラブ、同好会への加入意向



就労状況別の比較

* 就労状況別にみると、男女ともに就労者の方が非就労者よりもクラブ、同好会などに入ってみたい、関心があると回答した人が多くなっています。

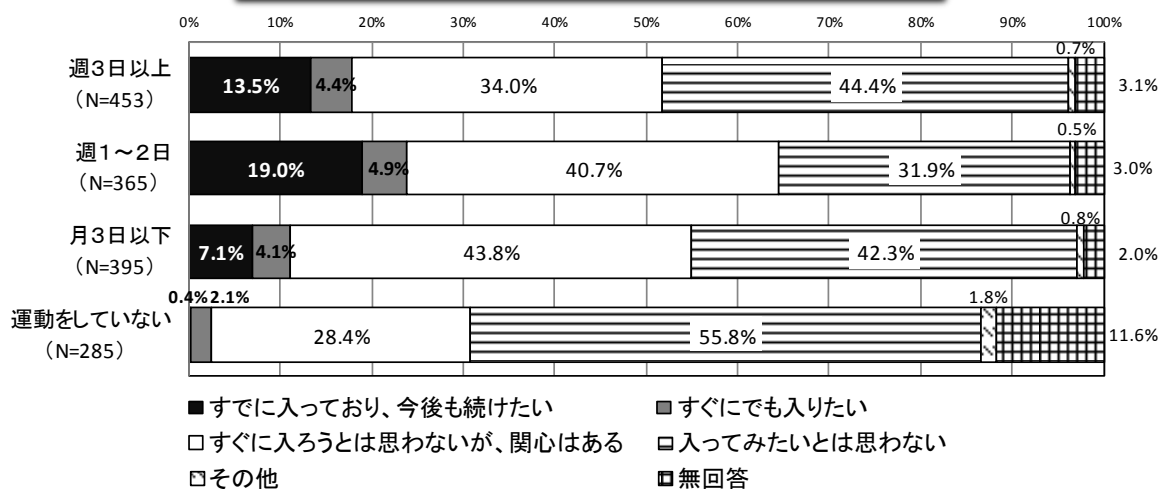
好きな運動やスポーツに関するクラブ、同好会への加入意向(就労状況別)



運動・スポーツの実施日数別の比較

* 運動・スポーツの実施日数別にみると、クラブ、同好会などにすでに入っている若しくは入ってみたい、関心があると回答した人は、運動・スポーツをしている人において、いずれも50%以上と多くなっています。一方、運動をしていない人では30.9%に止まり、少なくなっています。

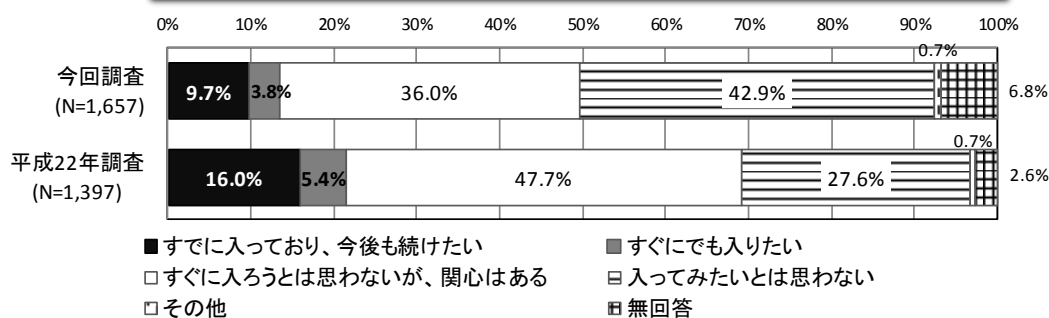
好きな運動やスポーツに関するクラブ、同好会への加入意向(運動・スポーツの実施日数別)



市調査推移(前回調査との比較)

* 本市で過去に実施した調査と比べると、平成22年調査ではクラブ、同好会などにすでに入っている若しくは入ってみたい、関心があると回答した人は69.1%に及び、今回調査の方が加入意向は低くなっています。

好きな運動やスポーツに関するクラブ、同好会への加入意向(前回調査との比較)

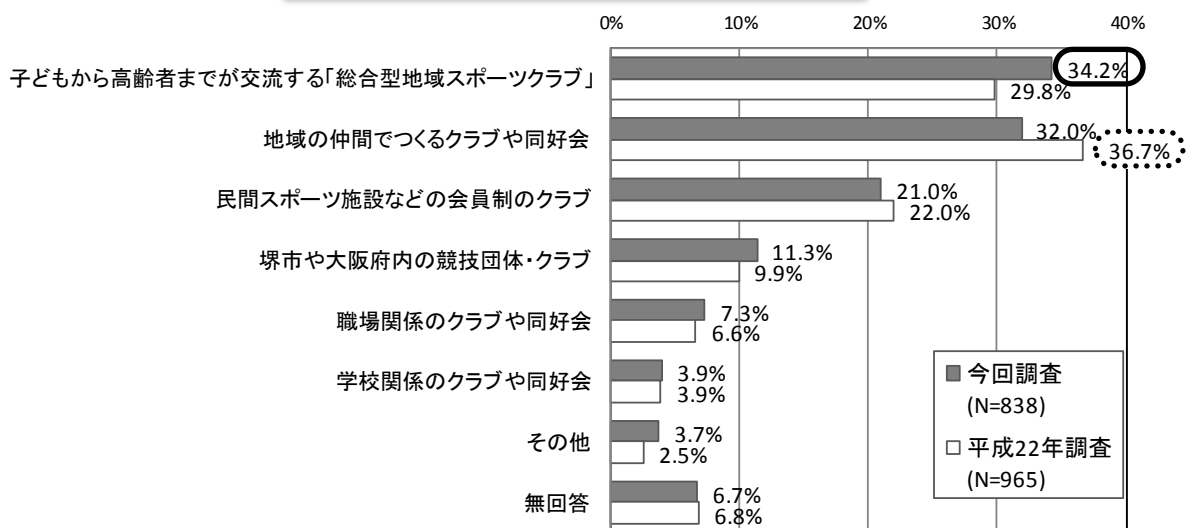


問 15 付問 4 どのようなクラブ、同好会などに関心がありますか。

→運動やスポーツに関するクラブ、同好会への参加意向・関心がある人のみ

- * 「子どもから高齢者までが交流する「総合型地域スポーツクラブ」」が 34.2%と最も多く、次いで「地域の仲間をつくるクラブや同好会」(32.0%)、「民間スポーツ施設などの会員制のクラブ」(21.0%)と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、男性の全ての年齢層において「地域の仲間をつくるクラブや同好会」が、女性の全ての年齢層において「子どもから高齢者までが交流する「総合型地域スポーツクラブ」」がそれぞれ第1位となっています。この他では、「民間スポーツ施設などの会員制のクラブ」が女性20～64歳で、「職場関係のクラブや同好会」が男性20～39歳で、「学校関係のクラブや同好会」が女性20～39歳で、それぞれ他よりも回答が多いという傾向が見られます。
- * 本市で過去に実施した調査と比べると、今回調査で第2位の「地域の仲間をつくるクラブや同好会」が平成22年調査では第1位である一方で、今回調査で第1位の「子どもから高齢者までが交流する「総合型地域スポーツクラブ」」が平成22年調査では第2位となっています。

関心があるクラブ、同好会(前回調査との比較)



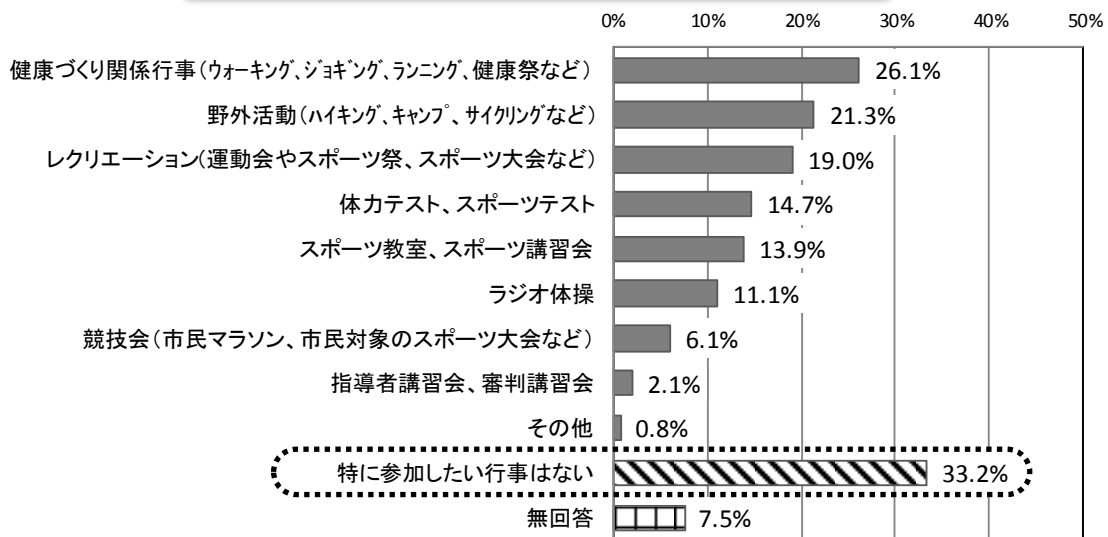
関心があるクラブ、同好会などの種類 (回答者全体の多い順)	全体 (N=838)	男性 (N=361)			女性 (N=469)				
		20-39歳 (N=108)	40-64歳 (N=183)	65歳以上 (N=70)	20-39歳 (N=160)	40-64歳 (N=256)	65歳以上 (N=49)		
子どもから高齢者までが交流する「総合型地域スポーツクラブ」	34.2%	28.3%	21.3%	31.1%	31.4%	38.4%	31.9%	43.0%	34.7%
地域の仲間をつくるクラブや同好会	32.0%	38.2%	40.7%	38.8%	32.9%	26.2%	26.9%	28.1%	14.3%
民間スポーツ施設などの会員制のクラブ	21.0%	13.0%	11.1%	19.1%	12.9%	24.7%	26.3%	26.2%	14.3%
堺市や大阪府内の競技団体・クラブ	11.3%	12.5%	13.0%	15.3%	4.3%	10.7%	13.8%	10.2%	4.1%
職場関係のクラブや同好会	7.3%	4.2%	24.1%	9.8%	4.3%	3.0%	6.3%	1.6%	0.0%
学校関係のクラブや同好会	3.9%	3.0%	6.5%	2.2%	0.0%	4.7%	11.3%	1.6%	0.0%
その他	3.7%	15.5%	1.9%	4.9%	5.7%	3.2%	3.8%	2.3%	4.1%
無回答	6.7%	3.9%	2.8%	1.1%	12.9%	3.6%	1.9%	1.2%	28.6%

[その他の回答]	●自転車店のサイクリングクラブ	●気軽に参加できるクラブ
	●家から近く通いやすいクラブ	●グループ化せず、都合のいい人が集まる形
	●専門的なことを指導してくれるクラブ	など

問 16 あなたは、堺市や各区単位、町内会などでスポーツ行事が催される場合、どのような行事に参加したいと思われますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- * 回答があったスポーツ行事の中では、「健康づくり関係行事（ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など）」が 26.1%と最も多く、次いで「野外活動（ハイキング、キャンプ、サイクリングなど）」、「レクリエーション（運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など）」と続きます。一方、「特に参加したい行事はない」と回答した人も 33.2%と 30%強見られます。
- * 性別・年齢別にみると、20～39歳の男女は「レクリエーション（運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など）」が、40歳以上の男女は「健康づくり関係行事（ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など）」が、それぞれ第1位になっています。この他では、「ラジオ体操」が女性40歳以上で他よりも回答が多い傾向が見られます。

参加してみたい市や区単位、町内会でのスポーツ行事 (N=1,824)



参加してみたい市や区単位、町内会でのスポーツ行事(回答者全体の多い順)	全体(N=1,824)	男性(N=828)	男性 20-39歳(N=209)	男性 40-64歳(N=419)	男性 65歳以上(N=199)	女性(N=965)	女性 20-39歳(N=313)	女性 40-64歳(N=489)	女性 65歳以上(N=160)
健康づくり関係行事(ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など)	26.1%	24.4%	12.4%	26.7%	32.2%	27.5%	18.8%	34.4%	23.8%
野外活動(ハイキング、キャンプ、サイクリングなど)	21.3%	22.0%	19.6%	25.1%	18.1%	21.1%	23.6%	21.9%	13.8%
レクリエーション(運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など)	19.0%	19.7%	31.1%	19.1%	9.0%	18.3%	26.2%	16.4%	8.1%
体力テスト、スポーツテスト	14.7%	14.4%	19.1%	14.6%	9.0%	14.9%	16.6%	16.2%	8.1%
スポーツ教室、スポーツ講習会	13.9%	10.3%	11.0%	12.4%	5.0%	17.1%	16.6%	21.3%	5.0%
ラジオ体操	11.1%	6.6%	4.8%	5.5%	11.1%	14.8%	8.3%	16.6%	22.5%
競技会(市民マラソン、市民対象のスポーツ大会など)	6.1%	7.7%	12.0%	9.1%	0.5%	4.7%	8.3%	3.3%	1.3%
指導者講習会、審判講習会	2.1%	2.7%	2.9%	3.6%	0.5%	1.8%	2.2%	1.2%	2.5%
その他	0.8%	1.1%	2.4%	0.2%	1.5%	0.6%	0.3%	0.6%	1.3%
特に参加したい行事はない	33.2%	33.5%	33.5%	32.9%	34.2%	33.4%	37.1%	31.9%	30.6%
無回答	7.5%	8.3%	5.3%	5.7%	17.1%	6.6%	1.9%	3.7%	25.0%

[その他の回答] ●病気のため参加できない ●行事が嫌いである ●高齢のため、今から参加したいものはない など

7 区別の比較

* 7 区別にみると、「健康づくり関係行事（ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など）」が美原区で、「レクリエーション（運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など）」が北区で、「特に参加したい行事はない」が東区で、それぞれ他よりも回答が多い傾向が見られます。

参加してみたい市や区単位、町内会でのスポーツ行事(回答者全体の多い順)	堺区 (N=293)	中区 (N=264)	東区 (N=206)	西区 (N=303)	南区 (N=317)	北区 (N=350)	美原区 (N=87)
健康づくり関係行事(ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など)	24.9%	28.8%	20.9%	26.4%	25.6%	26.3%	32.2%
野外活動(ハイキング、キャンプ、サイクリングなど)	22.9%	19.7%	19.9%	23.1%	22.4%	20.3%	18.4%
レクリエーション(運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など)	17.4%	18.6%	17.5%	19.5%	18.9%	23.4%	10.3%
体力テスト、スポーツテスト	14.0%	11.4%	14.1%	13.2%	14.5%	18.6%	18.4%
スポーツ教室、スポーツ講習会	14.0%	13.3%	9.7%	14.2%	16.4%	14.9%	9.2%
ラジオ体操	12.6%	10.6%	8.7%	11.9%	11.0%	10.3%	11.5%
競技会(市民マラソン、市民対象のスポーツ大会など)	6.8%	5.7%	5.8%	6.3%	5.0%	7.4%	3.4%
指導者講習会、審判講習会	3.4%	1.9%	1.0%	0.7%	2.8%	2.9%	0.0%
その他	2.0%	0.4%	0.5%	0.7%	0.6%	0.6%	0.0%
特に参加したい行事はない	33.8%	34.1%	38.3%	31.7%	33.1%	30.6%	33.3%
無回答	6.8%	7.2%	7.8%	8.3%	7.9%	7.1%	8.0%

就労状況別の比較

* 就労状況別にみると、「健康づくり関係行事（ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など）」が男性非就労者で、「レクリエーション（運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など）」「体力テスト、スポーツテスト」が学生で、「スポーツ教室、スポーツ講習会」が女性就労者及び学生で、「ラジオ体操」が女性非就労者で、それぞれ他よりも回答が多い傾向が見られます。

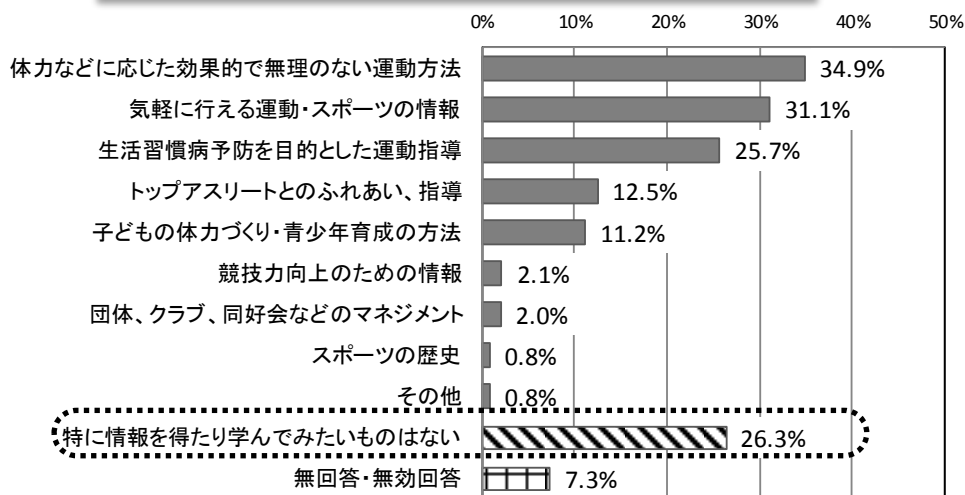
参加してみたい市や区単位、町内会でのスポーツ行事(回答者全体の多い順)	男性就労者 (N=611)	女性就労者 (N=539)	男性非就労者 (N=185)	女性非就労者 (N=398)	学生 (N=44)
健康づくり関係行事(ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など)	22.1%	29.1%	32.4%	26.1%	15.9%
野外活動(ハイキング、キャンプ、サイクリングなど)	22.7%	22.3%	19.5%	19.3%	20.5%
レクリエーション(運動会やスポーツ祭、スポーツ大会など)	21.8%	18.2%	12.4%	18.1%	29.5%
体力テスト、スポーツテスト	16.0%	17.8%	8.1%	11.1%	25.0%
スポーツ教室、スポーツ講習会	11.3%	20.4%	4.9%	12.8%	20.5%
ラジオ体操	5.7%	12.4%	9.2%	18.3%	11.4%
競技会(市民マラソン、市民対象のスポーツ大会など)	10.0%	5.8%	1.6%	2.8%	6.8%
指導者講習会、審判講習会	2.8%	1.9%	1.6%	1.5%	6.8%
その他	0.8%	0.4%	1.6%	1.0%	2.3%
特に参加したい行事はない	33.4%	34.0%	34.6%	32.2%	34.1%
無回答	6.2%	3.3%	15.7%	11.3%	0.0%

問 17 運動やスポーツ、健康づくりに関して情報を得たり、講座等で学んでみたい内容はありますか。(お考えに近いものをすべて選んで○)

* 回答があった情報を得たい、講座等で学んでみたい運動やスポーツ、健康づくりの中では、「体力などに応じた効果的で無理のない運動方法」が34.9%と最も多く、次いで「気軽に行える運動・スポーツの情報」(31.1%)、「生活習慣病予防を目的とした運動指導」(25.7%)と続きます。一方、「特に情報を得たり学んでみたいものはない」と回答した人も26.3%と30%弱見られます。

* 性別・年齢別にみると、情報を得たり、講座等で学んでみたい内容があると回答した人において、男性20～39歳は「トップアスリートとのふれあい、指導」が、女性20～39歳は「気軽に行える運動・スポーツの情報」が、40歳以上の男女では「体力などに応じた効果的で無理のない運動方法」が、それぞれ第1位になっています。この他では、「生活習慣病予防を目的とした運動指導」が40～64歳の男女で、「子どもの体力づくり・青少年育成の方法」が20～39歳の男女で、それぞれ他よりも回答が多いという傾向が見られます。また、男性20～39歳は「特に情報を得たり学んでみたいものはない」が34.0%と他よりも多くなっています。

情報を得たい・学んでみたい運動やスポーツ、健康づくり (N=1,824)



情報を得たい・学んでみたい運動やスポーツ、健康づくり(回答者全体の多い順)	全体(N=1,824)	男性(N=828)	男性20-39歳(N=209)	男性40-64歳(N=419)	男性65歳以上(N=199)	女性(N=965)	女性20-39歳(N=313)	女性40-64歳(N=489)	女性65歳以上(N=160)
体力などに応じた効果的で無理のない運動方法	34.9%	31.4%	19.6%	34.6%	37.2%	38.2%	26.2%	46.2%	36.9%
気軽に行える運動・スポーツの情報	31.1%	22.7%	18.7%	24.8%	22.6%	38.8%	39.9%	43.4%	23.1%
生活習慣病予防を目的とした運動指導	25.7%	26.8%	19.1%	30.8%	26.6%	24.8%	18.8%	30.1%	20.0%
トップアスリートとのふれあい、指導	12.5%	13.9%	21.5%	15.0%	3.5%	11.2%	19.2%	9.2%	1.3%
子どもの体力づくり・青少年育成の方法	11.2%	10.0%	16.7%	10.0%	3.0%	12.1%	24.3%	8.0%	1.3%
競技力向上のための情報	2.1%	3.1%	5.3%	3.6%	0.0%	1.3%	1.9%	1.4%	0.0%
団体、クラブ、同好会などのマネジメント	2.0%	2.4%	4.3%	2.4%	0.5%	1.5%	2.6%	1.2%	0.0%
スポーツの歴史	0.8%	1.3%	1.4%	1.0%	2.0%	0.3%	0.6%	0.0%	0.6%
その他	0.8%	0.5%	0.0%	0.7%	0.5%	1.0%	1.3%	0.4%	2.5%
特に情報を得たり学んでみたいものはない	26.3%	30.0%	34.0%	28.6%	28.1%	23.4%	24.6%	21.7%	26.9%
無回答	7.3%	7.7%	5.7%	5.0%	15.6%	6.6%	1.0%	5.1%	22.5%

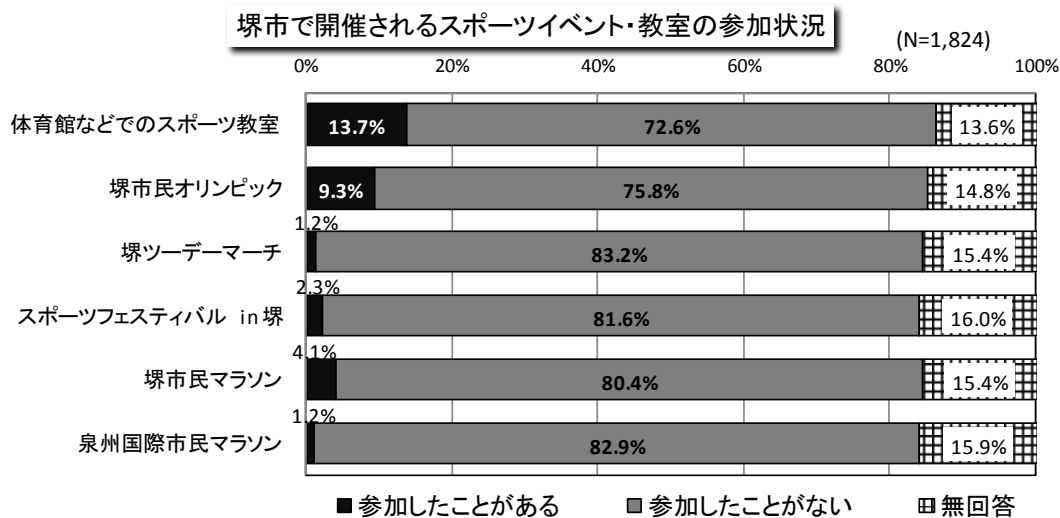
[その他の回答]	●親子一緒に参加できるもの	●女性のための身体づくり、ダイエット
	●妊活のための運動指導	●少年野球の指導方法 など

3. 本市における今後のスポーツ推進に向けて（問 18～28）

（1）スポーツ推進に向けた取組への市民の関心・ニーズ

問 18 堺市では、多くのスポーツイベント・教室を実施しています。それぞれ当てはまるものを選んで○をしてください。

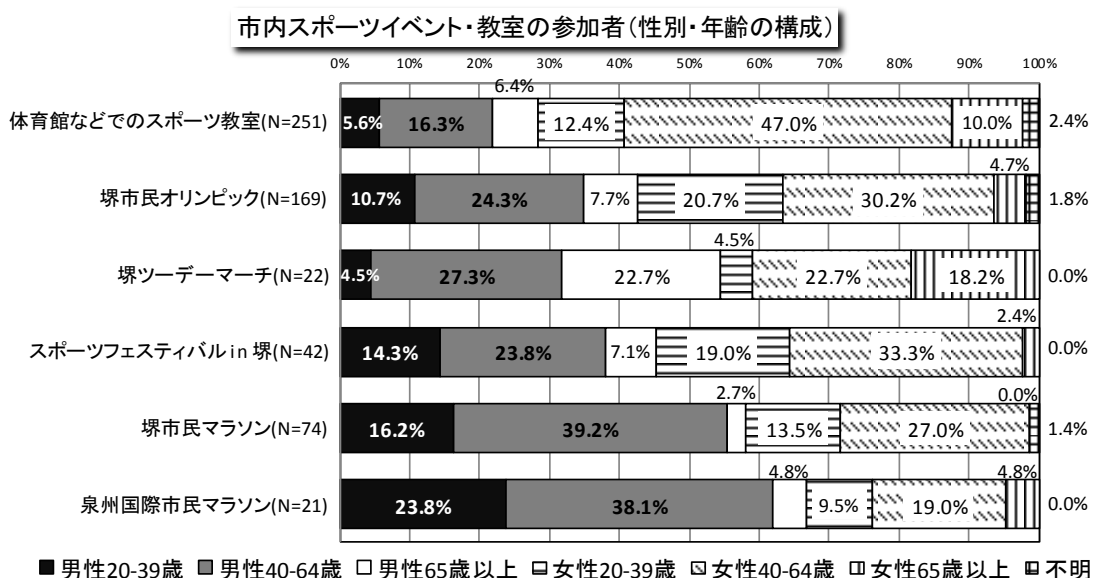
* 6項目とも「参加したことがない」と回答した人が「参加したことがある」と回答した人よりはるかに多くなっています。また、6項目の中では、「体育館などでのスポーツ教室」（13.7%）、「堺市民オリンピック」（9.3%）の2項目で、「参加したことがある」と回答した人が他と比べて多くなっています。



市内スポーツイベント・教室の参加者における性別・年齢の構成

* 「堺ツデーマーチ」「堺市民マラソン」「泉州国際市民マラソン」は、男性の参加が女性よりも多く、中でも、「泉州国際市民マラソン」は男性が 66.7%を占めており特に多くなっています。一方、「体育館などでのスポーツ教室」「堺市民オリンピック」「スポーツフェスティバル in 堺」は、女性の参加が男性よりも多く、中でも、「体育館などでのスポーツ教室」は女性が 69.4%を占めており特に多くなっています。

* 「参加したことがある」と回答した人が多い「体育館などでのスポーツ教室」「堺市民オリンピック」では、ともに女性 40～64 歳の参加者が最も多くなっています。



[参加したことがない理由]	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館などでのスポーツ教室 どんな教室があるか知らない／詳しい情報が回ってこない／体力がない／土・日に仕事がある／時間が合わない／住んでいる場所からのアクセスが悪い／仕事との両立が難しい／小さな子どもがいるため／若者が少なそうで、輪に入れない気がする／集団に入るのが苦手／スポーツクラブに通っているのだから必要ない／自分のペースでできない／初心者レベルしかない ● 堺市民オリンピック やっている事すら知らない／参加できると知らなかった／1人では行き難い／興味のある種目がない／場所が遠い／参加したいが校区でメンバーが揃わない／応募の仕方が分からない ● 堺ツーデーマーチ 知らなかった／申し込み方法が分からない／日にちが合わない／ウォーキングに興味がない／6月は暑くてウォーキングには不向き／1人で参加するのが嫌だから ● スポーツフェスティバル in 堺 知らなかった／詳細を知らない／3月は学校行事が忙しい ● 堺市民マラソン 知らなかった／急に走るの難しい／持久走が苦手／コースが悪い ● 泉州国際市民マラソン 知らなかった／フルマラソンは無理／抽選倍率が高いと聞いたので／完走メダルが無いのでつまらない
---------------	---

問 18 付問 上記スポーツイベント・教室などについて何か意見などがありましたら、自由にご記入ください。

- * 「情報発信の強化が必要」「レベル別クラス別教室の充実が必要」「色々な人が参加できる曜日・時間の設定が必要」「近場でスポーツイベント・教室に参加できるようにしてほしい」「企画の改善、質の向上が必要」といった意見が見られました。
- * また、「新しいスポーツイベント・教室の提案」や「今後は参加したい」という意見も見られました。

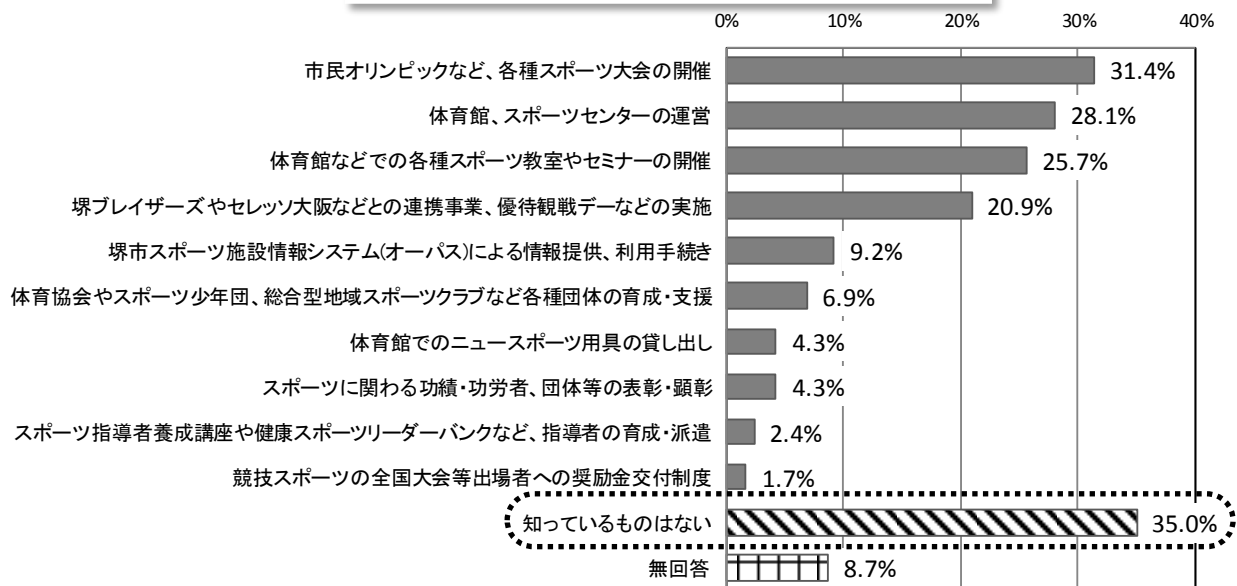
[回答例]	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信の強化が必要 イベントをしている事をよく知らなかった／吊革や駅広告で告知してほしい／入ってみたいと思わせる啓発活動方法を考えるべき／スマートフォンなどのデバイスに情報を送ってほしい／インスタグラム、Facebook など SNS を活かして情報発信できるとよい ● レベル別クラス別教室の充実が必要 高齢者向け教室を充実してほしい／初心者向けがあれば参加したい／年齢や体力に応じたウォーキングなどの企画があれば良い／若者向けの教室を休日に実施してほしい／小中学生対象のイベントや教室を増やしてほしい／親子で参加できるイベントを企画してほしい／小学生でも参加できるマラソン教室をしてほしい ● 色々な人が参加できる曜日・時間の設定が必要 平日の夜、家族で参加したい／平日の夕方 6 時は仕事の帰宅後で忙しいため参加できない／土・日・祝のスポーツ教室を増やしてもらいたい／勤労者や商売人が利用できるよう、夜遅く 11～12 時頃まで開館してほしい／土・日・祝が仕事なのでイベントに参加できない ● 近場でスポーツイベント・教室に参加できるようにしてほしい 歩いていける、身近な場所であちこちに教室があると良い／泉北から出るのに電車代が高いため、泉北内でしてほしい／人気のある教室は各体育館で実施するべきだと思う ● 企画の改善、質の向上が必要 堺市民オリンピックの種目内容を検討してほしい／セレッソ大阪のサッカー教室の参加枠を増やしてほしい／小学校のスイミング教室の内容が適当すぎてよくない ● 新しいスポーツイベント・教室の提案 駅伝大会があれば参加してみたい／日・祝に小学生スポーツ教室をしてほしい／笑う健康法に関する教室があれば参加したい／一般参加ができる自転車レースを開催してほしい／若者が喜ぶ話題性のあるイベントをしてほしい ● 今後は参加したい 無理がなければ教室に参加してみたい／堺ツーデーマーチに興味がある／定年後は参加したい
-------	---

問 19 堺市では、より多くの方がスポーツに親しめるようさまざまな取組を進めています。次のうち、あなたがご存じの取組は何でしょうか。(あてはまるものをすべて選んで○)

* 「市民オリンピックなど、各種スポーツ大会の開催」が31.4%と最も多く、次いで「体育館、スポーツセンターの運営」(28.1%)、「体育館などでの各種スポーツ教室やセミナーの開催」(25.7%)、「堺ブレイザーズやセレッソ大阪などとの連携事業、優待観戦デーなどの実施」(20.9%)と続きます。一方、「知っているものはない」と回答した人も35.0%と40%弱見られます。

堺市のスポーツ推進の取組として、知っているもの

(N=1,824)

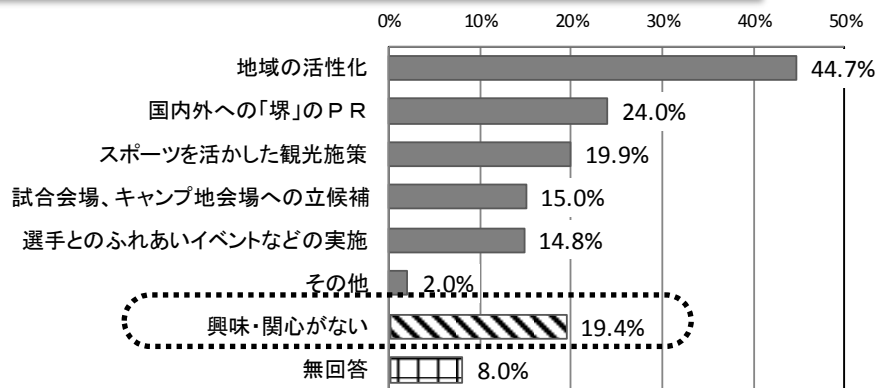


堺市のスポーツ推進の取組として、知っているもの(回答者全体の多い順)	全体(N=1,824)	男性(N=828)	男性 20-39歳(N=209)	男性 40-64歳(N=419)	男性 65歳以上(N=199)	女性(N=965)	女性 20-39歳(N=313)	女性 40-64歳(N=489)	女性 65歳以上(N=160)
市民オリンピックなど、各種スポーツ大会の開催	31.4%	29.0%	22.0%	34.6%	24.1%	34.0%	27.5%	40.5%	26.9%
体育館、スポーツセンターの運営	28.1%	26.9%	30.6%	30.1%	16.6%	29.0%	30.7%	32.3%	15.0%
体育館などでの各種スポーツ教室やセミナーの開催	25.7%	18.2%	17.2%	19.8%	16.1%	32.4%	27.5%	40.1%	18.8%
堺ブレイザーズやセレッソ大阪などとの連携事業、優待観戦デーなどの実施	20.9%	20.2%	17.7%	25.3%	12.1%	22.0%	24.9%	25.4%	5.6%
堺市スポーツ施設情報システム(オーパス)による情報提供、利用手続き	9.2%	9.7%	9.6%	12.9%	3.0%	8.9%	6.7%	12.9%	1.3%
体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど、各種団体の育成・支援	6.9%	6.9%	3.8%	10.3%	3.0%	6.9%	6.7%	8.4%	3.1%
体育館でのニュースポーツ用具の貸し出し	4.3%	4.5%	5.3%	5.0%	2.5%	4.2%	6.4%	3.5%	2.5%
スポーツに関わる功績・功労者、団体等の表彰・顕彰	4.3%	4.2%	2.9%	4.8%	4.5%	4.5%	4.5%	4.7%	3.8%
スポーツ指導者養成講座や健康スポーツリーダーバンクなど、指導者の育成・派遣	2.4%	3.0%	1.4%	4.3%	2.0%	1.8%	0.3%	3.1%	0.6%
競技スポーツの全国大会等出場者への奨励金交付制度	1.7%	2.2%	1.0%	3.1%	1.5%	1.3%	0.0%	2.0%	1.9%
知っているものはない	35.0%	39.1%	40.2%	37.5%	41.7%	31.4%	39.6%	26.2%	31.9%
無回答	8.7%	8.9%	6.2%	5.5%	19.1%	8.3%	1.9%	6.3%	26.9%

問 20 2019年に「ラグビーワールドカップ2019」が、2020年には「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が日本で開催されます。これらについて、行政などに期待するものは何ですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

* 「地域の活性化」が44.7%と他の項目よりも突出して多く、次いで「国内外への「堺」のPR」(24.0%)、「スポーツを活かした観光施策」(19.9%)と続きます。一方、「興味・関心がない」と回答した人も19.4%見られます。

「ラグビーワールドカップ2019」「2020年東京オリンピック・パラリンピック」(N=1,824) について、行政などに期待すること

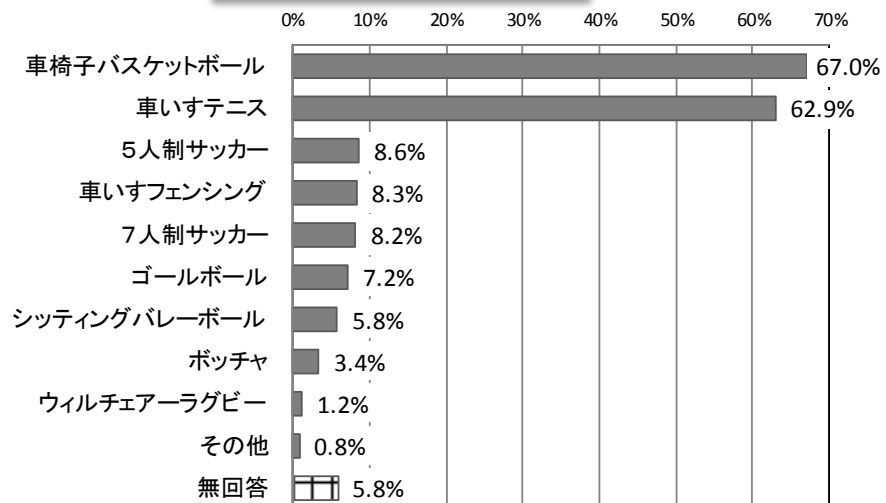


[その他の回答] ●Wi-Fi、フリースポットの充実 ●子どもが選手とふれあえる場
●出場選手、チームのサポート ●通訳ボランティアの募集 など

問 21 次のパラリンピック種目のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

* 「車椅子バスケットボール」(67.0%)、「車いすテニス」(62.9%)の2点が60%を超えており多くなっています。一方、その他の種目は回答が10%以下に止まり、認知度が低いと考えられます。

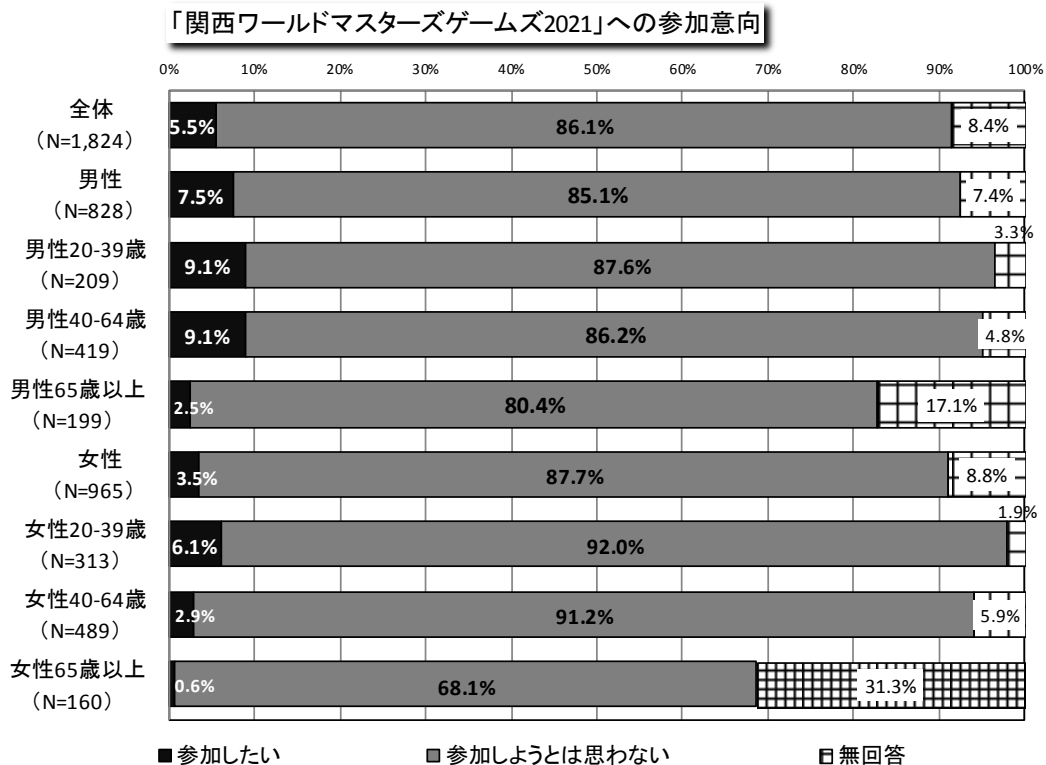
知っているパラリンピック種目 (N=1,824)



問 22 2021年に生涯スポーツの世界大会である「関西ワールドマスターズゲームズ2021」が関西地域で開催されます。あなたは参加したいと思いますか。また、開催にあたり行政などに期待するものは何ですか（あてはまるものをすべて選んで○）

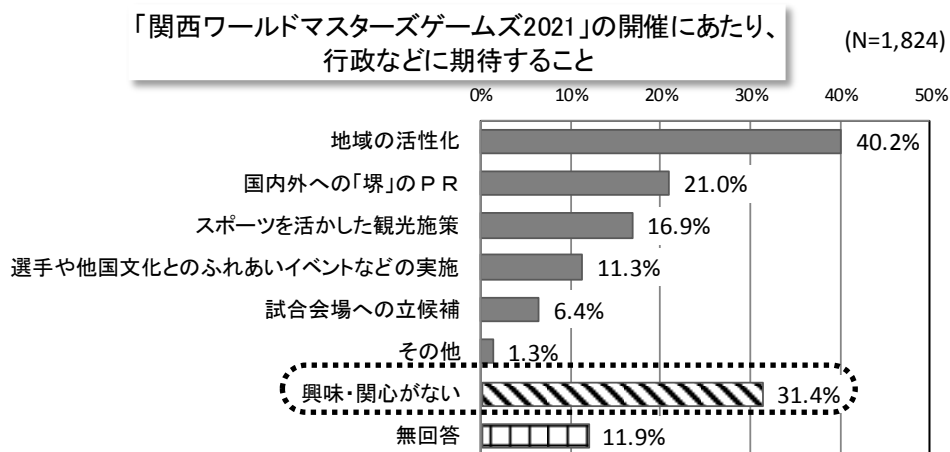
「関西ワールドマスターズゲームズ2021」への参加意向

- * 「参加したい」と回答した人は5.5%見られます。
- * 性別・年齢別にみると、男性20～64歳において「参加したい」が9.1%と他と比べて多くなっています。



「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催にあたり、行政等に期待すること

- * 「地域の活性化」が40.2%と他の項目よりも突出して多く、次いで「国内外への「堺」のPR」(21.0%)、「スポーツを活かした観光施策」(16.9%)と続きます。一方、「興味・関心がない」と回答した人も31.4%と30%強見られます。



[その他の回答] ●もっとPRした方がよい ●ボランティアを募集して地域で盛り上げる など

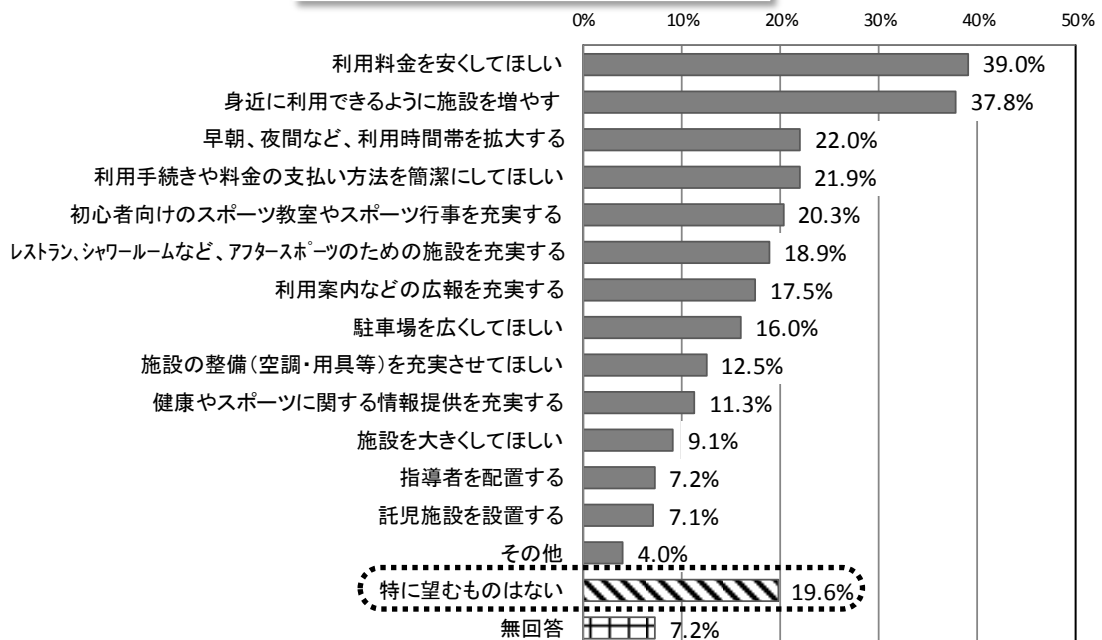
問 23 あなたは、堺市の体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設（学校体育施設は除く）について、何か望まれることがありますか。（あてはまるものをすべて選んで○）

* 「利用料金を安くしてほしい」（39.0%）、「身近に利用できるように施設を増やす」（37.8%）の2項目が他よりも突出して多く、次いで「早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する」（22.0%）、「利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい」（21.9%）、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する」（20.3%）と続きます。一方、「特に望むものはない」と回答した人も19.6%見られます。

* 性別・年齢別にみると、「早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する」が20～39歳の男女で、「施設を大きくしてほしい」が男性20～39歳で、「託児施設を設置する」が女性20～39歳で、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する」「健康やスポーツに関する情報提供を充実する」が女性40～64歳で、それぞれ他よりも回答が多い傾向が見られます。

堺市内の公共スポーツ施設に望むこと

(N=1,824)



堺市内の公共スポーツ施設に望むこと (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,824)	男性 (N=828)	男性 20-39歳 (N=209)	男性 40-64歳 (N=419)	男性 65歳以上 (N=199)	女性 (N=965)	女性 20-39歳 (N=313)	女性 40-64歳 (N=489)	女性 65歳以上 (N=160)
利用料金を安くしてほしい	39.0%	37.1%	46.9%	38.9%	23.1%	40.9%	49.8%	41.3%	21.9%
身近に利用できるように施設を増やす	37.8%	38.2%	46.4%	39.1%	27.6%	37.2%	41.9%	38.4%	23.8%
早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する	22.0%	21.4%	30.6%	24.6%	5.0%	22.1%	33.9%	19.6%	5.6%
利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい	21.9%	21.4%	26.3%	23.6%	11.6%	22.5%	26.5%	24.1%	9.4%
初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する	20.3%	14.3%	13.4%	15.3%	13.1%	25.6%	22.7%	30.3%	16.3%
レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する	18.9%	18.1%	19.1%	21.7%	9.5%	19.5%	19.8%	22.1%	10.6%
利用案内などの広報を充実する	17.5%	15.9%	11.0%	16.7%	19.6%	19.1%	20.1%	21.3%	10.6%
駐車場を広くしてほしい	16.0%	17.4%	17.7%	20.0%	11.6%	14.9%	15.0%	17.0%	8.1%
施設の整備(空調・用具等)を充実させてほしい	12.5%	12.4%	15.3%	12.9%	8.5%	12.5%	14.7%	14.1%	3.8%
健康やスポーツに関する情報提供を充実する	11.3%	10.6%	7.2%	11.2%	13.1%	12.1%	6.4%	16.4%	10.0%
施設を大きくしてほしい	9.1%	11.2%	17.2%	10.3%	7.0%	7.3%	9.3%	7.4%	3.1%
指導者を配置する	7.2%	6.4%	7.2%	6.7%	5.0%	7.9%	5.8%	10.0%	5.6%
託児施設を設置する	7.1%	4.2%	7.7%	4.1%	1.0%	9.6%	20.1%	4.9%	3.1%
その他	4.0%	5.6%	4.3%	5.0%	8.0%	2.7%	3.2%	2.9%	1.3%
特に望むものはない	19.6%	21.9%	17.7%	20.8%	28.1%	18.1%	16.6%	17.4%	23.8%
無回答	7.2%	6.9%	2.9%	4.1%	17.1%	7.2%	1.0%	4.1%	28.8%

[その他の回答]	<ul style="list-style-type: none"> ●施設整備 屋内施設を増やしてほしい／遊歩道がほしい／トイレの充実／小さな子どもがいても気軽にできるような施設がほしい ●プログラム、サービス等の充実 親子でジムが利用できるようにしてほしい／子ども向けプログラムを増やしてほしい／中高生の教室が必要／実施できるスポーツの種類を増やしてほしい／スポーツ用具を貸し出してほしい／スタッフの“おもてなし”精神の向上が必要／どこにどんな施設があるか一目でわかるものがほしい ●プールに関する要望 プールを増やしてほしい／女性用レーンが欲しい／水中ウォーキング用レーンを増やしてほしい／プールの衛生面に気を遣ってほしい／プールに指導者を配置してほしい ●施設へのアクセスや駐車場料金について 電車やバスに乗らなくても行ける距離に施設がほしい／送迎バスがあればよい／駐車料金を安くしてほしい／施設を使用している人の駐車料金は無料にするべき ●利用料金について 利用料金を無料にしてほしい／障害者利用料金を半額にしてほしい／スポーツ施設運営にシルバー人材が活用できると良い／利用者の使用料で施設運営できるとよい ●オーパスなど施設確保について 休日はテニスコートが取りにくいので増やしてほしい／野球場を確保しづらい／市民への利用優遇措置がほしい／オーパスの利用開始手続が煩雑なため変えた方がよい／抽選申込みが平日にしかできないので使いづらい など
----------	--

就労状況別の比較

- * 就労状況別にみると、「早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する」「利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい」が男性就労者、女性就労者及び学生で、「施設の整備（空調・用具等）を充実させてほしい」が学生で、それぞれ他よりも回答が多い傾向が見られます。
- * また、女性就労者については、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する」「レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する」「利用案内などの広報を充実する」「託児施設を設置する」と、複数の項目において他よりも回答が多くなっている。このことから、女性就労者は施設整備に対するニーズが多岐にわたると考えられます。

堺市内の公共スポーツ施設に望むこと (回答者全体の多い順)	男性就労者 (N=611)	女性就労者 (N=539)	男性非就労者 (N=185)	女性非就労者 (N=398)	学生 (N=44)
利用料金を安くしてほしい	41.1%	46.0%	24.3%	33.7%	43.2%
身近に利用できるように施設を増やす	41.4%	39.3%	27.6%	34.7%	36.4%
早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する	25.7%	30.8%	5.9%	10.3%	34.1%
利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい	24.5%	28.0%	10.8%	15.1%	25.0%
初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する	14.2%	27.3%	14.6%	23.9%	15.9%
レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する	19.5%	21.2%	14.1%	17.1%	18.2%
利用案内などの広報を充実する	15.9%	21.5%	17.3%	15.8%	18.2%
駐車場を広くしてほしい	18.7%	17.4%	13.5%	12.1%	11.4%
施設の整備(空調・用具等)を充実させてほしい	12.9%	16.5%	10.8%	6.8%	22.7%
健康やスポーツに関する情報提供を充実する	9.8%	14.3%	13.0%	10.1%	6.8%
施設を大きくしてほしい	12.3%	8.5%	7.6%	5.5%	15.9%
指導者を配置する	6.4%	8.2%	5.4%	7.0%	13.6%
託児施設を設置する	5.2%	10.4%	1.6%	8.8%	4.5%
その他	5.1%	3.2%	8.1%	2.3%	2.3%
特に望むものはない	19.6%	14.7%	29.2%	22.6%	22.7%
無回答	4.3%	2.8%	16.2%	13.1%	0.0%

運動・スポーツの実施日数別の比較

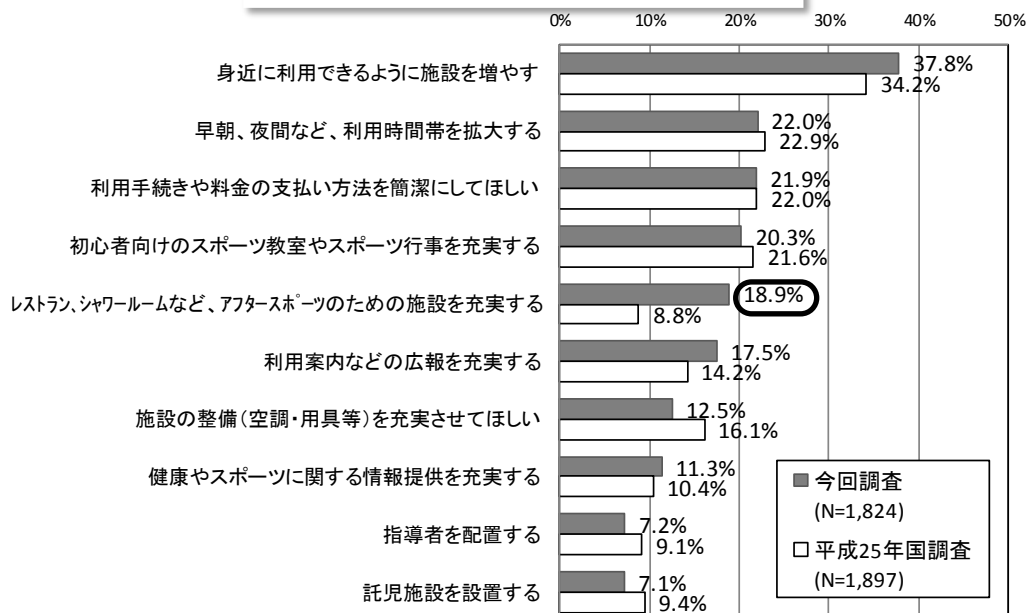
- * 運動・スポーツの実施日数別にみると、運動・スポーツをしている人の方がしていない人よりも、各選択肢への回答が多い傾向にあります。中でも、「レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する」は、運動をしていない人（11.9%）と比べて8.0~10.4ポイント多く、回答の割合の差が大きくなっています。このことから、運動・スポーツをしている人は、アフタースポーツのための施設の充実へのニーズが高いと考えられます。
- * 一方、運動をしていない人は、全体的に回答が少ないものの、「健康やスポーツに関する情報提供を充実する」、「託児施設を設置する」の2項目については、運動・スポーツを行っている人との割合の差が小さく、ニーズがあると考えられます。

堺市内の公共スポーツ施設に望むこと (回答者全体の多い順)	週3日以上 (N=462)	週1~2日 (N=376)	月3日以下 (N=407)	運動をしていない (N=379)
利用料金を安くしてほしい	41.1%	44.4%	44.5%	28.2%
身近に利用できるように施設を増やす	37.9%	44.9%	47.2%	24.8%
早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する	23.8%	24.7%	28.3%	14.0%
利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい	26.2%	22.1%	26.3%	15.6%
初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する	22.1%	26.1%	21.1%	14.8%
レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する	22.3%	19.9%	21.1%	11.9%
利用案内などの広報を充実する	20.8%	20.7%	18.7%	12.7%
駐車場を広くしてほしい	17.7%	17.6%	19.7%	13.5%
施設の整備(空調・用具等)を充実させてほしい	14.1%	14.6%	14.7%	8.4%
健康やスポーツに関する情報提供を充実する	14.3%	15.2%	8.1%	9.8%
施設を大きくしてほしい	10.2%	9.3%	12.5%	4.2%
指導者を配置する	9.7%	7.7%	6.9%	4.7%
託児施設を設置する	7.8%	4.8%	7.9%	7.9%
その他	5.0%	3.7%	4.9%	3.2%
特に望むものはない	18.2%	13.0%	13.0%	33.0%
無回答	5.8%	4.3%	4.2%	9.5%

国が実施した調査との比較

- * 国調査の結果と比較すると、多くの項目では本市と全国で大きな差は見られませんが、「レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する」は、国調査（8.8%）に比べて今回の調査（18.9%）では2倍以上のポイントとなっており、本市でのニーズは高いと考えられます。

公共スポーツ施設に望むこと(国調査との比較)



この1年間で行った運動やスポーツの種目別の比較

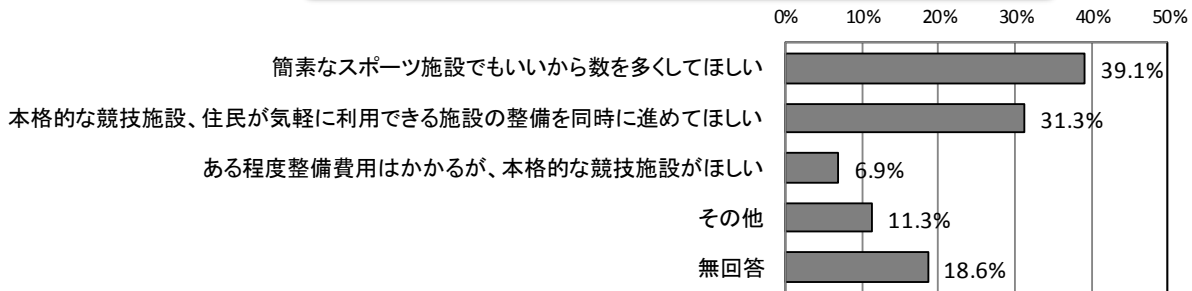
- * 抜粋した9種目の中では、多くの種目で第1位は「利用料金を安くしてほしい」となっていますが、「バレーボール、ソフトバレーボール」「野球、ソフトボール」「ゲートボール、グラウンド・ゴルフ」の3種目においては、「身近に利用できるように施設を増やす」が第1位となっています。また、「身近に利用できるように施設を増やす」は、「サッカー、フットサル」「テニス、ソフトテニス」「陸上競技」でも50%以上の回答が見られ、多くなっています。
- * また、「ゲートボール、グラウンド・ゴルフ」を除く8種目においては、他の種目と比べて回答が多い項目が複数見られることから、多種多様なニーズがあると考えられます。

堺市内の公共スポーツ施設 に望むこと (回答者全体の多い順)	バレーボール、ソフトバレーボール (N=62)	バスケットボール (N=36)	ダンス、エアロビックダンス (N=83)	柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他武道 (N=25)	野球、ソフトボール (N=112)	サッカー、フットサル (N=84)	テニス、ソフトテニス (N=106)	陸上競技 (N=23)	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ (N=23)
利用料金を安くしてほしい	50.0%	58.3%	53.0%	60.0%	51.8%	60.7%	56.6%	60.9%	47.8%
身近に利用できるように施設を増やす	56.5%	47.2%	43.4%	48.0%	61.6%	53.6%	53.8%	52.2%	52.2%
早期、夜間など、利用時間帯を拡大する	21.0%	30.6%	38.6%	48.0%	36.6%	40.5%	31.1%	52.2%	8.7%
利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい	45.2%	27.8%	28.9%	44.0%	36.6%	33.3%	41.5%	39.1%	26.1%
初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する	14.5%	8.3%	26.5%	16.0%	19.6%	14.3%	14.2%	26.1%	26.1%
レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設の充実	24.2%	22.2%	30.1%	44.0%	28.6%	25.0%	27.4%	39.1%	17.4%
利用案内などの広報を充実する	17.7%	22.2%	18.1%	20.0%	17.9%	16.7%	15.1%	13.0%	13.0%
駐車場を広くしてほしい	21.0%	19.4%	13.3%	28.0%	26.8%	21.4%	29.2%	21.7%	13.0%
施設の整備(空調・用具等)を充実させてほしい	21.0%	25.0%	20.5%	24.0%	23.2%	13.1%	18.9%	47.8%	4.3%
健康やスポーツに関する情報提供を充実する	3.2%	5.6%	12.0%	24.0%	10.7%	7.1%	16.0%	8.7%	13.0%
施設を大きくしてほしい	16.1%	11.1%	10.8%	20.0%	22.3%	19.0%	16.0%	26.1%	4.3%
指導者を配置する	11.3%	13.9%	15.7%	12.0%	12.5%	9.5%	8.5%	8.7%	8.7%
託児施設を設置する	6.5%	0.0%	3.6%	12.0%	4.5%	4.8%	4.7%	13.0%	0.0%
その他	4.8%	8.3%	2.4%	8.0%	5.4%	4.8%	7.5%	17.4%	8.7%
特に望むものはない	8.1%	13.9%	9.6%	12.0%	6.3%	9.5%	3.8%	0.0%	4.3%
無回答	6.5%	2.8%	0.0%	0.0%	2.7%	4.8%	2.8%	4.3%	34.8%

問 24 堺市の公共スポーツ施設（学校体育施設は除く）の数と質について、どのように思いますか。（あてはまるものをすべて選んで○）

* 「簡素なスポーツ施設でもいいから数を多くしてほしい」が 39.1%と最も多く、次いで「本格的な競技施設、住民が気軽に利用できる施設の整備を同時に進めてほしい」（31.3%）と続きます。

堺市の公共スポーツ施設の数と質の充実についての意向 (N=1,824)



[その他の回答]	<ul style="list-style-type: none"> ●安くて気軽に利用できるスポーツ施設 料金が安くて手軽に利用できる所を作ってほしい／南海本線沿いに小さくてもいいので屋根のある施設を作ってほしい。駅の近くで／住民が気軽に利用できる施設を整備すればよい／大阪市のように駅近くに屋内プールが欲しい／河南町のように安くスポーツジムを利用できるようにしてほしい ●人口など、一定基準による施設の配置・供給 1つの区に1か所だと足りないと思うので、人口や面積に応じて増やしてほしい／小学校区に1つは気軽にボール遊びができる場をつくってほしい ●設備の充実 老人としてはトイレの充実を切望します／1人で自由に使用、練習できる壁がほしい／公園での遊具を充実させてほしい／小中学校の校庭を開放すればこれ以上必要ない／学校を中心とした、施設開放の充実と用具等の管理体制 ●施設の改修、リニューアル 今ある施設のメンテナンスをしてほしい／大浜プールの老朽化が激しい。整備してほしい／新しいのはつくらなくていい。今ある施設を時代に合った形でリニューアルする方にお金を使ってほしい ●情報発信の強化 知らない人は知らないし、利用方法が分からないので、広報にお金を使う方がいい／利用できる施設の周知をして欲しい／プールの施設や教室の案内をしてほしい ●民間への運営委託 民間企業が参入するための施策が必要／民間スポーツクラブと提携してほしい／民間施設の活力を削がないような施設運営をしてほしい ●利用時間の延長 夜遅くまで開館してほしい／長時間使用可能にしてほしい／仕事をする主婦でも気軽に行きたい ●利用混雑の回避 体育館等を利用したいのに同じ時間帯に利用希望が多くて断念する事が多々ある／利用するにも面倒が多くて、あきらめてしまう ●その他 利用者が維持・管理にも参加し、運営も行う施設があるとよい／人気スポーツチームのホームグラウンドとなってほしい／これ以上の施設は必要ないと思う など
----------	--

よく行う運動・スポーツ別の比較

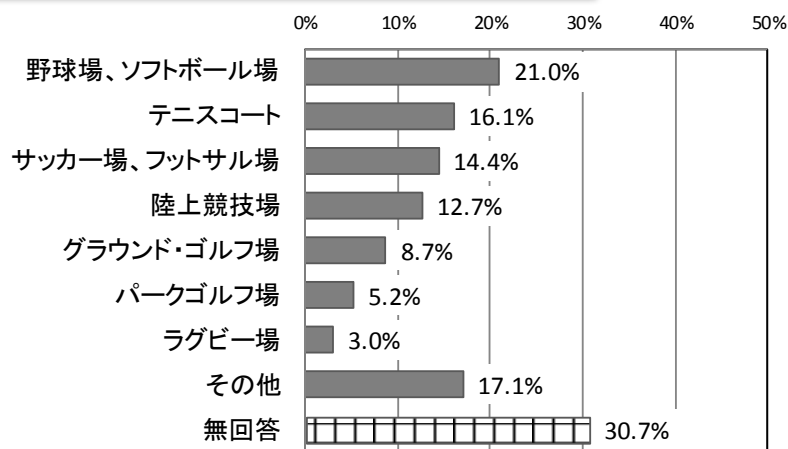
- * 抜粋した9種目の中では、多くの種目で第1位は「数を多くしてほしい」となっていますが、「ゲートボール、グラウンド・ゴルフ」においては、「本格的な競技施設、住民が気軽に利用できる施設の整備を同時に進めてほしい」が第1位となっています。
- * また、「本格的な競技施設がほしい」については、「バレーボール、ソフトバレーボール」「柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他武道」「サッカー、フットサル」「陸上競技」の4種目において他より多くの回答が見られ、よりニーズが高いと考えられます。

堺市内の公共スポーツ施設に望むこと (回答者全体の多い順)	バレーボール、ソフトバレーボール (N=62)	バスケットボール (N=36)	ダンス、エアロビックス (N=83)	柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他武道 (N=25)	野球、ソフトボール (N=112)	サッカー、フットサル (N=84)	テニス、ソフトテニス (N=106)	陸上競技 (N=23)	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ (N=23)
数を多くしてほしい	53.2%	47.2%	49.4%	48.0%	50.9%	52.4%	54.7%	52.2%	26.1%
本格的な競技施設、住民が気軽に利用できる施設の整備を同時に進めてほしい	32.3%	25.0%	38.6%	36.0%	37.5%	29.8%	36.8%	39.1%	30.4%
本格的な競技施設がほしい	14.5%	11.1%	7.2%	20.0%	11.6%	15.5%	7.5%	17.4%	8.7%
その他	4.8%	8.3%	7.2%	20.0%	8.0%	6.0%	4.7%	4.3%	13.0%
無回答	8.1%	8.3%	9.6%	8.0%	7.1%	8.3%	7.5%	8.7%	39.1%

**問 25 堺市内に整備が必要だと思う屋外スポーツ施設は次の内どれですか
(あてはまるものをすべて選んで○)**

- * 回答があった屋外スポーツ施設の中では、「野球場、ソフトボール場」が 21.0%と最も多く、次いで「テニスコート」、「サッカー場、フットサル場」と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、「野球場、ソフトボール場」が男性 40～64 歳で、「サッカー場、フットサル場」が男性 20～39 歳で、「グラウンド・ゴルフ場」が男性 65 歳以上で、それぞれ他よりも回答が多いという傾向が見られます。
- * また、「その他」では、プールや子どもと遊べる総合公園、バスケットボールコート、サイクリングロード、遊歩道、ジョギングコースなどがあげられています。

堺市内に整備が必要だと思う屋外スポーツ施設 (N=1,824)



堺市内に整備が必要だと思う屋外スポーツ施設 (回答者全体の多い順)	全体 (N=1,824)	男性 (N=828)	男性 20-39 歳 (N=209)	男性 40-64 歳 (N=419)	男性 65 歳以上 (N=199)	女性 (N=965)	女性 20-39 歳 (N=313)	女性 40-64 歳 (N=489)	女性 65 歳以上 (N=160)
野球場、ソフトボール場	21.0%	26.2%	23.9%	29.8%	21.1%	16.4%	17.3%	17.8%	10.0%
テニスコート	16.1%	14.1%	18.2%	13.6%	11.1%	18.0%	20.8%	20.0%	6.9%
サッカー場、フットサル場	14.4%	15.3%	23.4%	13.1%	11.6%	13.6%	17.6%	13.9%	5.0%
陸上競技場	12.7%	12.2%	9.6%	13.6%	12.1%	12.8%	12.5%	14.1%	10.0%
グラウンド・ゴルフ場	8.7%	11.1%	7.7%	11.0%	15.1%	6.5%	5.4%	7.6%	5.0%
パークゴルフ場	5.2%	7.7%	6.2%	8.1%	8.5%	2.9%	2.2%	3.3%	3.1%
ラグビー場	3.0%	3.9%	4.3%	3.6%	4.0%	2.2%	2.6%	2.5%	0.6%
その他	17.1%	18.2%	20.1%	19.1%	14.6%	16.4%	19.5%	16.4%	10.6%
無回答	30.7%	23.3%	17.2%	20.3%	35.7%	36.9%	28.1%	34.6%	61.3%

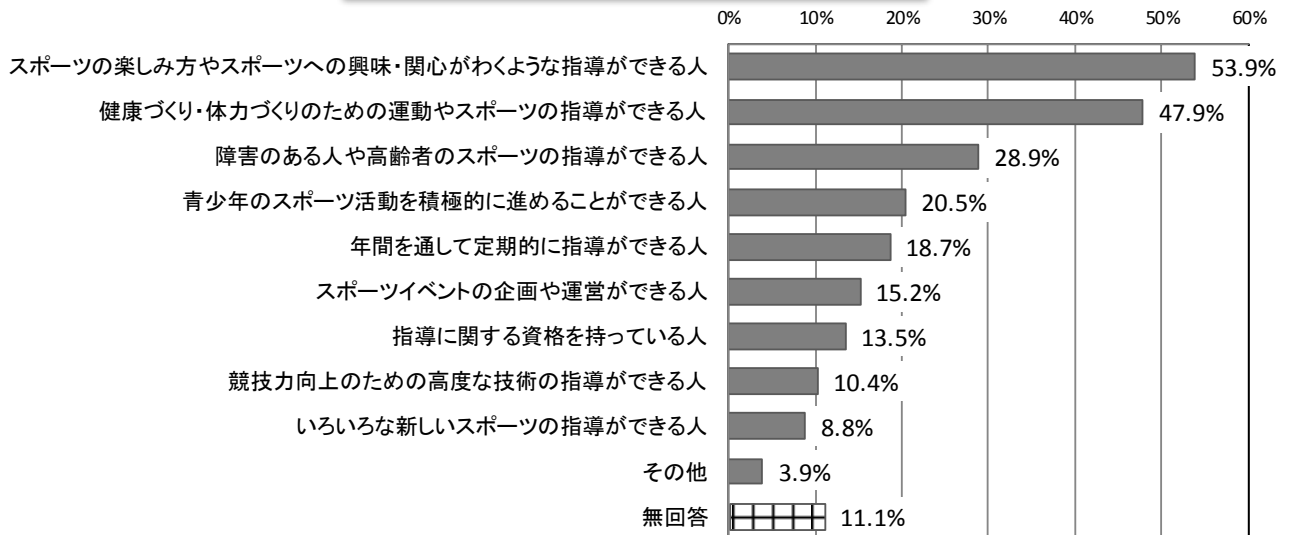
[その他の回答] ※数字は回答者数を示します。	●プール	19	●子どもと遊べる総合公園	16
	●バスケットボールコート	11	●サイクリングロード	8
	●遊歩道	6	●ジョギングコース	5
	●アスレチックコース	2	●バドミントンコート	2
	●スケートボード場	2	●アイススケートリンク	2
	●その他少数意見			
	ゴルフ練習場／ドッグラン／屋外ボルダリング／相撲／ドッジボールコート／魚釣場／サーキット場／スカッシュ／			
	●その他			
	全体的に数が足りていない／堺にこだわらず、大阪市内にあればよい／このままでよいが質を上げてほしい／危機管理時に転用できる施設のみを残し、他は廃止する／屋外スポーツ施設にシニアの日を設けてほしい／トイレなど周辺施設の環境整備が必要 など			

問 26 あなたは、今後のスポーツ推進に向けて、どのようなスポーツ指導者が必要だと思われますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- * 「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」(53.9%)、「健康づくり・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」(47.9%)の2項目が他よりも突出して多く、次いで「障害のある人や高齢者のスポーツの指導ができる人」(28.9%)、「青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人」(20.5%)と続きます。
- * 性別・年齢別にみると、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が20～39歳の男女といった若年層で多く、「障害のある人や高齢者のスポーツの指導ができる人」は65歳以上の男女といった高年層で多くなっています。この他では、「健康づくり・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が女性40～64歳で、「スポーツイベントの企画や運営ができる人」「競技力向上のための高度な技術の指導ができる人」が男性20～39歳で、他よりも回答が多い傾向が見られます。

堺市内に必要なと思うスポーツ指導者の性質

(N=1,824)

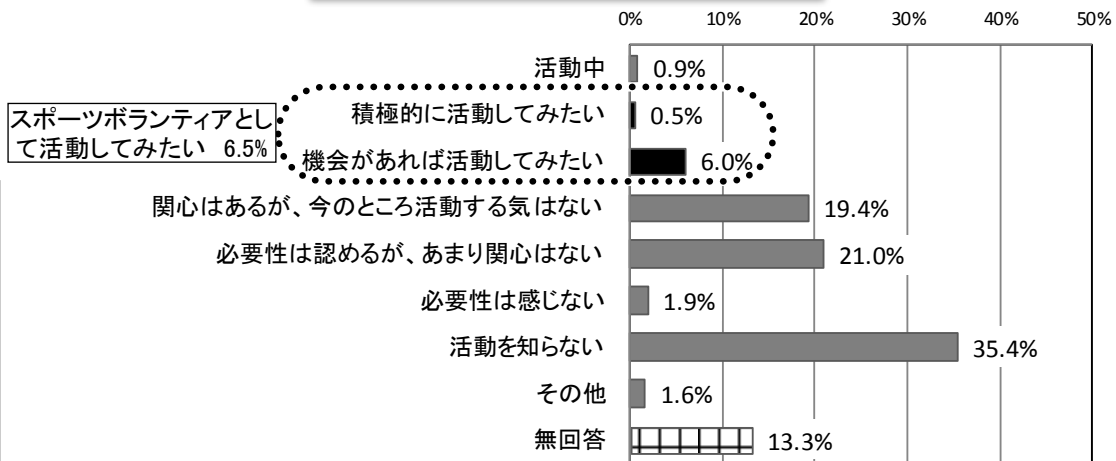


堺市内に必要なと思うスポーツ指導者の性質(回答者全体の多い順)	全体(N=1,824)	男性(N=828)	男性 20-39歳(N=209)	男性 40-64歳(N=419)	男性 65歳以上(N=199)	女性(N=965)	女性 20-39歳(N=313)	女性 40-64歳(N=489)	女性 65歳以上(N=160)
スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人	53.9%	49.9%	63.2%	50.8%	34.2%	57.9%	69.0%	60.5%	27.5%
健康づくり・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人	47.9%	46.1%	32.5%	50.8%	50.8%	49.4%	44.7%	55.4%	41.3%
障害のある人や高齢者のスポーツの指導ができる人	28.9%	27.7%	21.1%	26.5%	37.2%	30.5%	27.5%	31.5%	33.1%
青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人	20.5%	21.5%	22.5%	22.0%	19.6%	20.0%	24.6%	20.2%	10.0%
年間を通して定期的に指導ができる人	18.7%	17.0%	20.1%	16.7%	14.6%	20.3%	22.7%	21.7%	11.9%
スポーツイベントの企画や運営ができる人	15.2%	16.2%	21.5%	16.7%	9.5%	14.3%	20.8%	12.9%	5.6%
指導に関する資格を持っている人	13.5%	12.7%	12.4%	13.6%	11.1%	14.5%	14.1%	15.1%	13.8%
競技力向上のための高度な技術の指導ができる人	10.4%	12.3%	17.2%	11.9%	8.0%	8.8%	11.2%	8.0%	6.9%
いろいろな新しいスポーツの指導ができる人	8.8%	7.6%	12.9%	6.9%	3.5%	9.9%	12.5%	10.2%	4.4%
その他	3.9%	5.6%	5.3%	6.0%	5.0%	2.7%	2.2%	2.7%	3.8%
無回答	11.1%	10.6%	6.7%	7.9%	20.1%	11.4%	5.4%	7.2%	36.3%

問 27 今後、市民スポーツの推進を図っていくために、スポーツボランティアの活動が重要視されています。あなたは、スポーツボランティアの活動にどのような関心をお持ちですか。

* 「活動を知らない」が 35.4%と最も多く、次いで「必要性は認めるが、あまり関心はない」(21.0%)、「関心はあるが、今のところ活動する気はない」(19.4%)と続き、スポーツボランティアとして活動してみたいと回答した人は 6.5%に止まります。

スポーツボランティアの活動への関心度 (N=1,824)

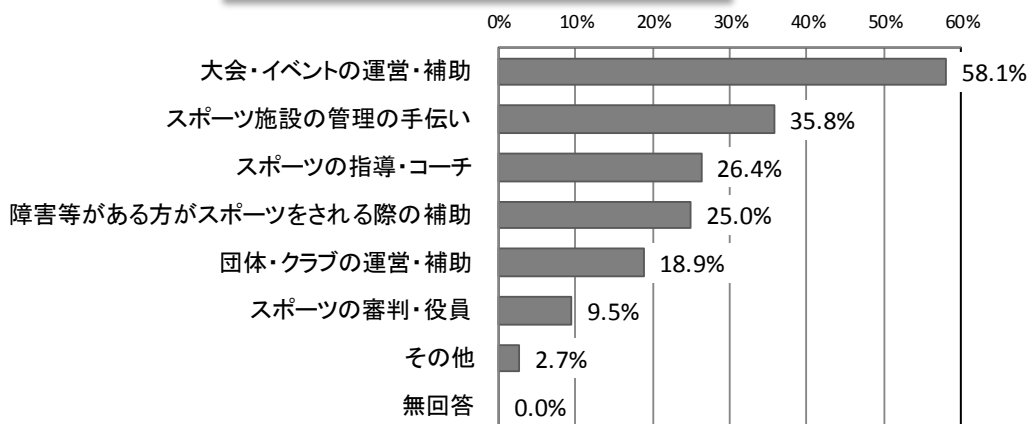


[活動内容]	●子ども会ソフトボール ●少年野球チームのコーチ ●レース救護活動 など
[その他の内容]	●存在を知らなかった ●自分ではできないが必要だとは思う ●ボランティアではなくプロの指導者・選手を使う方がいい など

**問 27 付問 どのような活動に関心がありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)
→スポーツボランティアの活動に関心がある方のみ**

* 「大会・イベントの運営・補助」が 58.1%と他の項目よりも突出して多く、次いで「スポーツ施設の管理の手伝い」(35.8%)、「スポーツの指導・コーチ」(26.4%)、「障害等がある方がスポーツをされる際の補助」(25.0%)と続きます。

関心があるスポーツボランティアの活動 (N=148)

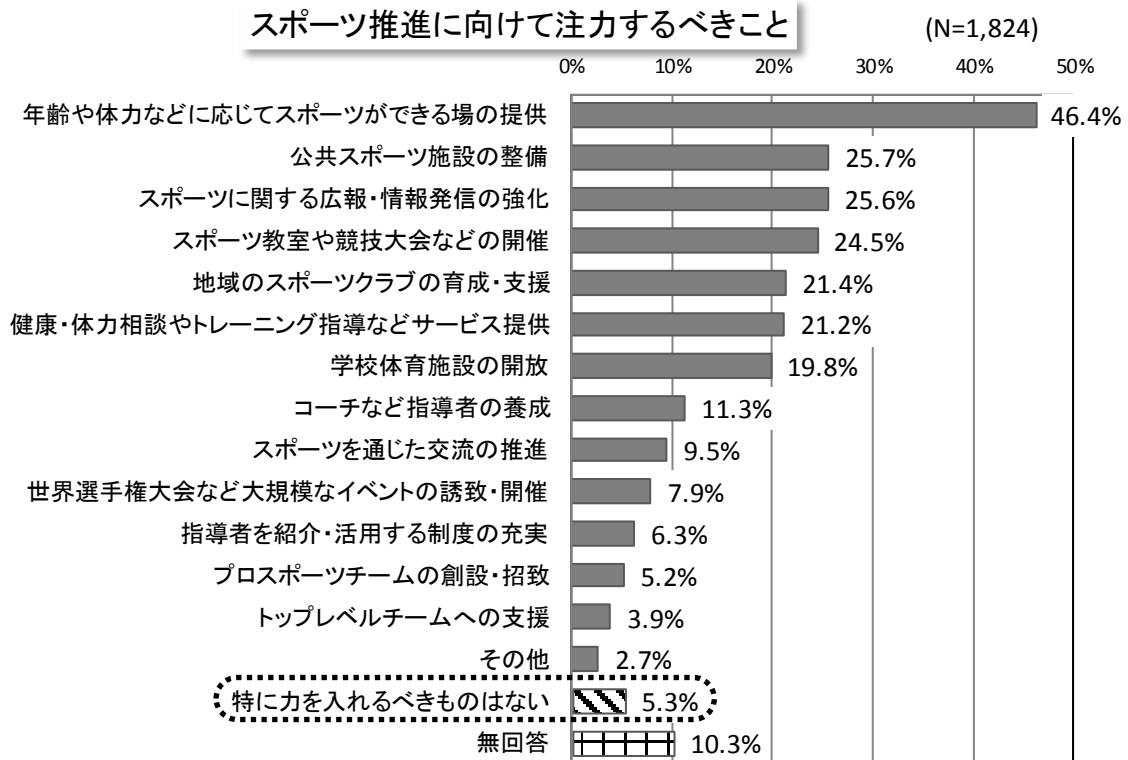


[その他の回答]	●通訳 ●マラソン大会のボランティア など
----------	-----------------------

(2) 今後のスポーツ推進施策に対する市民ニーズ

問 28 スポーツをもっと推進させるために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものを3つまで選んで○)

* 「年齢や体力などに応じてスポーツができる場の提供」が46.4%と他の項目よりも突出して多く、次いで「公共スポーツ施設の整備」(25.7%)、「スポーツに関する広報・情報発信の強化」(25.6%)、「スポーツ教室や競技大会などの開催」(24.5%)と続きます。一方、「特に力を入れるべきものはない」と回答した人は5.3%に止まります。



[その他の回答]	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが気軽にスポーツに親しむことができる環境の充実 子どもが好き勝手に走り回れる公園が住居の身近にあれば良いと思う 小学生の子どもたちが外で気軽にボール遊びができる場所を作ってほしい 子どものうちから、学校などでスポーツの楽しさを伝えるべき 中学校のクラブの指導者をもっと増やすべき。指導者は教師でなく、学生でも良いのではより多くの子どもに競い合うスポーツが体験できる場を作って欲しい ●高齢者が気軽にスポーツに親しむことができる環境の充実 高齢者向けのスポーツ教室がほしい 高齢者も参加できる機会をつくる ●その他 自治会館の活用を考えて欲しい(歩いて行ける場所にある施設を確保して欲しい) 興味を持ってもらう為の企画、サブカルチャーとのメディアミックス 堺に行けば○○ができるというニッチなスポーツ施策があるとよい スポーツ施設へ通う事を日常的にする為に、交通手段を支援してほしい スポーツ指導者は、ボランティアではなく報酬を与えて責任を持ってもらうべき スポーツ施設付近には緑を増やしてほしい 堺出身のトップアスリートが多くいらっしゃるのに間近に見る機会が無いのは残念 民間スポーツクラブとの提携 <p style="text-align: right;">など</p>
----------	--

運動・スポーツの実施日数別の比較

- * 運動・スポーツの実施日数別にみると、運動・スポーツを行っている人の方が、運動をしていない人よりも多くの項目で回答が多いという傾向が見られ、中でも、「年齢や体力などに応じてスポーツができる場の提供」は、週3日以上、週1～2日といった実施日数の多い人のニーズが高くなっています。
- * 一方、運動をしていない人は、全体的に回答が少ないものの、「年齢や体力などに応じてスポーツができる場の提供」(43.5%)、「スポーツに関する広報・情報発信の強化」(21.4%)、「健康・体力相談やトレーニング指導などサービス提供」(16.4%)については、運動・スポーツを行っている人との割合の差が小さく、ニーズがあると考えられます。

スポーツ推進に向けて注力すべきこと (回答者全体の多い順)	週3日以上 (N=462)	週1～2日 (N=376)	月3日以下 (N=407)	運動をしていない (N=379)
年齢や体力などに応じてスポーツができる場の提供	51.3%	51.1%	43.5%	43.5%
公共スポーツ施設の整備	27.9%	28.7%	31.7%	17.2%
スポーツに関する広報・情報発信の強化	25.5%	28.5%	28.0%	21.4%
スポーツ教室や競技大会などの開催	24.9%	31.1%	29.2%	16.6%
地域のスポーツクラブの育成・支援	22.3%	25.8%	25.1%	14.5%
健康・体力相談やトレーニング指導などサービス提供	25.8%	23.4%	18.7%	16.4%
学校体育施設の開放	21.2%	25.5%	23.3%	12.9%
コーチなど指導者の養成	11.9%	12.8%	13.0%	8.7%
スポーツを通じた交流の推進	11.0%	10.4%	10.8%	7.7%
世界選手権大会など大規模なイベントの誘致・開催	8.2%	8.0%	11.3%	6.1%
指導者を紹介・活用する制度の充実	6.1%	8.0%	5.9%	5.8%
プロスポーツチームの創設・招致	5.2%	5.1%	8.4%	3.2%
トップレベルチームへの支援	5.2%	2.7%	6.1%	2.4%
その他	3.9%	1.9%	2.0%	3.2%
特に力を入れるべきものはない	3.7%	1.6%	3.4%	10.6%
無回答	6.3%	5.3%	5.7%	17.7%

4. 自由回答意見（問 29）

問 29 堺市における今後のスポーツ推進に向けて、ご意見やご要望などがありましたら自由にお書きください。

* 自由回答欄には、373 人の方に記入いただきました（記入率 20.4%）。このうち、調査テーマである運動・スポーツに関しては、431 件の意見がありました。主な内容は次のとおりです。

①運動・スポーツの機会、各種教室・イベントについて [65 件]

- * 月に 1 回でも指導者を招いて、高齢者でもできる体操教室をしてほしい。
- * 特別なウェアを必要としない、短時間で実施できて道具を必要としない、1 人でもできるような教室があると良いと思う。
- * 子ども向けのスポーツ体験教室をもっと充実させてほしい。
- * 体育館で行われている講座の種類が少なく、参加できるものが少ないように思う。
- * 股関節に障害があり、筋力アップなど健康の為に運動をしたいので、そんな私でも参加できる体操を教えてもらう機会があればよいと思う。
- * 地元で気軽に参加できるヨガ教室があれば行ってみたい。
- * 出産予定なので、赤ちゃんと参加できるプール教室があれば参加したい。
- * 身近な地域会館などで、スポーツ教室をどんどん増やしてほしい。太極拳や体操などを夜や休日も開催してくれると、手軽に行きやすくなると思う。
- * 体育館で行われているスポーツ教室や筋トレに参加したいと思いながらまだ参加できていない。もっと初心者が参加しやすいように、1 回体験など行ってもらうと参加しやすいと思う。
- * 1 人でも気軽に行けるスポーツ教室があればもっと参加しやすい。
- * 私は障害がある。障害を持つ人でも気楽に参加できるスポーツ体験の場があればいいと思う。
- * 何もスポーツやクラブに入っていない人が、気軽に周りの友人たちと楽しめるようなスポーツ大会や運動会を作してほしい。
- * 若者が参加できるイベントを増やしてほしい。
- * 親子で参加できるイベントを増やしてほしい。
- * 市主催の競技大会（年齢別、レベル別等を取り入れて）を多く開催していただきたい。
- * 堺市は自転車産業が盛んなので、市民参加型のサイクリング大会の開催があると良い。150～200km のコース設定で、年に一度大きな大会があると良い。また、自転車に関する安全教室、ミニコース（30km）等も同時開催し、全国から参加してもらって、堺市をアピールしてほしい。
- * 高齢者が楽しく生きがいにできるようなスポーツイベントをたくさん実施してほしい。

②広報、情報提供の充実・強化について [45 件]

- * 堺市におけるスポーツに関する広報活動は不十分だと思う。やりたいスポーツがあっても、どこでどのような手順で手続きをして施設の利用ができるか、全く分からない。
- * なかなか堺市の HP を見る人は少ないと思う。いつ、どこで、こういうスポーツイベントや教室をしているということが市民に分かるよう、ネットをうまく活用してほしい。
- * 折角いろいろ良いことをしているので、もっと PR した方がよいと思う。
- * 堺市内のスポーツ教室の情報をもっと発信してほしい。

- * 公共の体育館について、駅前に貼り紙をしてくれると利用してみようかと思う人も増えるのではないか。
- * J-GREEN堺は、サッカーをしている人以外にはあまり知られていない。もっと堺市の小学生、中学生、高校生の授業で使用するなどして、市民に知られるようにしてほしい。
- * スポーツイベントやスポーツ施設が市内にどれくらいあるのか、私たち若い世代はあまり分かっておらず、スポーツが好きでも場所が探しきれないのが現状だと思う。そういった方がよりスポーツを身近なものと感じられるよう、色々な情報を提供してほしい。
- * 堺市のスポーツイベントは、宣伝不足だと思う。広報に掲載する場合は、イベント特集としていつもと違うデザインで掲載する方が目を引くと思う。
- * スポーツイベントの案内を英語でしてほしい。
- * 私がサッカーを好きになったきっかけは娘が小学校からもらってきた「セレッソ大阪、無料観戦」の応募ハガキだったので、そのような取組を今後も実施していただきたい。
- * 若者の体力向上、高齢者の健康維持に役立つよう、常に新しい情報発信をお願いしたい。

③スポーツ関連施設の整備・充実について [78件]

- * 区ごとに同じようなスポーツ施設を整備してほしい。
- * スカッシュができる施設を作って欲しい。
- * トップ選手の輩出が期待できそうな美しいテニスコートを作してほしい。
- * アイススケート場を整備してほしい。
- * マリンスポーツ施設の充実を望む。
- * 市営のゴルフ練習場を設置してほしい。
- * トレーニング場のシャワー施設を充実してほしい。
- * 子どもが小さいので、託児サービスがあればスポーツがしやすくなると思う。
- * 市内の公園において、トイレや休憩所、更衣室等の充実を望む。ランニングをしている私たちは、トイレでの着替えが主になっている。
- * 屋内スポーツ施設にあるスポーツジムのマシンやプールの設備をレベルアップしてほしい。
- * 浜寺公園に、ストレッチができる器具が置いてあったり、歩いた距離がわかるような目印があったりすると良いと思う。
- * 息子2人が堺市内のグラウンドでサッカーをしている。冬場は照明がなく真っ暗な中でしているので、夜間照明の設置をお願いしたい。
- * 政令指定都市として、国際大会が開催できるような本格的な競泳用プールを作してほしい。
- * プロ野球の試合が観戦できる球場を作してほしい。

④施設の運用、利用条件の改善について [78件]

- * 他の市町村よりも、公共のスポーツ施設の料金が安い。もう少し安くしてほしい。
- * 以前に住んでいたところと比較して、地元住民への優遇が少ないように感じる。
- * 最近、民間のスポーツ施設の中には、値上げする施設もあり、年金生活者にとっては痛手である。高齢者向けの簡単なスポーツ指導を公費で行っていただけると有難い。
- * いつでも好きな時にスポーツ教室等へ参加できるようなシステム作りが必要だと思う。1人で気軽に参加できる仕組みを作っていただきたい。
- * トレーニング室を利用したいが、夜早く閉館になるため利用できない。民間フィットネスクラブのように夜遅くまで開けてほしい。

- * 民間のスポーツ施設を利用する際の利用料を補助して欲しい。
- * のびやか健康館に行くと、利用人数が多すぎて気持ち良く利用できない。
- * 地域にあるグラウンドを野球チームの練習場所として、オーパスで予約して利用しているが、抽選に外れることも多い。大阪市内からの利用も多いとよく聞く。
- * 小学校のグラウンドについて、一般開放してもらおう機会を増やしてほしい。
- * 1時間程度の少ない空き時間でバドミントンや卓球がしたいが、風が強い日はできないし、道路でするのは危ない。例えば、学校の体育館を短い時間単位で使わせてもらうことはできないか。
- * 駐車場は無料にしてほしい。
- * スポーツ施設の利用者に偏りがあると思う。特定の常連が良い時間をとってしまっているので、常連以外は使いにくい印象を受ける。
- * 堺市立健康福祉プラザに通っているが、交通の便が悪い。シャトルバスの運行をお願いしたい。

⑤スポーツに関わる人材の育成、派遣について [26件]

- * 堺市には元日本代表のバレーボール選手やコーチがいるので、もっと有効活用してほしい。
- * 現在、高校のクラブ指導をボランティアで行っている。試合や練習で遠征することもあるが、公務員なので人材バンクに登録できず交通費がもらえない。交通費の負担が増しているため、公務員でも登録でき、せめて交通費だけでも出してくれる窓口を作してほしい。
- * 小学校において、体育専門の先生を低学年のうちから配置してもらいたい。
- * 体育館に保健師を配置してほしい。
- * ある高校の部活では、先生が初心者で指導できないと聞いたことがある。そういった部活に指導者を派遣してほしい。
- * プロをめざしている子ども達に対する指導者の支援をお願いしたい。
- * トレーナーやスポーツボランティアをもっと地元へ派遣していくとよいと思う。
- * 最近では、老人だけでなく、若い方でもリハビリを受けたくても受けられない人が多いので、スポーツトレーナーやリハビリの専門家の配置や、リハビリ施設の整備をしてほしい。

⑥スポーツを取り巻く環境づくりについて [107件]

- * 小中学生が体を思いきり使って遊べる広場を作してほしい。
- * 小学生が、遠慮なくキャッチボールやサッカーを楽しめる場所を作ってもらいたい。
- * 大阪府立大学の外周でジョギングしている人をよく見かけるが、外灯が少なく、地面もボコボコで危ない。外周の整備をお願いしたい。
- * 大きな大会や試合の誘致をして、宿泊客などの取り込みで堺をもっとアピールしてほしい。
- * 高齢者の健康維持のため、安全でのびのびと運動できる場を設けてほしい。
- * 私は足が悪いので観戦が主である。もっと一流スポーツが観戦できる機会を多く作ってほしい。
- * 公園に出掛けなくても身近にウォーキングやジョギングができるように、歩道や緑を増やしてほしい。
- * スポーツを通じて、青少年が人との接し方やマナーを身につけられる環境整備を願う。
- * サイクリングロードをもっと整備してほしい。
- * プロ野球選手やサッカー選手と触れ合う機会があれば楽しいと思う。
- * 小学生の頃からスポーツの大切さを教育すれば、自然とスポーツへの関心が高まると思う。
- * 働きざかりの人々が健康に過ごせるようなスポーツ推進策を考えてほしい。
- * 地域単位での働きかけを強化して欲しい。

- * スポーツへの入口を広げてほしい。介護予防のためにも、高齢者、スポーツの苦手な人でも参加でき、楽しめる「場」があると良いと思う。
- * 施設整備にあたっては、地域に偏りなく、また利便性の高い立地を検討願いたい。
- * お金をかけずに運動できるのが一番良いので、各施設で無料体験を頻繁に実施してほしい。
- * 町単位で歩け歩け運動を推進してみてはどうか。
- * スポーツ推進が地域貢献につながり、ひいては堺市全体が活性化できると良いと思う。

⑦その他の回答【25件】

- * 運動不足を感じていたが、アンケートに回答して、改めてスポーツを始めてみたいと思った。
- * 医療費の増加を抑える目的で、スポーツを実施する人に金銭的なメリットを提供すると良いと思う。その方が、むしろ財政が助かるのではないか。
- * 寝たきりの高齢者が少なくなるよう、市民の体力づくりを推進するのが良いと思う。堺市は寝たきりの高齢者が少ないと評判になれば、市のイメージアップにもつながるだろう。
- * 地域やご近所との「つながり」を持つ施策が必要だと思う。そうすれば、地域ぐるみでスポーツイベントや教室に参加する機会が増えると思う。

参考資料

(堺市民のスポーツと健康に関する市民意識調査票)

堺市民のスポーツと健康に関する市民意識調査

*** ご協力のおねがい ***

平素よりみなさまには、本市市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成24年9月に堺市スポーツ推進計画を策定し、様々な施策に取り組んでいます。このたび、今後のスポーツ推進施策を考える基礎的資料とするために、「堺市民のスポーツと健康に関する市民意識調査」を実施することになりました。難しく考えず、みなさまのスポーツや健康に関するご意見や、普段感じておられることをありのままにお答えいただければと思います。

今回の調査は、住民基本台帳から20歳以上の方を無作為に抽出させていただきました。みなさまからお寄せいただいた内容は、個人を特定しない形で集計・処理し、調査の目的以外には一切使用いたしませんので、ご安心のうえご回答をお願いいたします。ご多用中とは存じますが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年（2015年）4月

堺市

<はじめにお読みください（お願い）>

1. この調査票は、市内にお住まいの方から無作為に選んだ5,000名の方にお送りしています。ご回答者は宛名に書かれたご本人様を基本といたします。何らかの事由でご本人様のご記入できない場合は、ご本人様の意思をご確認のうえ、代わりの方がご記入ください。
2. ご回答の内容は、平成27年（2015年）4月現在の状況でお答えください。
3. 調査票にはお名前を記入いただく必要はありません。
4. ご回答は、この調査票に直接記入してください。質問には、あてはまる選択肢の番号に○をつけていただく、もしくは記入欄に直接お書きいただくものがあります。また、質問によって選んでいただく回答数を指定していますので、質問文をよく読んでお答えください。
5. 記入が終わりましたら、アンケート用紙を返信用封筒に入れて、**4月30日（木）まで**にご投函ください。（切手は不要です。）
6. この調査についてのご質問などは、下記へお問い合わせください。

とあさき
<お問い合わせ先>

さかいし ぶんかかんこうきょく すいしんか
堺市 文化観光局 スポーツ部 スポーツ推進課
でんわ ぶあつくす
TEL：072-228-7437 FAX：072-228-7454
いーめーる
E-mail：sushin@city.sakai.lg.jp

とあさき じかん へいじつ ねが
※お問い合わせ時間は平日の9:00～17:30までをお願いします。

あなたご自身のことや生活習慣、健康状態について

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

(1) 性別

(2) 年齢

満

歳

問2 お住まいの区はどこですか。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 堺区 | 2. 中区 | 3. 東区 | 4. 西区 |
| 5. 南区 | 6. 北区 | 7. 美原区 | |

問3 一緒にお住まいのご家族の構成をお答えください。

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 単身（ひとり暮らし） | 2. 夫婦のみ |
| 3. 核家族世帯（親と子ども世帯、父子・母子家庭を含む） | 4. 三世帯世帯（親と子どもと孫） |
| 5. その他（くわしく
） | |

問4 あなたの職業は次のいずれにあてはまりますか。（主なものを1つ選んで○）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 就業者（会社役員・内職・アルバイトを含む） | 2. 自営業者 |
| 3. 学生（専修学校・各種学校等を含む） | 4. 無職（家事従事者・年金生活者を含む） |
| 5. その他（くわしく
） | |

問5 1日の中で、仕事や学業の時間、家事、睡眠などを除いて、自分の好きなことができる時間はどのくらいありますか。

(1) 平日の場合（1日平均）

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|
| 1. 1時間未満 | 2. 2時間以内 | 3. 3時間以内 | 4. 5時間以内 | 5. 5時間超 |
|----------|----------|----------|----------|---------|

(2) 休日の場合（1日平均）

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|
| 1. 1時間未満 | 2. 2時間以内 | 3. 3時間以内 | 4. 5時間以内 | 5. 5時間超 |
|----------|----------|----------|----------|---------|

問6 自分の好きなことができる時間には、どのようなことをして過ごしていますか。（主なものを3つまで選んで○）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. のんびりと休養する | 2. ラジオを聞いたり、テレビを見たりする |
| 3. 新聞・雑誌・本などを読む | 4. ゲーム・インターネットなどをする |
| 5. 運動やスポーツなど体を動かす | 6. 地域活動や社会活動をする |
| 7. 趣味を楽しむ | 8. 観光や旅行に行く |
| 9. ショッピングに行く | 10. 知人・友人と過ごす |
| 11. 家族との団らんを楽しむ | 12. その他（くわしく
） |

問7 ふだんのあなたの健康状態についてどのようにお感じですか。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 非常に健康だと思う | 2. 健康だと思う |
| 3. あまり健康ではないと思う | 4. 健康ではないと思う |

問8 ふだん運動不足だとお感じですか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 大いに感じる | 2. ある程度感じる |
| 3. あまり感じない | 4. ほとんど感じない |

問9 ふだんの日の歩行時間はどの程度ですか。(通勤・通学、勤務中、買物、通院などで歩いている時間の合計)

平日の平均

分

休日の平均

分

問10 健康を保つために何か特別に心がけて行っていることはありますか。

(あてはまるものを3つまで選んで○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 規則正しい生活をする | 2. 睡眠・休養を十分にとる |
| 3. 栄養や食事に気をつける | 4. 運動やスポーツをする |
| 5. 定期的に健康診断を受ける | 6. サプリメントや栄養剤などを飲む |
| 7. 喫煙・飲酒を控える | 8. その他 |
| 9. 特に何もやっていない | (くわしく) |

運動やスポーツへの関心や取り組みについて

問11 あなたは、運動やスポーツについてどのようにお感じですか。

この場合の「みる」には、**テレビやラジオ、インターネット等での視聴も含んでお答えください**

1. **みる**ことも自分ですることも両方好き
2. **みる**ことは好きだが、自分でしたいとはあまり思わない
3. 自分ですることは好きだが、人のする様子を**みたい**とはあまり思わない
4. **みる**ことも自分ですることも両方嫌い、または興味・関心がない
5. その他（くわしく）

※3～5とお答えの方は、付問3からお答えください。

◆「運動やスポーツをみるのが好き」という方におたずねします。

付問1 よくみるスポーツは何ですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

- | | | |
|---------------------|--------------|----------------|
| 1. 野球 | 2. サッカー | 3. バレーボール |
| 4. バasketボール | 5. ゴルフ | 6. テニス |
| 7. ラグビー、アメリカンフットボール | 8. マラソン、陸上競技 | 9. 武道（空手・相撲など） |
| 10. 格闘技、レスリング | 11. 水泳 | 12. スキー、スケート |
| 13. モータースポーツ | 14. ソフトボール | 15. 卓球 |
| 16. ダンス | 17. その他（ | ） |

付問2 この1年間（平成26年4月1日～平成27年3月31日）に会場でスポーツの試合などを観戦しましたか。（あてはまるものをすべて選んで○）

1. 堺市内で観戦した（競技名：）
2. 市外で観戦した（競技名：）
3. 会場で観戦していない

◆すべての方におたずねします。

付問3 堺市内で観戦してみたいスポーツ大会はありますか。

- | | | |
|---------------------|--------------|----------------|
| 1. 野球 | 2. サッカー | 3. バレーボール |
| 4. バasketボール | 5. ゴルフ | 6. テニス |
| 7. ラグビー、アメリカンフットボール | 8. マラソン、陸上競技 | 9. 武道（空手・相撲など） |
| 10. 格闘技、レスリング | 11. 水泳 | 12. スキー、スケート |
| 13. モータースポーツ | 14. ソフトボール | 15. 卓球 |
| 16. ダンス | 17. その他（ | ） |

付問4 「堺ブレイザーズ（バレーボール）」や「セレッソ大阪（サッカー）」など、堺市で活躍するトップレベルのスポーツチームをどのように思いますか。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. とても魅力を感じる | 2. ある程度魅力を感じる |
| 3. あまり魅力を感じない | 4. まったく魅力を感じない |
| 5. 堺のチームであることを知らない | 6. 存在することすら知らない |

付問5 堺市を中心に活躍するトップレベルのスポーツチームに期待することはどのようなことですか。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 市民向けのふれあいイベントなどの実施 | |
| 2. スポーツ教室の実施 | |
| 3. 優待観戦イベントの実施 | |
| 4. その他 (くわしく) | |
| 5. 特になし | |

問12 ふだん運動やスポーツ、健康づくりに取り組む場合、それらの情報はどのように入手されていますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 広報さかいや行政のチラシ・パンフレットなどで | 2. 堺市ホームページで |
| 3. ケーブルテレビ「堺シティレポ」で | 4. テレビ・ラジオなどを見聞きして |
| 5. 「オーパス」スポーツ施設情報システムで | 6. インターネットで |
| 7. 新聞や雑誌、本などを読んで | 8. 電車・バスなどに貼られた広告で |
| 9. スポーツ関係施設や会場で | 10. 家族や知人・友人からの情報で |
| 11. 公共施設の講座や教室で | 12. 医師や保健師などを通じて |
| 13. その他 (くわしく) | 14. 特に情報は得ていない |

問13 あなたは運動やスポーツなどで体を動かすことは得意なほうですか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 得意なほう | 2. どちらかといえば得意なほう |
| 3. どちらかといえば苦手なほう | 4. 苦手なほう |

問14 この1年間で行った運動やスポーツはありますか。

(行ったものをすべて選んで○)

※本アンケートでは、「自らの意志で行う身体的な活動」を運動やスポーツとします。

主に屋内施設で行う運動やスポーツ	1. バレーボール、ソフトバレーボール 2. バasketボール 3. 卓球、バドミントン 4. ダンス、エアロビックダンス 5. 器械体操、新体操 6. 剣道、なぎなた、フェンシング 7. 柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他の武道 8. ボクシング、レスリング、その他の格闘技 9. 水泳、水中歩行、アクアビクス 10. スケート、カーリング、アイスホッケー 11. ボウリング、ビリヤード、ダーツ 12. 綱引き 13. 筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動
主に屋外施設で行う運動やスポーツ	14. 野球、ソフトボール 15. サッカー、フットサル 16. テニス、ソフトテニス 17. ハンドボール、ラクロス、ホッケー 18. ラグビー、タグラグビー、アメリカンフットボール 19. 陸上競技 20. 自転車競技 (BMXなど) 21. 弓道、アーチェリー 22. ゴルフ (コース・練習場) 23. パークゴルフ、ターゲットバードゴルフ 24. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ 25. スケートボード、ローラースケート 26. 乗馬、馬術
その他の運動やスポーツ、レクリエーション	27. 散歩、ウォーキング ※通勤・通学や買物等も含む 28. ジョギング、ランニング 29. マラソン、駅伝 30. ハイキング、登山、クライミング 31. 海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動 32. スクーバダイビング 33. ボート、カヌー、ヨット 34. サーフィン、ウィンドサーフィン 35. 水上オートバイ 36. スキー、スノーボード 37. サイクリング 38. キャッチボール、その他のボール遊び 39. ストレッチ、ラジオ体操、なわとび 40. 太極拳、ヨガ、チューブ体操、その他体操 41. モータースポーツ (自動車競技など) 42. ゲーム機のスポーツ体験ソフト 43. その他 (くわしく)
実施せず	44. 特に運動やスポーツとして行ったものはない → 【8ページの付問9へ】

→ ◆この1年間に何らかの運動やスポーツを行ったという方におたずねします。

付問1 問14で選ばれた運動やスポーツのなかで、特によく行われるものは何ですか。頻度の高い順番に3つまで選んで問14の番号を記入してください。

1位 2位 3位

付問2 問14で選ばれた運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間にどのくらいになりますか。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に3日以上 (年間151日以上) | 2. 週に1~2日 (年間51~150日) |
| 3. 月に1~3日 (年間12~50日) | 4. 3か月に1~2日 (年間4~11日) |
| 5. 年に1~3日 | 6. わからない、覚えていない |

付問3 1回あたりの運動やスポーツを行う時間は、平均するとどのくらいですか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分以上1時間未満 |
| 3. 1時間以上2時間未満 | 4. 2時間以上 |

付問4 あなたが運動やスポーツを行う理由は何ですか。

(あてはまるものをすべて選んで○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 健康づくりや体力づくりのため | 2. 楽しみ、気晴らし、ストレス解消として |
| 3. 運動不足を感じるから | 4. 精神の修養や訓練のため |
| 5. 自己の記録や能力を向上させるため | 6. 家族とのふれあいとして |
| 7. 友人・仲間との交流として | 8. 美容や肥満解消のため |
| 9. 医師や保健師などからの指導を受けて | 10. その他 |
| | (くわしく) |

付問5 あなたが最初に運動やスポーツを始めたきっかけは何ですか。

(あてはまるものをすべて選んで○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 成人する前から親しんでいた | 2. 観戦等で関心を持った |
| 3. 家族に誘われた | 4. 友人や近所の人などに誘われた |
| 5. 体育館などで行われるスポーツ教室・講座などに参加して | 6. 仕事の関係で |
| 7. 医師や保健師などからの指導を受けて | 8. 健康、体力維持のため |
| 9. ダイエットのため | 10. その他 |
| | (くわしく) |

付問6 主にどなたと運動やスポーツを行っていますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 自分ひとり | 2. 家族 |
| 3. 近所の人 | 4. 友人や知人 |
| 5. 仕事関係の人 | 6. 地域のクラブや同好会 |
| 7. 職場関係のクラブや同好会 | 8. 学校関係のクラブや同好会 |
| 9. 体育館など公共施設のクラブや同好会 | 10. 民間スポーツ施設などの会員制のクラブ |
| 11. 堺市や大阪府内の競技団体・クラブ | 12. その他 (くわしく) |

付問7 運動やスポーツを行う際に、施設や場所はどの程度確保できていますか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. いつでも確保できている | 2. だいたい確保できている |
| 3. 確保できないことがある | 4. 非常に苦労している |

付問8 市内にある公共施設や学校施設などのうち、問14で選ばれた運動やスポーツを行うために、この1年間で利用されたものがありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 体育館 | 2. 野球場 |
| 3. テニスコート | 4. 運動広場 |
| 5. スポーツ広場 | 6. 陸上競技場 |
| 7. プール | 8. 相撲場 |
| 9. J-GREEN堺(サッカー・ナショナルトレーニングセンター) | 10. 公園や野外活動施設 |
| 11. 公民館、文化会館、コミュニティセンター | 12. その他の公共施設 |
| 13. 学校の体育館 | 14. 学校の校庭・運動場 |
| 15. その他(くわしく) | 16. 利用したことのある施設はない |

※9ページの間15へ

◆この1年間に「特に運動やスポーツとして行ったものはない」という方におたずねします。

付問9 運動やスポーツをしなかった理由は何ですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから | 2. 体が弱いから |
| 3. 身体に障害があるため | 4. 年をとったから |
| 5. 場所や施設がないから | 6. 仲間がいないから |
| 7. 指導者がいないから | 8. お金がかかるから |
| 9. 機会がなかったから | 10. 運動やスポーツは好きではないから |
| 11. 運動やスポーツに興味・関心がないから | 12. その他 |
| 13. 特に理由はない | (くわしく) |

付問10 どのようなきっかけがあればスポーツを始めたいと思いますか。また、スポーツを始めるにあたり、行政に期待することなどを自由にご記入ください。

◆すべての方におたずねします。

問15 今後の運動やスポーツの実施について、どのように思われますか。

1. これまで以上にもっと運動やスポーツをしたい) } 問 16 へ
2. これまでと同じ程度の運動やスポーツを続けたい	
3. <u>これまでではしていないが</u> 、新たに運動やスポーツを始めたい	
4. 運動やスポーツはしたいと思うが、今後もできないと思う (理由)	
5. 現在運動やスポーツをしているが、やめようと思う (理由)	
6. その他 (くわしく)	

◆今後「運動やスポーツをしたい」という方におたずねします。

付問1 どのような運動やスポーツをしたいと思われますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

主に屋内 施設で行う 運動や スポーツ	1. バレーボール、ソフトバレーボール 3. 卓球、バドミントン 5. 器械体操、新体操 7. 柔道、空手、相撲、少林寺拳法、その他の武道 9. 水泳、水中歩行、アクアビクス 11. ボウリング、ビリヤード、ダーツ 13. 筋力トレーニング、器具を使った有酸素運動	2. バasketボール 4. ダンス、エアロビックダンス 6. 剣道、なぎなた、フェンシング 8. ボクシング、レスリング、その他の格闘技 10. スケート、カーリング、アイスホッケー 12. 綱引き
主に屋外 施設で行う 運動や スポーツ	14. 野球、ソフトボール 16. テニス、ソフトテニス 18. ラグビー、タグラグビー、アメリカンフットボール 20. 自転車競技 (BMXなど) 22. ゴルフ (コース・練習場) 24. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ 26. 乗馬、馬術	15. サッカー、フットサル 17. ハンドボール、ラクロス、ホッケー 19. 陸上競技 21. 弓道、アーチェリー 23. パークゴルフ、ターゲットバードゴルフ 25. スケートボード、ローラースケート
その他の 運動や スポーツ、 レクリエー ション	27. 散歩、ウォーキング ※通勤・通学や買物等も含む 29. マラソン、駅伝 31. 海水浴、釣り、キャンプなどの野外活動 33. ボート、カヌー、ヨット 35. 水上オートバイ 37. サイクリング 39. ストレッチ、ラジオ体操、なわとび 41. モータースポーツ (自動車競技など) 43. その他 (くわしく)	28. ジョギング、ランニング 30. ハイキング、登山、クライミング 32. スクーバダイビング 34. サーフィン、ウィンドサーフィン 36. スキー、スノーボード 38. キャッチボール、その他のボール遊び 40. 太極拳、ヨガ、チューブ体操、その他体操 42. ゲーム機のスポーツ体験ソフト)

付問2 体育館などで実施されている運動やスポーツに関する各種教室に参加してみたいと思われませんか。

1. 参加してみたい	-----> ※1か月あたりの予算は何円ぐらいをお考えですか？
2. 参加したいとは思わない	
3. その他 (くわしく)	

[] 円まで

付問3 自分の好きな運動やスポーツに関するクラブ、同好会などがあれば入ってみたいと思われませんか。

1. すでに入っており、今後も続けたい	2. すぐにでも入りたい
3. すぐに入ろうとは思わないが、関心はある	
4. 入ってみたいとは思わない	5. その他 (くわしく)

◆「クラブ、同好会などに入りたい、関心がある」という方におたずねします。

付問4 どのようなクラブ、同好会などに関心がありますか。

1. 子どもから高齢者まで地域のいろいろな人と運動・スポーツを楽しみ、交流を行う「総合型地域スポーツクラブ」	
2. 地域の仲間で作るクラブや同好会	3. 職場関係のクラブや同好会
4. 学校関係のクラブや同好会	5. 民間スポーツ施設などの会員制のクラブ
6. 堺市や大阪府内の競技団体・クラブ	7. その他 (くわしく)

問16 あなたは、堺市や各区単位、町内会などでスポーツ行事が催される場合、どのような行事に参加したいと思われませんか。(あてはまるものをすべて選んで○)

1. レクリエーション(運動会やニュースポーツ祭、家族で参加できるスポーツ大会など)
2. 野外活動(ハイキング、キャンプ、サイクリングなど)
3. 健康づくり関係行事(ウォーキング、ジョギング、ランニング、健康祭など)
4. 競技会(市民マラソン、市民を対象としたスポーツ大会など)
5. 体カテスト、スポーツテスト
6. スポーツ教室、スポーツ講習会
7. ラジオ体操
8. 指導者講習会、審判講習会
9. その他(くわしく)
10. 特に参加したい行事はない

問17 運動やスポーツ、健康づくりに関して情報を得たり、講座等で学んでみたい内容はありますか。（お考えに近いものをすべて選んで○）

1. 生活習慣病予防を目的とした運動指導（運動とカロリー消費、酒・たばことの関係など）
2. 運動やスポーツを通じた子どもの体力づくり・青少年育成の方法
3. 体力などに応じた、より効果的で無理のない運動方法
4. 生活スタイルや使える時間に応じて、気軽に行える運動・スポーツの情報
5. スポーツの歴史
6. トップアスリートとのふれあいや、運動方法・メンタルトレーニングの指導
7. 運動やスポーツに関する団体、クラブ、同好会などのマネジメント（運営方法）
8. 競技力向上のための情報
9. その他（くわしく ）
10. 特に情報を得たり学んでみたいものはない

堺市における今後のスポーツ推進に向けて

問18 堺市では、多くのスポーツイベント・教室を実施しています。それぞれ当てはまるものを選んで○をしてください。

- ・体育館などでのスポーツ教室
（1. 参加したことがある 2. 参加していない（理由 ））
- ・堺市民オリンピック ※毎年体育の日に実施している市民参加型のスポーツ大会であり、堺3大まつりの1つ
（1. 参加したことがある 2. 参加していない（理由 ））
- ・堺ツーデーマーチ ※毎年6月に大仙公園をスタート・ゴール会場として実施しているウォーキングの全国大会
（1. 参加したことがある 2. 参加していない（理由 ））
- ・スポーツフェスティバル in 堺 ※毎年3月に金岡公園で実施している、小学生スポーツ教室とニュースポーツ大会
（1. 参加したことがある 2. 参加していない（理由 ））
- ・堺市民マラソン ※毎年建国記念日に大泉緑地で実施しているマラソン大会
（1. 参加したことがある 2. 参加していない（理由 ））
- ・泉州国際市民マラソン ※毎年2月に泉州地域が一体となって実施しているフルマラソン大会
（1. 参加したことがある 2. 参加していない（理由 ））

付問 上記スポーツイベント・教室などについて何か意見などがありましたら、自由にご記入ください。

問19 堺市では、より多くの方がスポーツに親しめるようさまざまな取り組みを進めています。次のうち、あなたがお存じの取り組みは何でしょうか。(あてはまるものをすべて選んで○)

1. 体育館、スポーツセンター（J-GREEN堺を含む）の運営
2. 堺ブレイザーズやセレッソ大阪などとの連携事業、優待観戦デーなどの実施
3. 体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど、各種団体の育成・支援
4. 市民オリンピックなど、各種スポーツ大会の開催
5. 体育館でのニュースポーツ用具の貸し出し
6. スポーツ指導者養成講座や健康スポーツリーダーバンクなど、指導者の育成・派遣
7. 競技スポーツの全国大会等出場者への奨励金交付制度
8. スポーツに関わる功績・功労者、団体等の表彰・顕彰
9. 堺市スポーツ施設情報システム（オーパス）による情報提供、利用手続き
10. 体育館などでの各種スポーツ教室やセミナーの開催
11. 知っているものはない

問20 2019年に「ラグビーワールドカップ2019」が、2020年には「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が日本で開催されます。これらについて、行政などに期待するものは何ですか。(あてはまるものをすべて選んで○)

1. 地域の活性化
2. スポーツを活かした観光施策
3. 選手とのふれあいイベントなどの実施
4. 試合会場、キャンプ地会場への立候補
5. 国内外への「堺」のPR
6. 興味・関心がない（開催されることを知らない）
7. その他（くわしく ）

問21 次のパラリンピック種目のうち、知っているものはありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. ボッチャ | 2. ゴールボール |
| 3. 5人制サッカー | 4. 7人制サッカー |
| 5. シットティングバレーボール | 6. 車椅子バスケットボール |
| 7. 車いすフェンシング | 8. ウィルチェアーラグビー |
| 9. 車いすテニス | 10. その他（種目名 ） |
| 11. 知っているものはない | |

問22 2021年に生涯スポーツの世界大会である「関西ワールドマスターズゲームズ2021^{※1}」が関西地域で開催されます。あなたは参加したいと思いますか。

1. 参加したい (競技名)
 2. 参加しようとは思わない (理由)

また、開催にあたり行政などに期待するものは何ですか (あてはまるものをすべて選んで○)

1. 地域の活性化
 2. スポーツを活かした観光施策
 3. 選手や他国文化とのふれあいイベントなどの実施
 4. 試合会場への立候補 (競技名)
 5. 国内外への「堺」のPR
 6. 興味・関心がない (開催されることを知らない)
 7. その他 (くわしく)

※1：関西ワールドマスターズゲームズ2021とは、国際マスターズゲームズ協会が主催し、4年に1度開催される成人・中高年のための「生涯スポーツの世界最高峰の国際総合競技大会」。30歳以上の一般アスリートであれば誰でも参加可能 (要参加費)。

☆種目 (予定)

アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、カヌー、自転車、ホッケー、サッカー/フットサル、オリエンテーリング、ボート、射撃、ソフトボール、スカッシュ、卓球、トライアスロン、ウエイトリフティング、野球 (硬式・軟式)、ボウリング、ダンス/エアロビック、ゴルフ/グラウンド・ゴルフ、ハンドボール、柔道、空手道、ラグビーフットボール、セーリング、水泳、テニス/ソフトテニス、綱引、バレーボール/ビーチバレーボールなど

問23 あなたは、堺市の体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設 (学校体育施設は除く) について、何か望まれることがありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

1. 身近に利用できるように施設を増やす
 2. 利用手続きや料金の支払い方法を簡潔にしてほしい
 3. 利用料金を安くしてほしい
 4. 施設を大きくしてほしい
 5. 施設の整備 (空調・用具等) を充実させてほしい
 6. 駐車場を広くしてほしい
 7. 指導者を配置する
 8. 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実する
 9. 早朝、夜間など、利用時間帯を拡大する
 10. 利用案内などの広報を充実する
 11. レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実する
 12. 健康やスポーツに関する情報提供を充実する
 13. 託児施設を設置する
 14. その他 (くわしく)
 15. 特に望むものはない

問24 堺市の公共スポーツ施設（学校体育施設は除く）の数と質について、どのように思いますか。
（あてはまるものをすべて選んで○）

1. 簡素なスポーツ施設でもいいから数を多くしてほしい
2. ある程度整備費用はかかるが、本格的な競技施設がほしい
3. 本格的な競技施設、住民が気軽に利用できる施設の整備を同時に進めてほしい
4. その他（くわしく ）

問25 堺市内に整備が必要だと思う屋外スポーツ施設は次の内どれですか（あてはまるものをすべて選んで○）

1. 陸上競技場
2. 野球場、ソフトボール場
3. サッカー場、フットサル場
4. テニスコート
5. グラウンド・ゴルフ場
6. パークゴルフ場
7. ラグビー場
8. その他（くわしく ）

問26 あなたは、今後のスポーツ推進に向けて、どのようなスポーツ指導者が必要だと思われますか。（あてはまるものをすべて選んで○）

1. スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人
2. 健康づくり・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人
3. 障害のある人や高齢者のスポーツの指導ができる人
4. 青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人
5. 競技力向上のための高度な技術の指導ができる人
6. スポーツイベント（大会や教室など）の企画や運営ができる人
7. 年間を通して定期的に指導ができる人
8. いろいろな新しいスポーツの指導ができる人
9. 指導に関する資格を持っている人
10. その他（くわしく ）

問27 今後、市民スポーツの推進を図っていくために、スポーツボランティアの活動が重要視されています。あなたは、スポーツボランティアの活動にどのような関心をお持ちですか。

1. スポーツボランティアとして活動中 (活動内容)
2. スポーツボランティアとして積極的に活動してみたい
3. 機会があればスポーツボランティアとして活動してみたい
4. 関心はあるが、今のところスポーツボランティアとして活動する気はない
5. スポーツボランティアの必要性は認めるが、あまり関心はない
6. スポーツボランティアの必要性は感じない
7. スポーツボランティアとしての活動を知らない
8. その他 (くわしく)

◆スポーツボランティアの活動に関心をお持ちの方におたずねします。

--> 付問 どのような活動に関心がありますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

1. スポーツの指導・コーチ
2. スポーツの審判・役員
3. 団体・クラブの運営や補助
4. 大会・イベントの運営や補助
5. スポーツ施設の管理の手伝い
6. 障害等があるかたがスポーツをされる際の補助
7. その他 (くわしく)

問28 スポーツをもっと推進させるために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものを3つまで選んで○)

1. スポーツ教室や競技大会などの開催
2. 地域のスポーツクラブの育成・支援
3. コーチなど指導者の養成
4. 指導者を紹介・活用する制度の充実
5. スポーツに関する広報・情報発信の強化
6. 学校体育施設の開放
7. 公共スポーツ施設の整備
8. 健康・体力相談やトレーニング指導などのサービスの提供
9. 世界選手権大会など大規模なイベントの誘致・開催
10. プロスポーツチームの創設・招致
11. トップレベルチームへの支援
12. 年齢や体力などに応じてスポーツを親しむことができる場の提供
13. スポーツを通じた交流の推進
14. その他 (くわしく)
15. 特に力を入れるべきものはない

問 29 堺市における今後のスポーツ推進に向けて、ご意見やご要望などがありましたら自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、4月30日(木)までに
投函してください。



堺市民のスポーツと健康に関する市民意識調査 報告書

平成 27 年度版

編集・発行	堺市 文化観光局 スポーツ部 スポーツ推進課 〒590-0078 堺市堺区南瓦町 3 番 1 号 電話 (072) 228-7437 堺市行政資料番号：1-K4-15-0184
-------	--